DSK 機能付きカラーファイル

CF-92HD/SD,B

取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

101623R01

この製品を安全にご使用いただくために

⚠ 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

・指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。

・AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。

・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。

・空調設備を確認してください。

・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。

・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。

・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。

・電源が入っている時に行うと危険です。

・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。

・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。

また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。

・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。

・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

・長時間運転による発熱にご注意ください。手などの皮膚が長時間にわたり本体へ触れていますと、低温やけどを起こす可能性があります。

・正面パネルなどを開閉する作業が必要な場合は、作業後に必ず元の通りに閉じてください。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。

・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

·強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。

・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。

・ファンのほこりの清掃

・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835　東京都八王子市千人町2－17－16

TEL	042－666－6329
FAX	042－666－6330
受付時間	8:30～17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042－666－6311
緊急時	090－3230－3507
受付時間	9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために I

1. 概要 1

2. 機能チェック 2

3. 各部の名称と働き 8

1. CF-92HD/SD、B 正面 8

2. CF-92HD/SD、B 中面（前面パネルを外したときの図） 9

3. CF-92HD/SD、B 背面 11

4. ファイルシステム 13

1. 概要 13

2. ドライブ名の割り当て 13

3. サブディレクトリの扱い 13

4. CF カードのフォーマット 13

5. 操作方法 14

1. 起動画面 14

2. 送出操作 15

(1) 送出操作 15

(2) ファイル読み出し 15

(3) 送出モード 16

(4) TAKE操作 16

3. 編集操作 17

(1) 登録 17

(2) 挿入登録 18

(3) 連続登録 20

(4) コピー 22

(5) 移動 23

(6) 入れ替え 25

(7) 削除 26

(8) 詰め削除 28

(9) 削除許可/禁止 29

(10) フォーマット 31

4. プログラム操作 33

(1) プログラムの作成 33

(2) プログラムの削除 34

(3) プログラムの実行 36

(4) プログラムの保存 39

(5) プログラムの読み出し 41

5. PTRN メニュー 43

6. SYS メニュー 43

(1) FORMAT 43

(2) FILL POSI 43
(3) KEY POSI 43
(4) GPI IN 44
(5) NEXT OUT 44
(6) GENLOCK 44
(7) MENU 44
(8) DEL CMD 44
(9) START READ 44
(10) NETWORK 45
(11) VERSION 45
7. CONF メニュー 45
(1) TIMER 45
(2) LCD SAVER 45
(3) LCD THUM 46
(4) WR SCAN 46
(5) SPR IMPS 46
(6) PANEL LOCK 46
(7) SNTP 46
(8) PANEL SEND 47
(9) SPR ONOFF 47
8. READ メニュー 47
(1) FILL 47
(2) KEY 47
(3) EXEC MODE 47
(4) AUDIO MODE 47
9. DRV メニュー 48
10. TRN メニュー 48
(1) IN FD SPD 48
(2) OUT FD SPD 48
(3) ON TAKE 48
(4) OFF TAKE 48
(5) LAUDIOL 48
(6) FAUDIOL 48
11. GPIA メニュー 49
(1) PIN0 49
(2) PIN1 49
(3) PIN2 49
(4) PIN3 49
(5) PIN4 49
(6) POUT0 50

(7) POUT1 50
(8) POUT2 50
(9) POUT3 50
12. メニュー操作 51
13. メニューツリー 54
6. JPEG2000 ファイル 59
1. 概要 59
2. CF-92HD/SD、B 用独自情報 59
3. CF カードによるファイルのコピー 59
7. FTP 転送 60
1. 概要 60
2. ネットワークの設定 60
3. ネットワーク接続の確認 60
4. ファイル仕様 61
5. FTP 転送手順 61
6. FTP 転送の制限事項 62
8. SNMP 63
1. 基本動作チェック 63
2. 工場出荷時設定 64
3. MIB データ 65
9. スーパーインポーズの LINE 入力 AVDL 引き込み範囲 69
10. 外部インターフェース 70
1. RS-422 70
(1) 概説 70
(2) 通信仕様 70
(3) 通信手順 70
(4) 通信フォーマット 71
(5) 通信プロトコル 71
(6) コマンド 71
2. REMOTE 74
3. GPI 75
11. トラブルシューティング 76
12. 仕様 78
1. 機能 78
2. 定格 79
3. 性能 80
13. ブロック図 81
14. 外形寸法図 82

1. 標準 . . . 82
2. 増設ユニット実装時 . . . 84
15. CF-90-01 ファイルコント（オプション） . . . 86
1. 概要 . . . 86
2. 接続 . . . 86
3. 各部の名称と働き . . . 86
3-1. CF-90-01ファイルコント前面 . . . 86
3-2. CF-90-01ファイルコント背面 . . . 90
3-3. 基本操作 . . . 91
3-4. ファイル番号の管理 . . . 106
3-5. 仕様 . . . 106
3-6. 外形寸法 . . . 107
16. CF-90-02 1U ハーフダイレクトリモコン（オプション） . . . 108
1. 概要 . . . 108
2. 接続 . . . 108
3. 各部の名称と働き . . . 108
3-1. CF-90-02 1Uハーフダイレクトリモコン前面 . . . 108
3-2. CF-90-02 1Uハーフダイレクトリモコン背面 . . . 110
3-3. 基本操作 . . . 111
3-4. ファイル番号の管理 . . . 116
3-5. 仕様 . . . 116
3-6. 外形寸法 . . . 116
17. CF-90-03 テンキーリモコン . . . 117
1. 概要 . . . 117
2. 接続 . . . 117
3. 機能 . . . 117
4. 各キーの働き . . . 119
5. テンキーの入力形式 . . . 120
6. モードごとのテンキー入力方法 . . . 120
7. テンキーリモコンの操作 . . . 121
8. テンキーリモコンからのメニュー操作 . . . 122
9. 仕様 . . . 129
10 外形寸法 . . . 129
18. CF-50 FILE CONT . . . 130
1. 概要 . . . 130
2. 接続 . . . 130
3. 各部の名称と働き . . . 130
3-1. 基本操作 . . . 130
3-2. ファイル番号の管理 . . . 146
19. エラーメッセージ一覧 . . . 147

1. 概要

静止画カラーファイルCF-92HD/SD、Bは、HD/SD-SDIのFILL信号とKEY信号を同時に記録し送出が行える1Uサイズの静止画ファイル装置です。ファイルは半導体メモリに記録されますので、長時間の連続運転にも安心してご利用いただけます。素材の取り込みはFILL信号とKEY信号を直接取り込む方法と、LAN経由でαチャンネル付きTARGAファイル、およびWAVファイルを取り込む方法があります。オプションのファイルコント、ダイレクトリモコン、編集・送出アプリケーションを使用すると、任意のファイルをNEXT、またはON AIRへ即時に読み出すことができます。更にオプションのCF-92B-01増設ユニットを実装すると独立した2系統の登録、送出ができます。

■特　長

- ✓素材取り込みは、HD/SD-SDI 信号キャプチャー、FTP 転送、CF カードで対応
- ✓フィル、キーの静止画と音声を自由に組み合わせて送出可能
- ✓音声はリピート再生が可能
- ✓フィル、キー素材は 10bit JPEG2000 形式で半導体メモリに記録
- ✓映像フォーマットは、1080i/59.94、1080i/50、525i、625i に対応し、各々フィルとキーのペアで最大 8000 枚登録可能
- ✓エンベデッド音声は 8CH、3～8CH は 1、2CH をコピーして出力
- ✓音声ファイルは、2CH、16bit、48kHz の WAV ファイルに対応、最大 1 分間の素材を 20 ファイル登録可能
- ✓FILL IN にライン信号を入力して内部 DSK でファイル（フィル、キー、音声）をスーパーインポーズ可能 ※1
- ✓FILL OUT、KEY OUT または NEXT OUT から出力している映像を本体正面のディスプレイで確認することが可能
- ✓エマージェンシースルー搭載（OUTPUT-FILL 1 のみ）
- ✓電源投入時に自動的に読み出す素材を選択可能
- ✓ファイルの読み出し・書き込み中も素材登録可能
- ✓CF カードに保存した静止画を送出可能 ※2、※3
- ✓SNMP によるリモート監視・制御に対応
- ✓RS-422 によるシリアル制御に対応
- ✓独立した2系統の登録、送出が可能
- ✓電源二重化に対応

※1　内部 DSK 使用時、KEY 出力が DSK プレビュー出力になります。

※2　音声ファイルの取り込みは、FTP 転送、CF カードで行います。

※3　CF カードから音声再生はできません。本体の半導体メモリに取り込んでから再生して下さい。

2. 機能チェック

1. 構 成

(1)CF-92HD/SD 標準

CF-92B 標準

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	カラーファイル装置 標準	CF-92HD/SD / CF-92B	1 台	
2	取扱説明書		1 部	本書
3	REMOTE コネクター	HR10A-7P-6P	1 個	
4	電源ケーブル	2m	2 本	
5	マウントビス	5mm	4 本	

(2)CF-92HD/SD ＋CF-92-01 増設ユニット(オプション)実装時

CF-92B ＋CF-92B-01 増設ユニット(オプション)実装時

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	CF-92HD/SD ＋ CF-92-01 CF-92HD/SD 増設ユニット実装時 / CF-92B ＋ CF-92B-01 CF-92B 増設ユニット実装時	CF-92-01 / CF-92B-01	1 台	CF-92-01、 CF-92B-01 は工場出荷時オプションです
2	取扱説明書		1 部	本書
3	REMOTE コネクター	HR10A-7P-6P	2 個	
4	電源ケーブル	2m	2 本	
5	マウントビス	5mm	4 本	

(3)ファイルコント(FILE CONT)(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	ファイルコント	CF-90-01	1 台	
2	コントロールケーブル	10m 同軸	1 本	
3	電源ケーブル	2m	1 本	
4	ヒューズ	2A	3 本	

(4)1U ハーフダイレクトリモコン(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	1U ハーフダイレクトリモコン	CF-90-02	1 台	
2	コントロールケーブル	10m 同軸	1 本	
3	電源ケーブル	2m	1 本	
4	ヒューズ	1A	3 本	
5	マウントビス	5mm	4 個	

(5)テンキーリモコン(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	テンキーリモコン	CF-90-03	1 台	
2	専用ケーブル	10m	1 本	

(6)ファイル転送ソフト(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	アプリケーション CD	VFTP	1 枚	
2	取扱説明書		1 部	
3	ソフトウェア使用契約書		1 部	

(7)CF-90 シリーズ登録・送出ソフト(オプション)

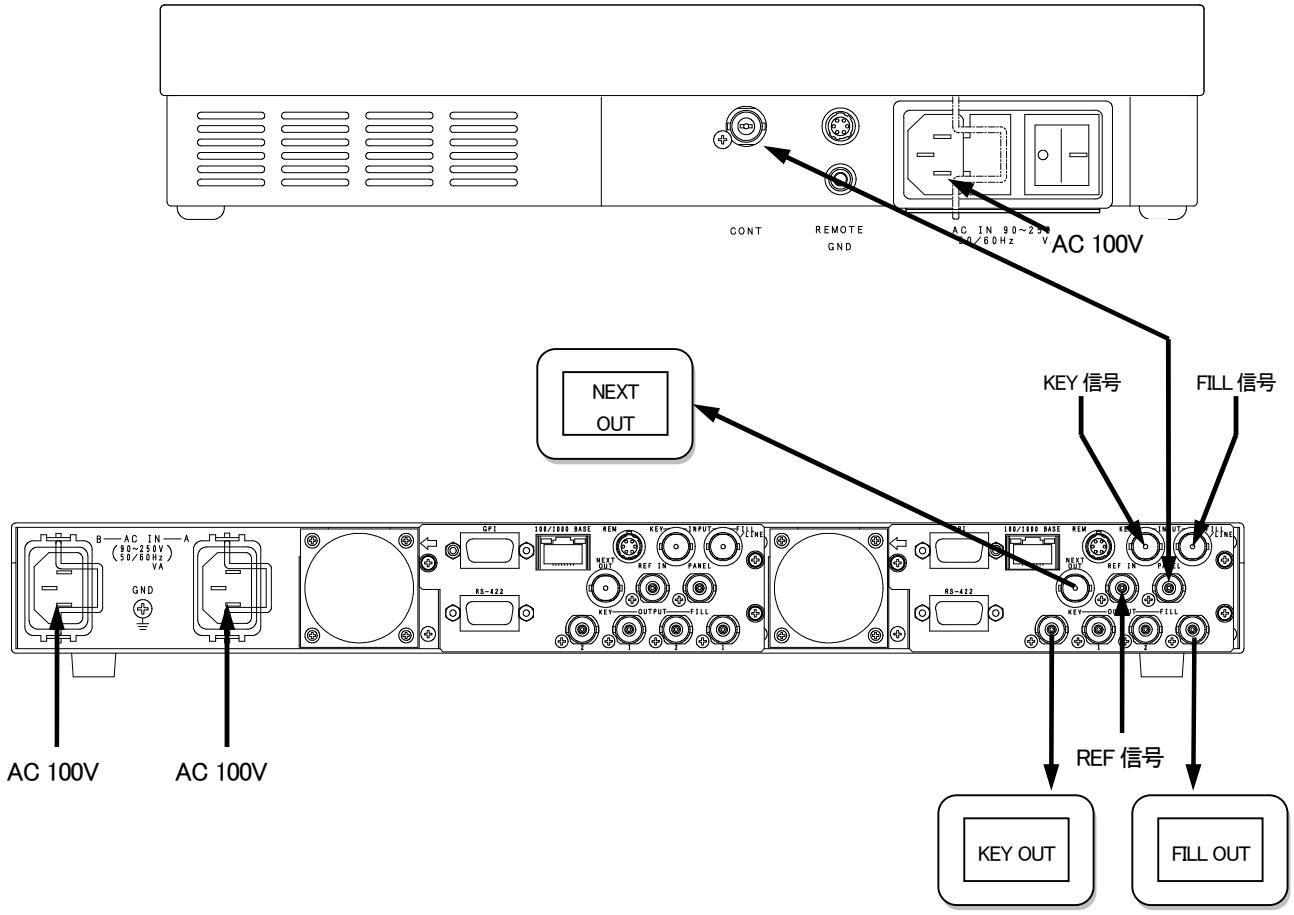
番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	アプリケーション CD	VFTP ONAIR	1 枚	
2	取扱説明書		1 部	
3	ソフトウェア使用契約書		1 部	

(8)テロップ画像作成ソフト(オプション)

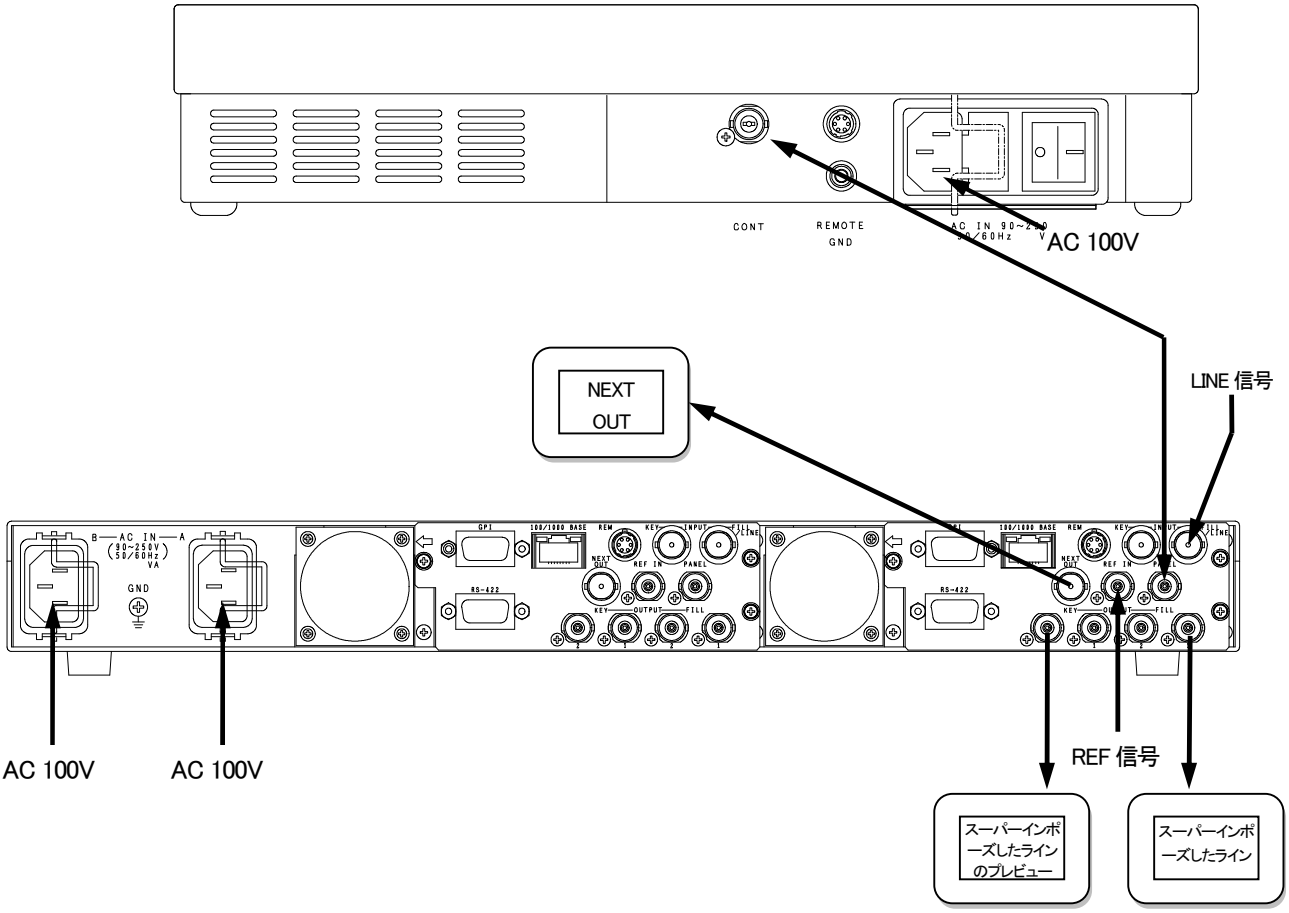
番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	アプリケーション CD	ST-V5	1 枚	
2	プロテクト KEY	HASP HL	1 個	
3	取扱説明書		1 部	
4	ソフトウェア使用契約書		1 部	

2. 機能チェック接続図

(1)登録モード



(2) 送出モード



3.POWER ON までの手順

(1)本体背面の AC IN-A、AC IN-B に電源ケーブルを接続し、AC100V を供給します。

※CF-90-01、CF-90-02 を使用する場合、CF-92HD/SD、B の PANEL 端子と CF-90-01、CF-90-02 の CONT を BNC ケーブルで接続し、電源ケーブルを接続します。

※CF-90-03 を使用する場合、CF-92HD/SD、B の RS-422 端子と CF-90-03 の Mini-DIN-8 コネクターを専用ケーブルで接続します。電源の供給について「17. CF-90-03 テンキーリモコン」を参照してください。

(2)REF IN に BBS を接続します。

(3)INPUT-FILL/LINE に HD-SDI の静止画を入力してください。登録モードの場合、INPUT-KEY に HD-SDI の静止画を入力してください。

(4)OUTPUT-FILL 1、OUTPUT-KEY 2、NEXT OUT を HD-SDI 対応のモニターに接続してください。

(5)本体の電源スイッチを投入します。本体の電源スイッチは、本体正面の操作パネルに隠れています。正面パネルの両サイドを手で押さえて、手前に引き抜くと右側に電源スイッチがあります。電源スイッチを投入すると本体正面のパワーランプが緑色に点灯します。

※CF-90-01、CF-90-02 を使用する場合、パネルの電源スイッチを投入してください。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は「11.トラブルシューティング」を参照してください。

(1)登録モード

1)前項の POWER ON までの手順に従い機器をセットアップします。

2)本体の電源を OFF にした状態ではエマージェンシースルー機能が働き、INPUT-FILL/LINE に入力している信号が OUTPUT-FILL 1 の出力からスルーで出力されます。

3)電源を投入すると、NEXT OUT 出力にオンスクリーンメニューが表示され、起動シーケンスが開始されます。起動シーケンス中はエマージェンシースルー機能が働いています。

4) 起動シーケンスが完了すると NEXT OUT に「5-1 起動画面」のようなステータスと「START READ」メニューで設定したファイルが合成され、出力されます。

※「START READ」の説明、詳細な操作方法については、「5-6 SYS メニュー」を参照してください。

5) MENU ボタンを押すとメインメニューに入ります。WR メニューを選択し、SET ボタンを押します。
点滅しているファイル番号は変更可能な状態を表します。

6) ツマミを回して登録するファイル番号を指定します。

7)登録するファイル番号を指定し、SET ボタンを押すと「WRITE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。既にファイルが存在するときは「OVER WRITE SURE? YES NO」と表示されます。

8)「YES」を選択していることを確認し、SET ボタンを押すと書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITTING」のメッセージが表示されます。

9)書き込みが終了すると「WRITE END」のメッセージが表示されて、ファイル選択に戻ります。

10)MENU ボタンを 3 回押すとメニュー画面から抜きます。

11) NEXT OUT 出力画面を見ながら、ツマミを回して登録したファイル番号を指定します。

12)ファイル番号を指定し、(10 秒以内)SET ボタンを押すと NEXT に読み込むファイルが決定されます。

13)CHG ボタンを押すと登録したファイルが ON AIR に出力します。OUTPUT-FILL 1、OUTPUT-KEY 2 の出力を確認します。

14)以上で、登録モードチェックは完了です。

(2)送出モード

1)前項の POWER ON までの手順に従い機器をセットアップします。

2)本体の電源を OFF にした状態ではエマージェンシースルー機能が働き、INPUT-FILL/LINE に入力している信号が OUTPUT-FILL 1 の出力からスルーで出力されます。

3)電源を投入すると、NEXT OUT 出力にオンスクリーンメニューが表示され、起動シーケンスが開始されます。起動シーケンス中はエマージェンシースルー機能が働いています。

4) 起動シーケンスが完了すると NEXT OUT に「5-1 起動画面」のようなステータスと「START READ」メニューで設定したファイルが合成され、出力されます。

※「START READ」の説明、詳細な操作方法については、「5-6 SYS メニュー」を参照してください。

5) NEXT OUT 出力画面を見ながら、ツマミを回して登録モードで登録したファイル番号を指定します。

6)ファイル番号を指定し、(10 秒以内)SET ボタンを押すと NEXT に読み込むファイルが決定されます。

7) S-TAKE ボタンを押すとスーパーを ON します。

※CF-92HD/SD の場合、CF-90-01 または CF-90-02 で CONFIRM S.TAKE ボタンを押すとスーパーを ON します。CF-90-01 または CF-90-02 をお持ちでないとき、MENU ボタンを押していただいて CONF メニューの「SPR ONOFF」サブメニューで ON に設定するとスーパーを ON します。

※詳細な操作方法については、「5.操作方法」を参照してください。

8)CHG ボタンを押すと登録したファイルが ON AIR に出力します。OUTPUT-FILL 1、OUTPUT-KEY 2(プレ

ビュー）の出力を確認します。

9)以上で、基本動作チェックは完了です。

【CF-90-01 を使用した場合】

1）上記の基本動作チェックを行い、正常動作を確認した後 CF-90-01 の基本動作チェックを行います。

2）ファイルコント正面の CHG ボタンを押すとボタンが赤色に点灯し、現在の NEXT 出力を ON AIR に移し、NEXT に次のファイルを読み出します。

3）以上で、基本動作チェックは完了です。

※詳細の使い方は「15.CF-90-01　ファイルコント」を参照してください。

【CF-90-02 を使用した場合】

1）上記の基本動作チェックを行い、正常動作を確認した後 CF-90-02 の基本動作チェックを行います。

2）1U ハーフダイレクトリモコン正面の CHG ボタンを押すとボタンが赤色に点灯し、現在の NEXT 出力を ON AIR に移し、NEXT に次のファイルを読み出します。

3）以上で、基本動作チェックは完了です。

※詳細の使い方は「16.CF-90-02　1U ハーフダイレクトリモコン」を参照してください。

【CF-90-03 を使用した場合】

1）上記の基本動作チェックを行い、正常動作を確認した後 CF-90-03 の基本動作チェックを行います。

2）テンキーリモコン正面の CHG ボタンを押すとボタンが赤色に点灯し、現在の NEXT 出力を ON AIR に移し、NEXT に次のファイルを読み出します。

3）以上で、基本動作チェックは完了です。

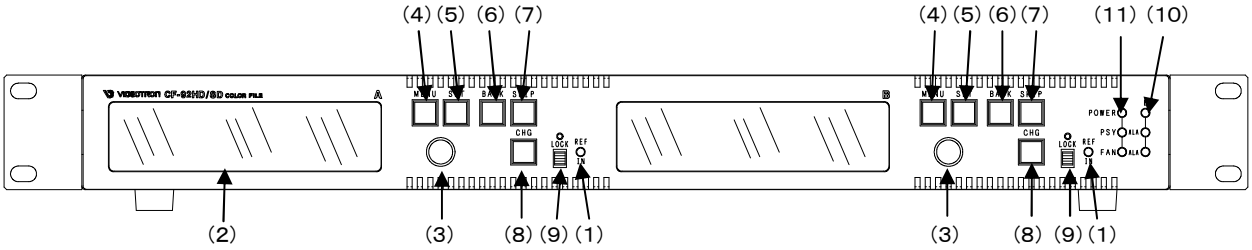
※詳細の使い方は「17.CF-90-03　テンキーリモコン」を参照してください。

※ CF-92-01、CF-92B-01 を実装した場合、未確認系統にケーブルを接続し上記の基本動作チェックをもう一度行ってください。

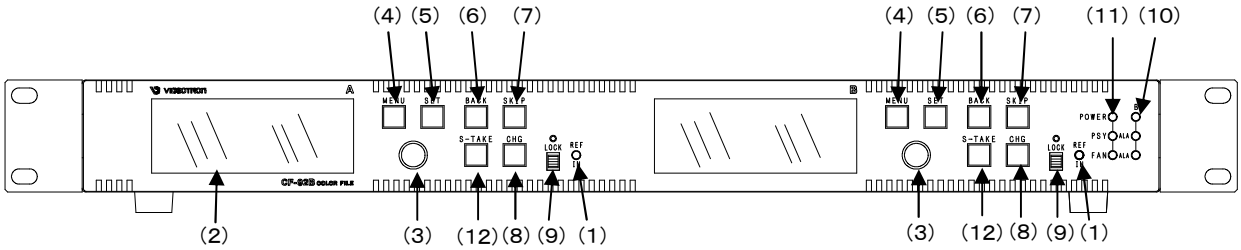
3. 各部の名称と働き

1. CF-92HD/SD、B 正面

CF-92HD/SD ＋ CF-92-01



CF-92B ＋ CF-92B-01



(1) REF IN ランプ

REF IN コネクターに BBS が入力されていてロックしたとき緑点灯します。

(2) 表示器

MENU ボタン消灯時は、左側に機種名「CF-90、92HD/SD」または「CF-90,92B」と ON AIR、NEXT に上がっているファイル名が

右側に CONF･LCD THUM で設定したサムネイル映像が表示されます。

MENU ボタン点灯時は、各種設定メニューを表示します。

※注: CF-92HD/SD の場合、525i、625i のサムネイル映像は横長に表示します。

CF-92B の場合、1080i のサムネイル映像は縦長に、525i、625i のサムネイル映像は横長に表示します。

(3) ツマミ

MENU ボタン点灯時は、ツマミを回すと各項目の選択または設定ができます。

(4) MENU ボタン

各種設定を行うメニューモードに切り替わります。

メニューモードのときは、項目の選択または設定のキャンセルをします。

(5) SET ボタン

メニューモードのときは、項目の選択または設定の決定をします。

(6) BACK ボタン

NEXT画面へバック方向のファイルを読み出します。

押し続けることでファイル番号のみがバックし、離したときのファイル番号が読み出されます。

(7) SKIP ボタン

NEXT画面へ次のファイルを読み出します。

押し続けることでファイルのみが進み、離したときのファイル番号が読み出されます

(8) CHG ボタン

現在の NEXT 出力を ON AIR に移し、NEXT に次のファイルを読み出します。

(9) LOCK スイッチ

LOCK スイッチを上にスライドさせると、各ボタンとツマミの操作が無効になります。

(10) B 電源ユニットランプ

POWER ランプ:電源の ON/OFF ランプです。電源 ON で点灯します。

PSY アラームランプ:電源出力が下がったときに、、橙点滅します。正常動作では消灯します。

FAN アラームランプ:FAN が停止または回転数が下がったときに、橙点滅します。正常動作では消灯します。

(11) A 電源ユニットランプ

POWER ランプ:電源の ON/OFF ランプです。電源 ON で点灯します。

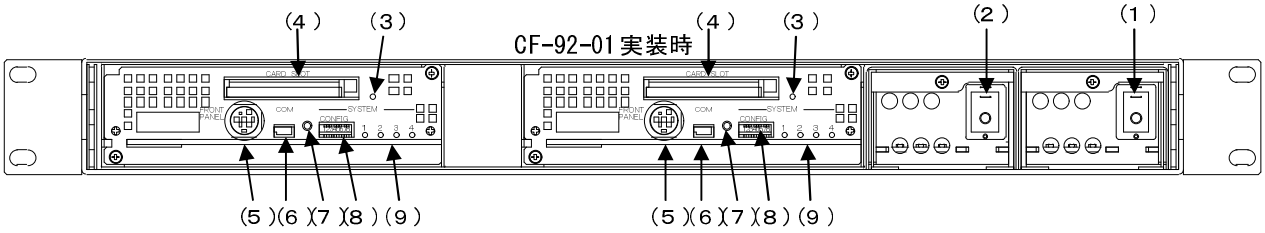
PSY アラームランプ:電源出力が下がったときに、、橙点滅します。正常動作では消灯します。

FAN アラームランプ:FAN が停止または回転数が下がったときに、橙点滅します。正常動作では消灯します。

(12) S-TAKE ボタン **※この機能は CF-92HD/SD には有りません。**

スーパーインポーズモード時にスーパーを OFF します。再度押しますとスーパーを ON します。

2. CF-92HD/SD、B 中面 (前面パネルを外したときの図)



(1) POWER

B 電源の ON/OFF スイッチです。 ON で緑色に点灯します。

(2) POWER

A 電源の ON/OFF スイッチです。 ON で緑色に点灯します。

(3) CARD ランプ

CF カードのアクセス中に緑点灯します。

(4) CARD SLOT

CF カードの挿入口です。

(5) FRONT PANEL

CF-92HD/SD、B 正面パネルとの接続コネクターです。

(6) COM

メンテナンス用です。通常は使用しません。

(7) RESET

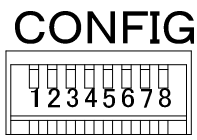
CPU のリセットスイッチです。押すことにより本体プログラムを再起動します。

(8) CONFIG

拡張用のディップスイッチです。

1～7 はシステムで使用しています。

スイッチ 3～7 は必ず OFF(上)にしておいてください。



(8)拡大図

工場出荷時設定は全て OFF

番号	機能
1	RS-422 モード設定
2	
3	テスト
4	テスト
5	テスト
6	メンテナンス
7	メンテナンス
8	工場出荷時設定

※ディップスイッチの設定は電源を切ってから行ってください。

1)RS-422 通信設定

番号		RS-422 通信モード設定
1	2	
OFF	OFF	APC
ON	OFF	CF-50 FILE CONT
OFF	ON	CF-50-02 テンキー、CF-90-03 テンキーリモコン
ON	ON	未使用

上記の設定にて、RS-422 通信モードを選択してください。CF-50-02 テンキー、CF-90-03 テンキーリモコンを選択した場合、「17.CF-90-03 テンキーリモコン」を参照してください。

2)設定データ初期化

番号	工場出荷時設定
8	
ON	初期化有効
OFF	初期化無効

ON 設定にて、電源を入れると設定データが初期化されます。設定が初期化されていることを確認したら、電源を OFF にします。前面パネルを外し、初期化無効(OFF 設定)に戻します。

(9) STATUS

メンテナンス用です。

1 赤色点灯: ネットワークへ送信中です。

緑色点灯: ネットワークから受信中です。

2 赤色点灯: IDE DMA 割込みが入ってきています。

緑色点灯: JPEG2000 のエンコード/デコードを行っています。

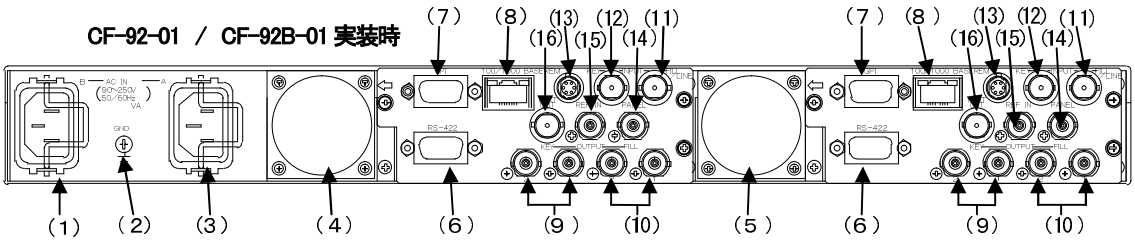
3 赤色点灯: JPEG2000 のエンコード/デコードを行っています。

緑色点灯: システムが動作中です。

4 赤色点灯: 静止画のリード又はキャプチャー中です。

緑色点灯: システムが動作中です。

3. CF-92HD/SD、B 背面



(1) AC IN B

B 電源の AC 入力のコネクターです。付属の AC ケーブルを接続します。

(2) GND 端子

本体シャーシの GND 端子です。

(3) AC IN A

A 電源の AC 入力のコネクターです。付属の AC ケーブルを接続します。

(4) 放熱 FAN B

本体放熱用の FAN です。FAN 停止や回転数が下がったときには交換が必要です。

(5) 放熱 FAN A

本体放熱用の FAN です。FAN 停止や回転数が下がったときには交換が必要です。

(6) RS-422

外部制御用 RS-422 コネクターです。

(7) GPI

外部制御用 GPI コネクターです。

(8) 10/100 BASE

LAN 接続コネクターです。FTP 転送で静止画や音声を転送するのに使用します。

(9) KEY 出力端子

キー信号の出力端子です。

スーパーインポーズモードで使用する場合はスーパーインポーズしたプレビュー信号を出力します。

スーパーインポーズしたプレビュー信号のスーパーの ON/OFF は行えません。

(10) FILL 出力端子

フィル信号の出力端子です。

スーパーインポーズモードで使用する場合はスーパーインポーズしたライン信号を出力します。

スーパーインポーズしたライン信号のスーパーの ON/OFF は GPI や CF-90-01 ファイルコントなどから行うことができます。

※OUTPUT-FILL 1 は、電源投入後イニシャル終了まで INPUT-FILL /LINE の信号が出力されます。

(11) FILL/LINE 入力端子

フィル信号の入力端子です。

スーパーインポーズモードで使用する場合はライン信号を入力します。

(12) KEY 入力端子

キー信号の入力端子です。

(13) REMOTE

接点入出力端子。外部コントロールでチェンジ等の動作を行う場合に接続します。

(14) PANEL

CF-90-01 ファイルコント/CF-90-02 1U ハーフダイレクトリモコンを接続します。

(15) REF IN 端子

同期信号の入力端子です。REF IN 端子に同期信号が入力されていない場合、インターナルで動きます。インターナルで使用した場合、後段の機器によっては正常に映像を受信できないことがあります。できる限り、リファレンス信号を入力してください。

(16) NEXT OUT 端子

NEXT 出力端子です。オンスクリーンメニュー画面が合成表示されます。

4. ファイルシステム

1. 概要

CF-92HD/SD、B内部で採用しているファイルシステムは、使用目的ごとに独立したドライブ名を割り当てています。

2. ドライブ名の割り当て

CF-92HD/SD、Bでは、以下の表に従ってドライブ名を割り当てています。

ドライブ名	内容
A:¥	CF-92HD/SD、Bシステムで予約済み
B:¥	1080i（HD）用ファイル専用ドライブ
C:¥	525i（SD）用ファイル専用ドライブ
D:¥	625i（PAL）用ファイル専用ドライブ
E:¥	CF-92HD/SD、Bシステムで予約済み
F:¥	CFカードドライブ

JPEG2000ファイルを転送する時の転送先ドライブ名には、転送する静止画ファイルの仕様に合わせたドライブ名を指定して下さい。

3. サブディレクトリの扱い

すべてのドライブは、サブディレクトリを扱いません。

4. CF カードのフォーマット

CFカードをPCでフォーマットする際は以下のフォーマットにしてください。

容量	フォーマット
32MB未満	FAT12
32M～2GB	FAT16
4GB以上	FAT32

注: CFカードのフォーマットはCF-92HD/SD、Bで行ってください。

CFカードのフォーマット方法は「5.操作方法 → 3.編集操作 → (10)FORMAT」を参照してください。

注: CFカードから直接音声再生はできませんので本体SSDに取り込んでから再生して下さい。

注: 32M～2GBはFILL+KEYで127枚程度しか入りません。

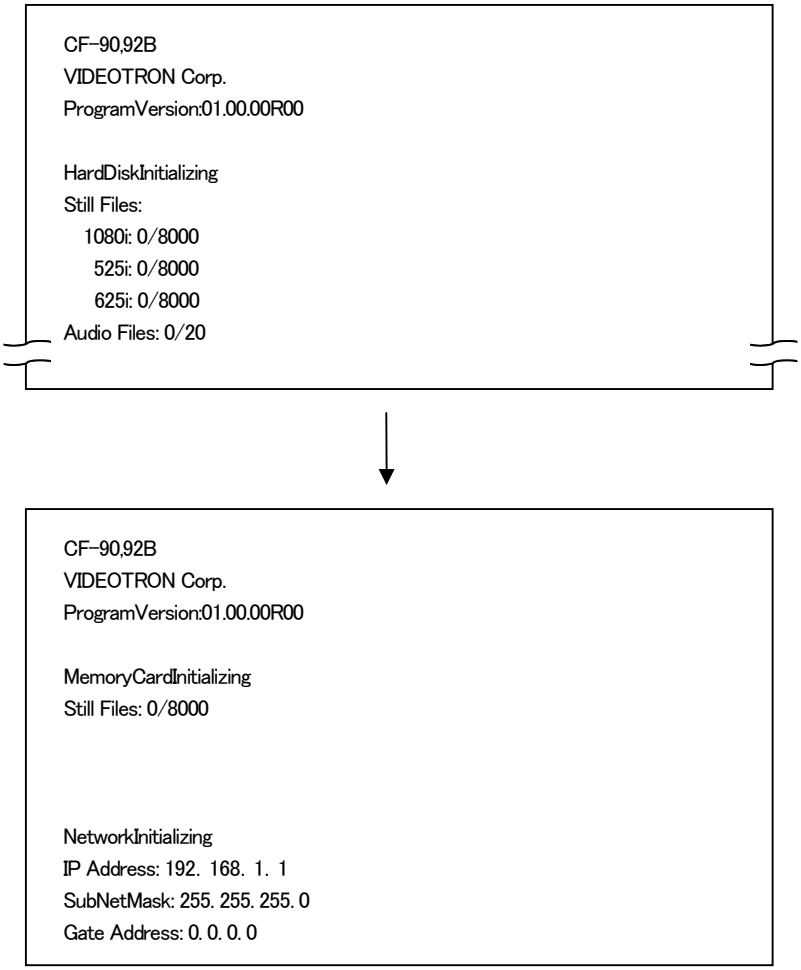
注: CFカードで確認済みの容量 128MB、512MB、1GB、2GB、4GB、8GBです。

5. 操作方法

1. 起動画面

電源スイッチをONにします。

CF-92HD/SD、Bが起動し、NEXT出力に以下の起動画面が表示されます。



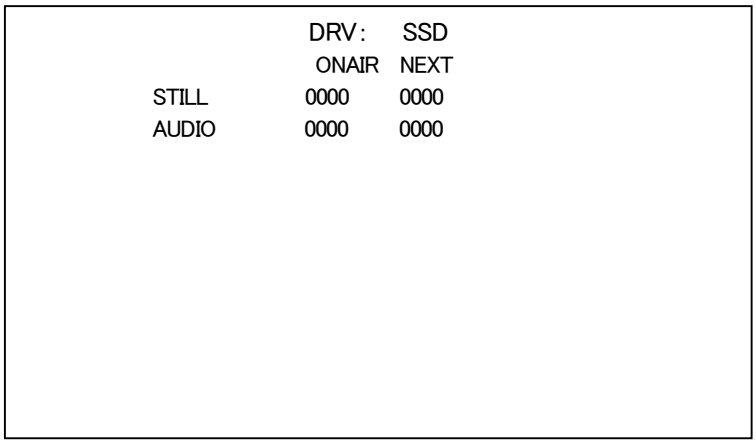
※ 先頭の機種名の表示は CF-92B の場合は「CF-90,,92B」
CF-92HD/SD の場合は「CF-90,92HD/SD」

※ HardDiskInitializing
Still Files:
1080i: 記録枚数 / 最大枚数
525i: 記録枚数 / 最大枚数
625i: 記録枚数 / 最大枚数
Audio Files: 記録枚数 / 最大枚数

※ MemoryCardInitializing
StillFiles: 記録枚数 / 最大枚数

※ NetworkInitializing
IP Address: IP アドレスの表示
SubNetMask: サブネットマスクの表示
Gate Address: ゲートアドレスの表示

起動後NEXT画面が以下のように表示されます。



2. 送出操作

正面パネルのボタンとツマミを操作することで行います。

(1) 送出操作

1) メニュー表示中のときはメニューから抜けて、送出モードにします。
電源起動時は送出モードです。

2) BACK、SKIPボタンでファイル番号を選びます。
選ばれたファイル番号はNEXT出力に読み込まれます。

3) ファイル番号を選んだら、CHGボタン押します。
NEXT出力がON AIR出力に切り替わり、NEXT出力に次のファイルが読み込まれます。

※ 本体からの送出では静止画と音声が同じファイル名のものは別々に送出できません。

※ CF カードから直接音声再生はできませんので本体 SSD に取り込んでから再生して下さい。

(2) ファイル読み出し

ファイルの読み出しは、読み出し対象のドライブに対して、次の3つのボタンとツマミで行います。

BACKボタン(バックリード) NEXT画面へバック方向のファイルを読み出します。
押し続けることでファイル番号のみがバックし、離したときのファイル番号が読み出されます。

SKIPボタン(スキップリード) NEXT画面へ次のファイルを読み出します。
押し続けることでファイル番号のみが進み、離したときのファイル番号が読み出されます。

CHGボタン(チェンジリード) 現在のNEXT出力をON AIRに移し、NEXTに次のファイルを読み出します。

ツマミ　　ツマミを左右に回すとNEXTのファイル番号が変わります。
ツマミを回すのを止めると選択しているファイルが10秒間NEXT画面に
読み出されます。
ファイルがNEXT画面に表示されている間にSETボタンを押すと選択したファイルが
NEXT画面に表示したままになります。
SETボタンを押さずに10秒経過すると元のNEXT画面の表示に戻ります。

(3) 送出モード

READメニューのMODEで設定できます。

DIRECT　　BACK、SKIPボタンで選択したファイルをNEXT出力に読み出します。
ツマミで選択したファイルはCHGボタンを押すとをON AIRにダイレクトに出力されます。
NEXT出力には次のファイルが読み出されます。

PRESET　　BACK、SKIPボタンで選択したファイルをNEXT出力に読み出します。
CHGボタンを押すとNEXT出力に読み出されているファイルがON AIRにチェンジされ
出力されます。NEXT出力には次のファイルが読み出されます。

BLACK　　BACK、SKIPボタンで選択したファイルをNEXT出力に読み出します。
CHGボタンを押すとNEXT出力に読み出されているファイルがON AIRにチェンジされ
出力されます。NEXT出力は黒味になります。
またCHGボタンを押すとNEXT出力の黒味がON AIRにチェンジされ出力されます。
NEXT出力には次のファイル番号が読み出されます。

(4) TAKE操作

CF-92HD/SDは本体正面からスーパーのON/OFFを行うことはできません。
オンスクリーンメニューやGPIやCF-90-01 ファイルコントなどからスーパーのON/OFFは行えます。
CF-92Bは本体正面からスーパーのON/OFFを行うことができます。

S-TAKEボタン　　スーパーインポーズモード時にスーパーをOFFします。再度押しますとスーパーを
ONします。

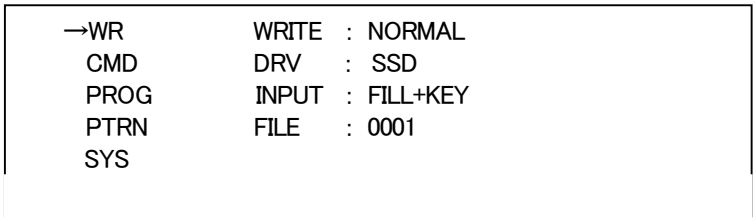
3. 編集操作

正面パネルのボタンとツマミを操作することで行います。

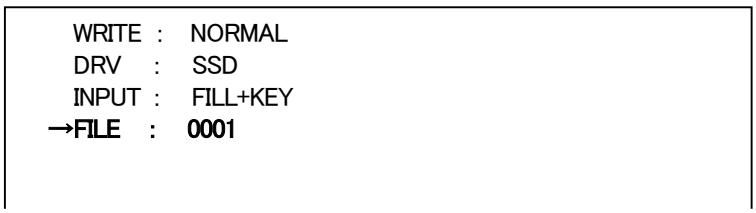
(1) 登録

※ ファイルの書き込みは静止画のみ行えます。音声の書き込みは行えません。

1) メインメニューからWRメニューを選択し、SETボタンを押します。

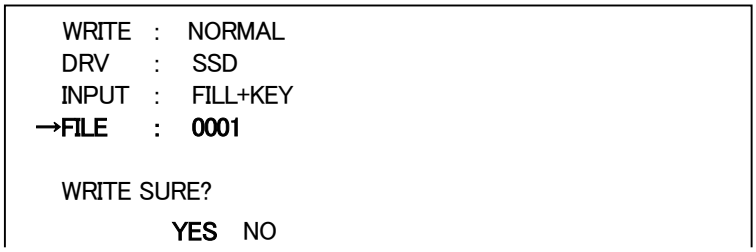


SETボタンを押すと下図のように表示が変わります。

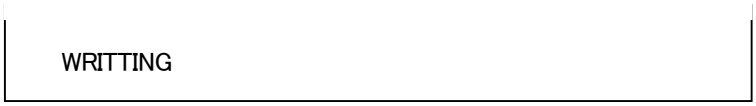


2) ファイル名が点滅して指定可能な状態になっていることを確認し、ツマミを回して登録するファイル名を指定します。

3) 登録するファイル名を指定し、SETボタンを押すと「WRITE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
(既にファイルが存在するときは「OVER WRITE SURE? YES NO」と表示されます。)



4) ツマミを回してYESを選択してSETボタンを押すと、書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITTING」のメッセージが表示されます。
(NOを選択するとWRITEは実行されずにファイル番号.選択に戻ります。)



5) 書き込みが終了すると「WRITE END」のメッセージが表示されて、ファイル選択に戻ります。

6) 他の設定項目を変更して再度書き込みを行う場合、MENUボタンを押すとサブメニュー画面に戻ります。

7) ツマミを回して矢印カーソルをWRITEメニューに移動させてSETボタンを押します。
点滅しているNORMALは変更可能な状態を表します。NORMAL以外のモードが選択されていた場合は、ツマミを回してNORMALを表示させてSETボタンを押して決定します。キャンセルする場合はMENUボタンを押します。

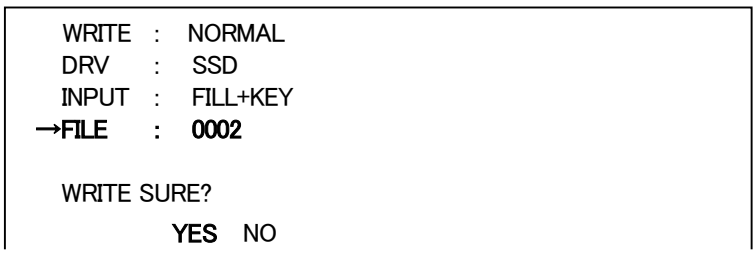
8) 書き込み先のドライブを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをDRVメニューに移動させてドライブを変更します。

9) 入力信号のタイプを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをINPUTメニューに移動させて入力信号のタイプを変更します。

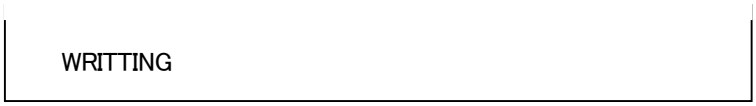
10) 登録するファイル名を指定する時は、ツマミを回して矢印カーソルをFILEメニューに移動させてSETボタンを押します。SETボタンを押すとファイル番号が点滅して指定可能な状態になります。

11) ツマミを回して登録するファイル名を指定します。

12) 登録するファイル名を指定し、SETボタンを押すと「WRITE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
（既にファイルが存在するときは「OVER WRITE SURE? YES NO」と表示されます。）



13) ツマミを回してYESを選択してSETボタンを押すと、書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITTING」のメッセージが表示されます。
（NOを選択するとWRITEは実行されずにファイル番号.選択に戻ります。）



14) 書き込みが終了すると「WRITE END」のメッセージが表示されて、ファイル選択に戻ります。

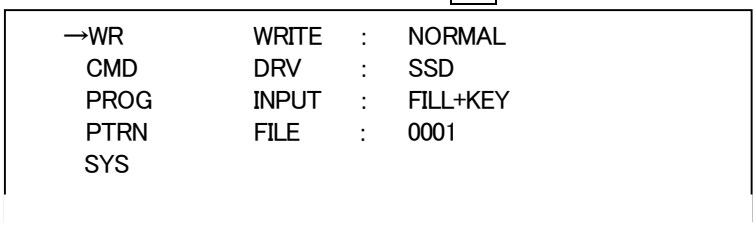
15) MENUボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

(2) 挿入登録

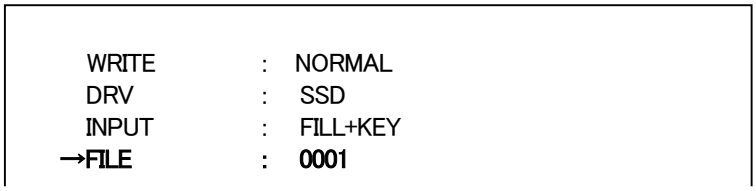
※ ファイルの書き込みは静止画のみ行えます。音声の書き込みは行えません。

挿入登録(INSERT WRITE)は、選択したファイル番号以降を後ろに順番にずらして空いた番号に新しいファイルを追加します。

1) メインメニューからWRメニューを選択し、SETボタンを押します。



SETボタンを押すと下図のように表示が変わります。



2) MENUボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

3) ツマミを回して矢印カーソルをWRITEメニューに移動させてSETボタンを押します。
点滅しているNORMALは変更可能な状態を表します。INSERT以外のモードが選択されていた場合は、ツマミを回してINSERTを表示させてSETボタンを押して決定します。キャンセルする場合はMENUボタンを押します。

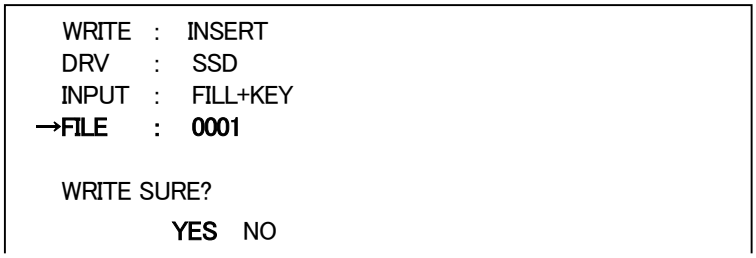
4) 書き込み先のドライブを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをDRVメニューに移動させてドライブを変更します。

5) 入力信号のタイプを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをINPUTメニューに移動させて入力信号のタイプを変更します。

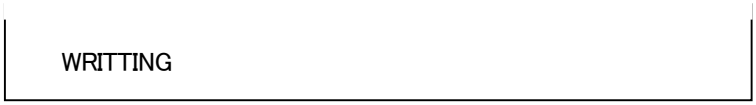
6) 登録するファイル名を指定する時は、ツマミを回して矢印カーソルをFILEメニューに移動させてSETボタンを押します。SETボタンを押すとファイル番号が点滅して指定可能な状態になります。

7) ツマミを回して登録するファイル名を指定します。

8) 登録するファイル名を指定し、SETボタンを押すと「WRITE SURE? YES　NO」のメッセージが表示されます。



9) ツマミを回してYESを選択してSETボタンを押すと、書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITTING」のメッセージが表示されます。
（NOを選択するとWRITEは実行されずにファイル番号.選択に戻ります。）



10) 書き込みが終了すると「WRITE END」のメッセージが表示されて、ファイル選択に戻ります。

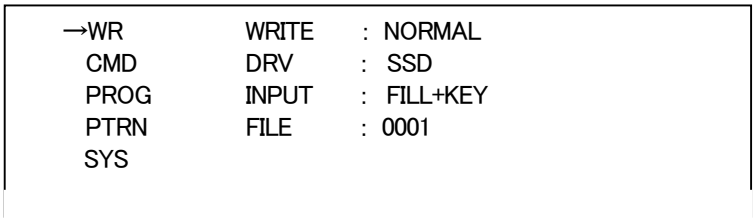
11) MENUボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

(3) 連続登録

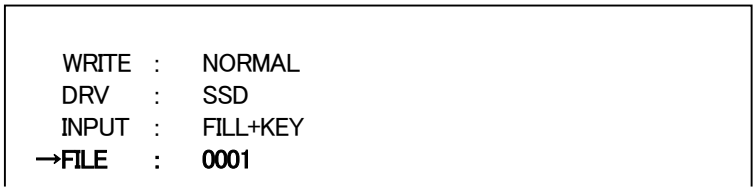
※ ファイルの書き込みは静止画のみ行えます。音声の書き込みは行えません。

連続登録（AUTO WRITE）は、確認メッセージを表示せずに連続して書き込みを行うモードです。

1) メインメニューからWRメニューを選択し、SETボタンを押します。

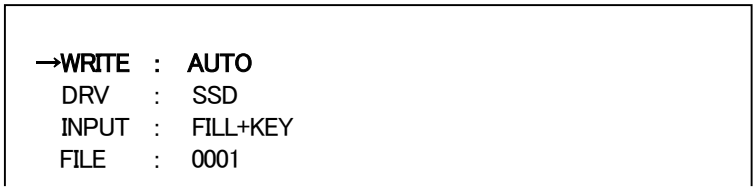


↓ SETボタンを押すと下図のように表示が変わります。



2) MENUボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

3) ツマミを回して矢印カーソルをWRITEメニューに移動させてSETボタンを押します。
点滅しているNORMALは変更可能な状態を表します。AUTO以外のモードが選択されていた場合は、ツマミを回してAUTOを表示させてSETボタンを押して決定します。キャンセルする場合はMENUボタンを押します。



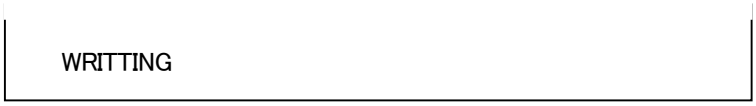
4) 書き込み先のドライブを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをDRVメニューに移動させてドライブを変更します。

5) 入力信号のタイプを変更する時は、ツマミを回して矢印カーソルをINPUTメニューに移動させて入力信号のタイプを変更します。

6) 登録するファイル名を指定する時は、ツマミを回して矢印カーソルをFILEメニューに移動させてSETボタンを押します。SETボタンを押すとファイル番号が点滅して指定可能な状態になります。

7) ツマミを回して登録するファイル名を指定します。

8) SETボタンを押すと、書き込み確認メッセージを表示しないで直ちに書き込みが実行されます。書き込み中は「WRITTING」のメッセージが表示されます。
（NOを選択するとWRITEは実行されずにファイル番号.選択に戻ります。）



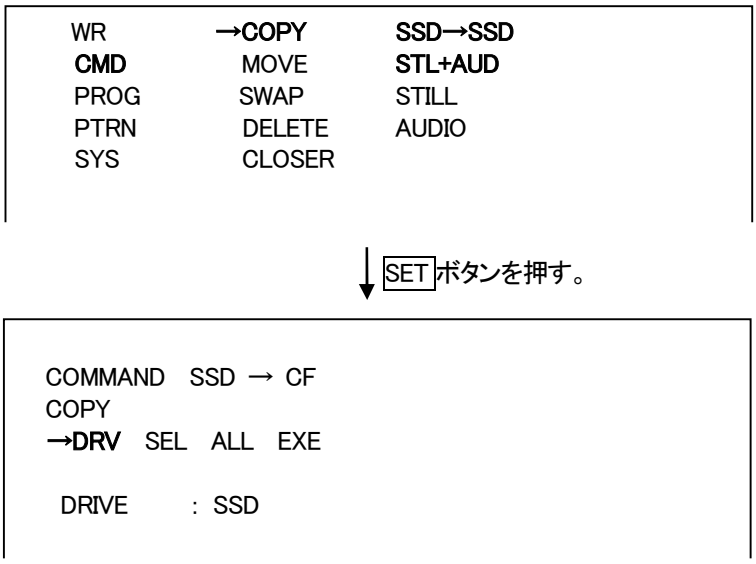
9) 書き込みが終了すると「WRITE END」のメッセージを表示して、7)に戻ります。

10) 連続登録を終了させるには MENUボタンを押します。MENUボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

(4) コピー

1) メインメニューから DRVメニューを選択し、コピー先ドライブを選択します。

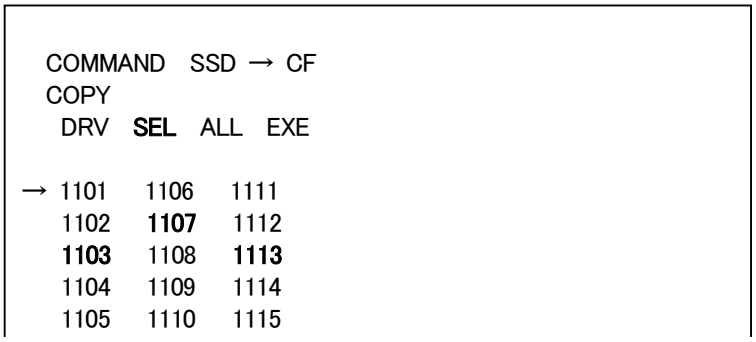
2) CMDメニューでCOPYを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。



3) DRVを選択してコピー元のドライブを選択します。

4) SELを選択してSETボタンを押します。

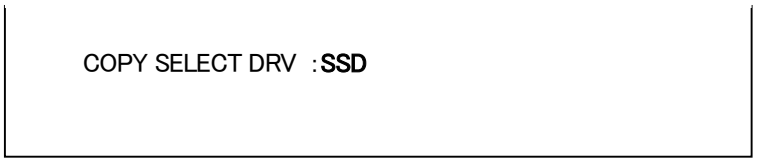
5) コピーしたいファイル番号のツマミを回して選択してSETボタンを押し決定します。
コピー選択されたファイル番号は白色強調表示になります。
白色強調表示のファイル番号を選択すると白色強調表示が解除されます。
ファイルの複数選択ができます。



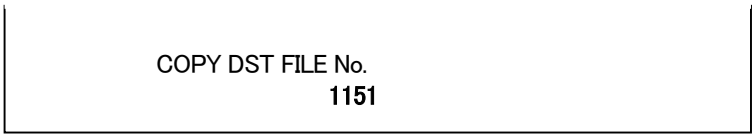
6) ファイル番号の選択が終わったら、MENUボタンを押して1つ上の階層に戻ります。

7) EXEを選択してSETボタンを押します。

8) ツマミを回してコピー先のドライブ番号を選んでSETボタンを押します。

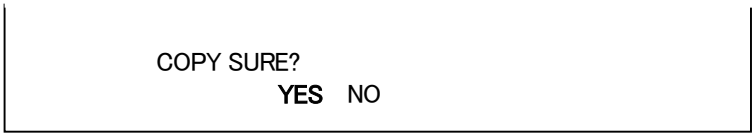


9) ツマミを回してコピー先ファイル番号を指定します。

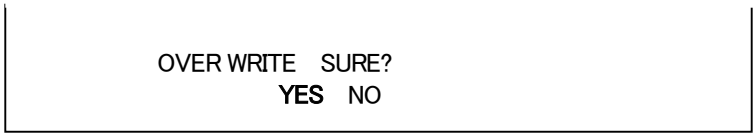


コピー先ファイル番号は、コピー先の1番若いファイル番号を指定します。
例えばコピー先ファイル番号を1151に指定した場合、選択した1101～1110は1151～1160となってコピーされます。

10) SETボタンを押すと「COPY SURE? YES NO」メッセージが表示されます。
YESを選んでSETボタンを押すとファイルのコピーが開始します。

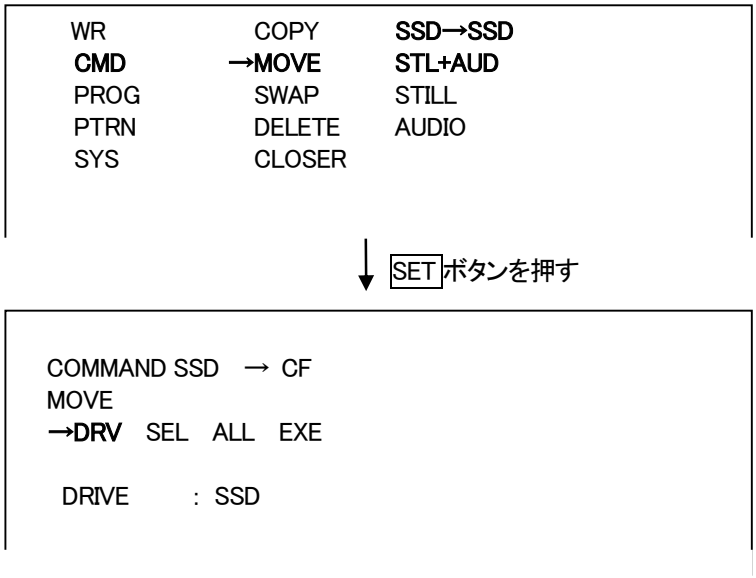


11) コピー先に既にファイルが存在すると以下のメッセージが表示されます。



(5) 移動

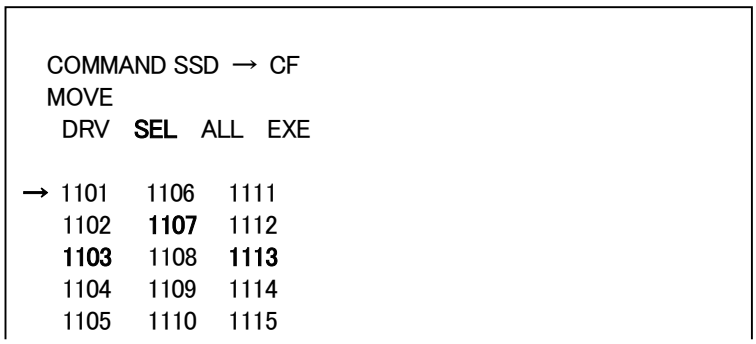
1) CMDメニューでMOVEを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。



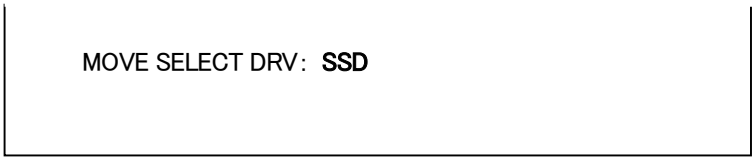
2) DRVを選択して移動元のドライブを選択します。

3) SELを選択してSETボタンを押します。

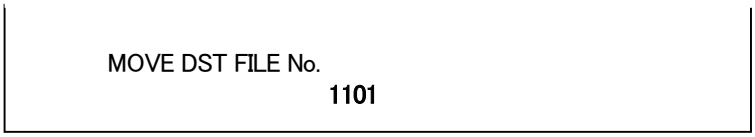
4) 移動したいファイルの番号のツマミを回して選択してSETボタンを押して決定します。
移動選択されたファイル番号は白色強調表示になります。
白色強調表示のファイル番号を選択すると白色強調表示が解除されます。
ファイルの複数選択ができます。



5) ファイル番号の選択が終わったら、MENUボタンを押して1つ上の階層に戻ります。
6) EXEを選択してSETボタンを押します。
7) ツマミを回して移動先のドライブ番号を選んでSETボタンを押します。

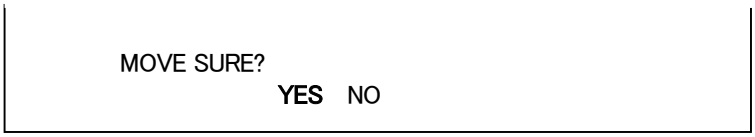


8) ツマミを回して移動先ファイル番号を指定します。

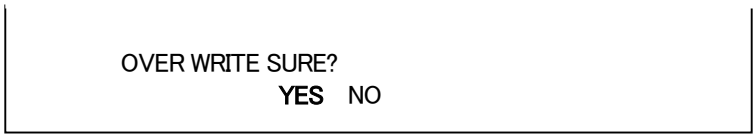


移動先ファイル番号は、移動先の1番若いファイル番号を指定します。
例えば移動先ファイル番号を1151に指定した場合、選択した1101～1110は1151～1160となって移動されます。

9) SETボタンを押すと「MOVE SURE? YES NO」メッセージが表示されます。
YESを選んでSETボタンを押すとファイルの移動を開始します。

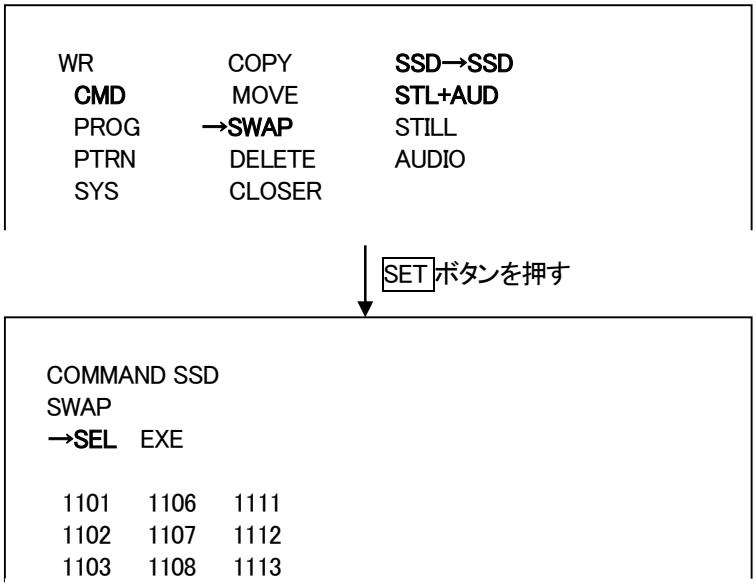


10) 移動先に既にファイルが存在すると以下のメッセージが表示されます。



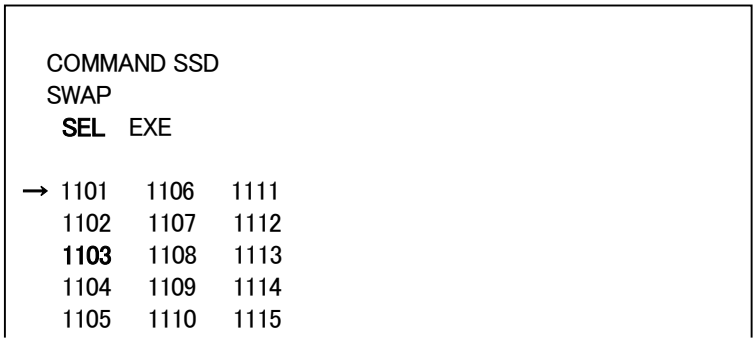
(6) 入れ替え

1) CMDメニューでSWAPを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。



2) SELを選択してSETボタンを押します。

3) 入れ替えたいファイル番号はツマミを回して選択してSETボタンを押して決定します。
決定されたファイル番号は白色強調表示になります。
白色強調表示のファイル番号を選択すると白色強調表示が解除されます。
ファイルの複数選択はできません。



4) ファイル番号の選択が終わったら、MENUボタンを押して1つ上の階層に戻ります。

5) EXEを選択してSETボタンを押します。

6) ツマミを回して入れ替え先ファイル番号を指定します。

```
SWAP DST FILE No.
                    1101
```

7) SETボタンを押すと「SWAP SURE? YES　NO」メッセージが表示されます。
YESを選んでSETボタンを押すとファイルの入れ替えを開始します。

```
SWAP SURE?
                  YES  NO
```

(7) 削除

1) メインメニューから DRVメニューを選択し、ドライブを選択してください。

2) CMDメニューのDELETEを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。

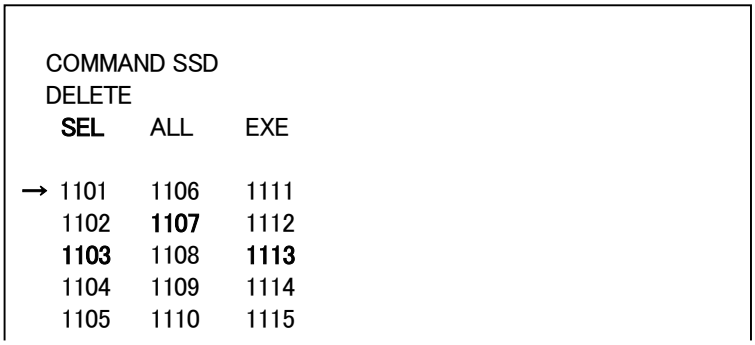
```
 WR          COPY        SSD→SSD
 CMD         MOVE        STL+AUD
 PROG        SWAP        STILL
 PTRN        →DELETE     AUDIO
 SYS         CLOSER
```

↓ SET ボタンを押す

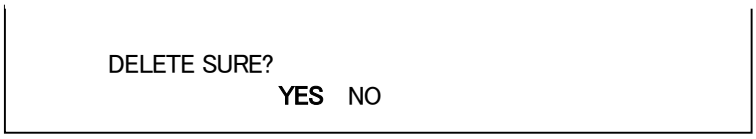
```
COMMAND SSD
DELETE
→SEL   ALL    EXE
 1101   1106   1111
 1102   1107   1112
 1103   1108   1113
```

3) SELを選択してSETボタンを押します。

4) 削除したいファイル番号にツマミを回して選択してSETボタンを押して決定します。
削除選択されたファイル番号は白色強調表示になります。
白色強調表示のファイル番号を選択すると白色強調表示が解除されます。
ファイルの複数選択ができます。

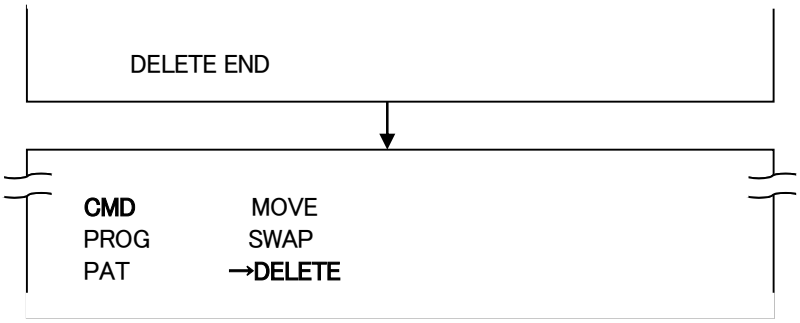


5) ファイル番号の選択が終わったら、MENUボタンを押して1つ上の階層に戻ります。
6) EXEを選択してSETボタンを押すと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。



7) YESを選んでSETボタンを押すとファイルのDELETEが実行され、「DELETING」のメッセージが表示されます。

8) DELETEが終了すると「DELETE END」のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。



(8) 詰め削除

詰め削除は、選んだファイルを削除し、それより後ろの連続ファイルを順番に前に詰めます。

1) メインメニューから DRVメニューを選択し、ドライブを選択します。

2) CMDメニューのCLOSERを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。

```
  WR          COPY        SSD→SSD
  CMD         MOVE        STL+AUD
  PROG        SWAP        STILL
  PTRN        DELETE      AUDIO
  SYS         →CLOSER
```

↓ SETボタンを押す

```
  COMMAND SSD
  CLOSER DELETE
 →SEL  EXE
   1101    1106    1111
   1102    1107    1112
   1103    1108    1113
   0004    0009    0014
```

3) SELを選択してSETボタンを押します。

4) 削除したいファイル番号にツマミを回して選択してSETボタンを押して決定します。
削除選択されたファイル番号は白色強調表示になります。
白色強調表示のファイル番号を選択すると白色強調表示が解除されます。
ファイルの複数選択はできません。

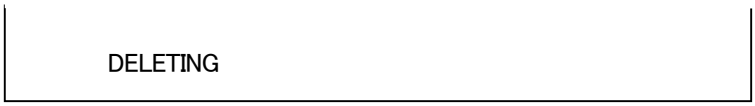
```
  COMMAND SSD
  CLOSER DELETE
   SEL  EXE

→ 1101    1106    1111
   1102    1107    1112
   1103    1108    1113
   1104    1109    1114
   1105    1110    1115
```

5) ファイル番号の選択が終わったら、MENUボタンを押して1つ上の階層に戻ります。

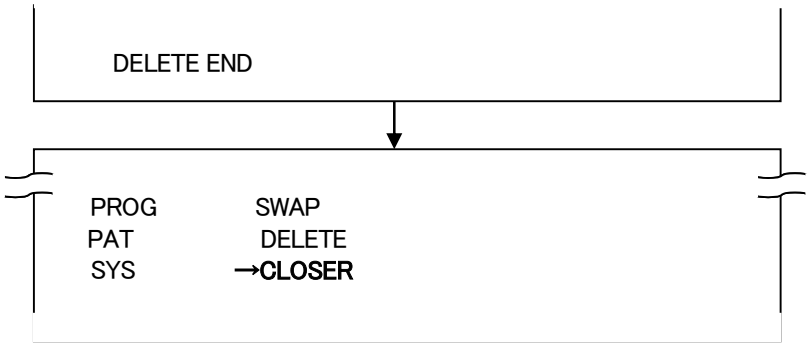
6) EXEを選択してSETボタンを押すと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

```
      DELETE SURE?
                  YES  NO
```

7) YESを選んでSETボタンを押すとファイルの削除が実行され、「DELETING」のメッセージが表示されます。



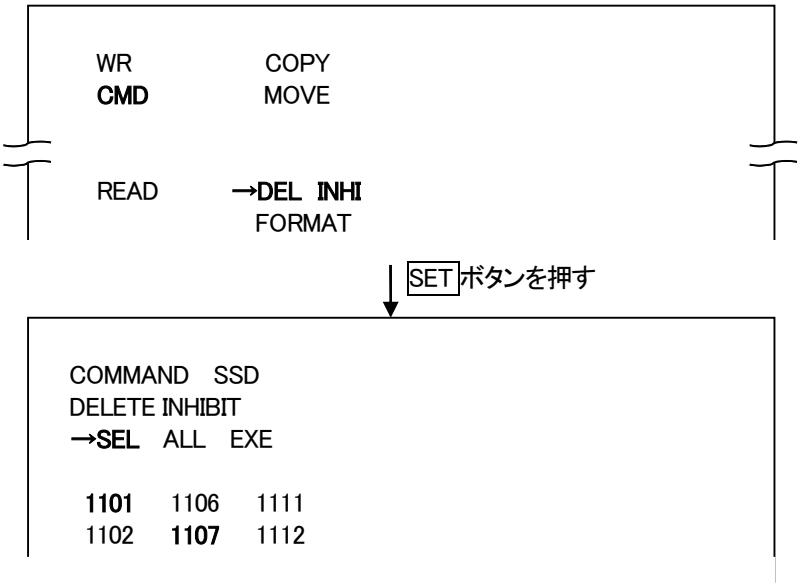
8) 削除が終了すると「DELETE END」のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。



(9) 削除許可/禁止

1) DRVメニューで対象ドライブを選択します。

2) CMDメニューのDEL INHIを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。



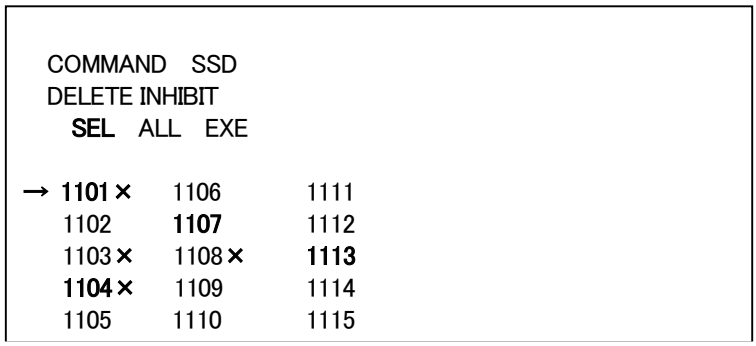
3) SELを選択してSETボタンを押します。

ツマミを回しファイル番号を選択してSETボタンを押して削除禁止/許可の決定をします。

削除禁止になっているファイル番号は白色強調表示で表示されます。

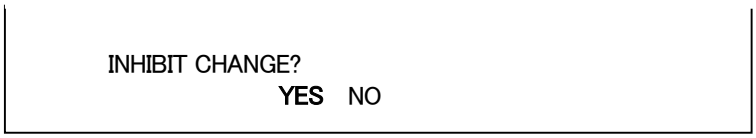
ファイルの複数選択ができます。選択されたファイルは、ファイル名の右に＊マークがつきます。

モニター画面では、ファイル名の右に×マークがつきます。

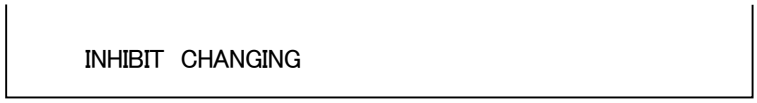


4) 削除禁止/許可の選択が終わったら、MENUボタンを押して一つ上の階層に戻ります。

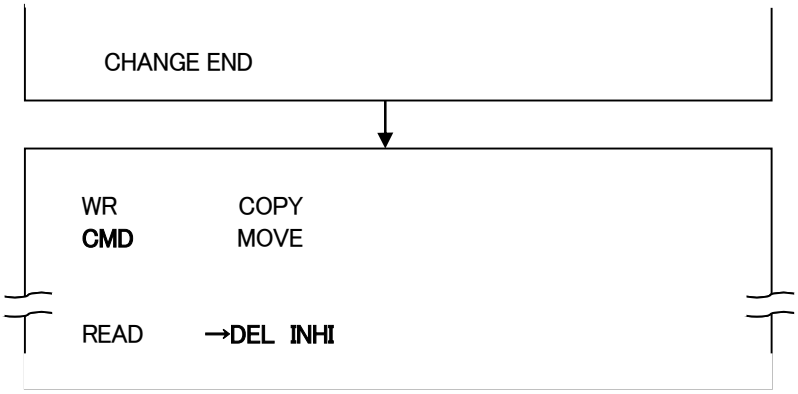
5) EXEを選択してSETボタンを押すと「INHIBIT CHANGE？ YES NO」のメッセージが表示されます。



6) YESを選んでSETボタンを押すとファイルの削除禁止/許可の変更が実行され、「INHIBIT CHANGING」のメッセージが表示されます。



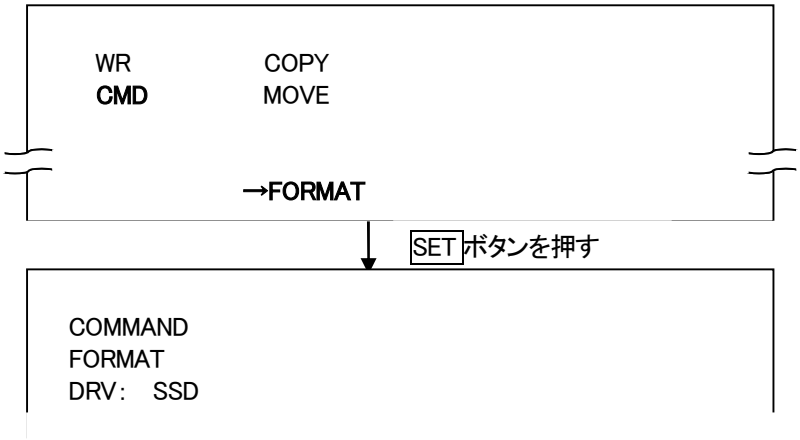
7) 削除禁止/許可が終了すると「CHANGE END」のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。



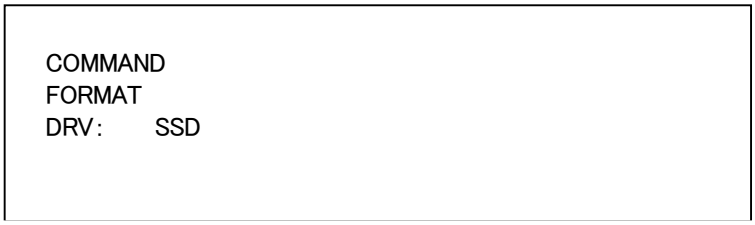
(10) フォーマット

注意 ） FORMATを実行するとドライブの内容は全て失われますので重要なファイルはCOPYモードでバックアップしてください。

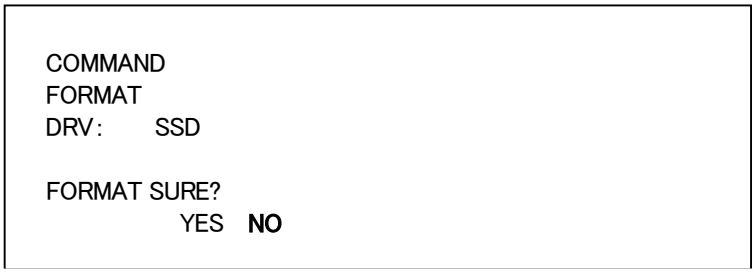
1） CMDメニューでFORMATを選んでSETボタンを押すと下図のようになります。



2） ツマミを回してフォーマットするドライブ番号を選び、SETボタンを押します。



3） 「FORMAT SURE? YES NO」メッセージがNOを選択した状態で表示されます。
YESを選んでSETボタンを押すとFORMATが実行されます。NOでキャンセルされます。



4) FORMATが始まり「FORMATTING」のメッセージが表示されます。

5) FORMATが終了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されます。
（ドライブによってフォーマット時間は異なります。）

4. プログラム操作

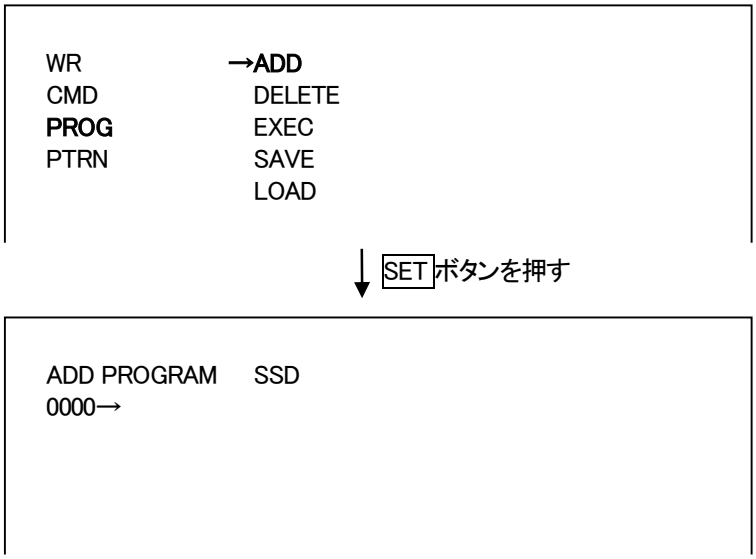
正面パネルのボタンとツマミを操作することで行います。

ファイルを任意の順番で読み出すイベントをプログラムすることができます。

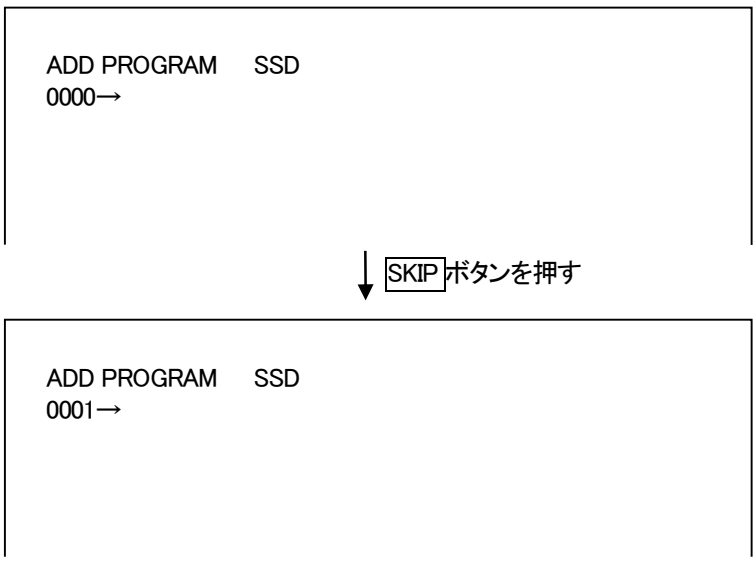
プログラム 1 つに最大 255 登録できます。

(1) プログラムの作成

1) PROG メニューの ADD を選んで SET ボタンを押すと下図のようになります。

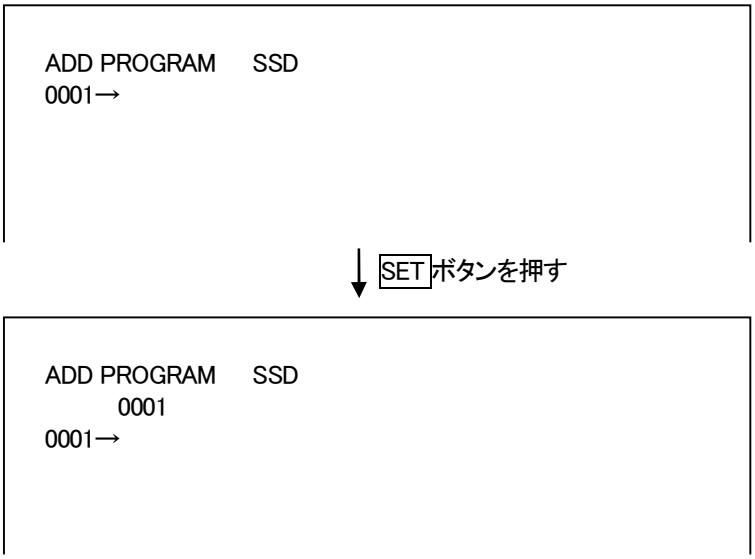


2) BACK,SKIP ボタン押してファイルを選びます。



3) ツマミを回して挿入場所を選びます。

4) SET ボタンを押します。

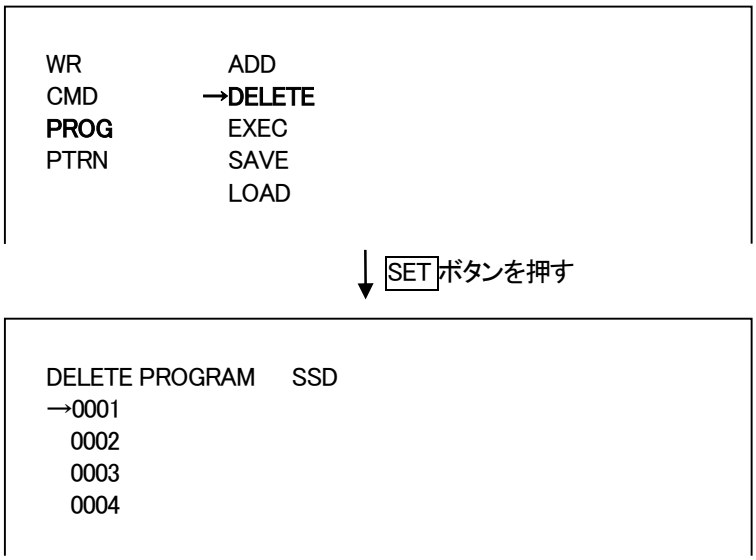


5) 3)～4)を繰り返してプログラムを作成します。

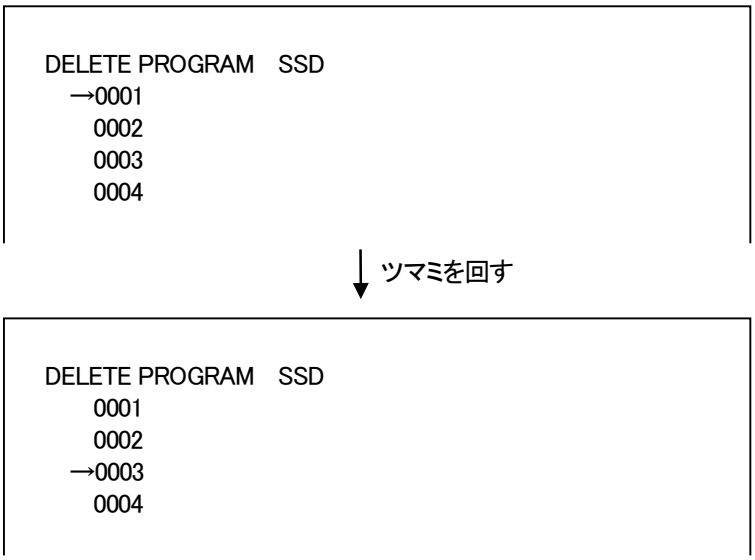
6) プログラムの作成が出来たら、MENU ボタンを押してメニューモードに戻ります。

(2) プログラムの削除

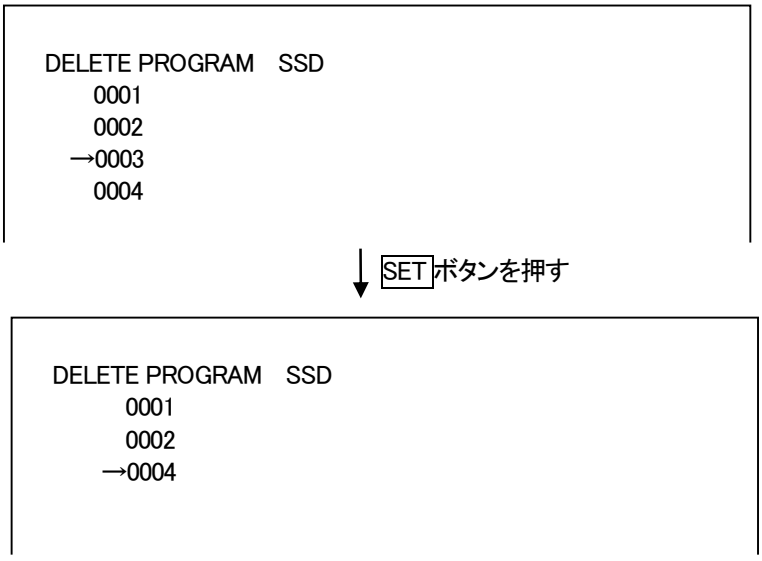
1) PROG メニューの DELETE を選んで SET ボタンを押すと下図のようになります。



2) ツマミを回して削除するファイルを選びます。



3) SET ボタンを押します。

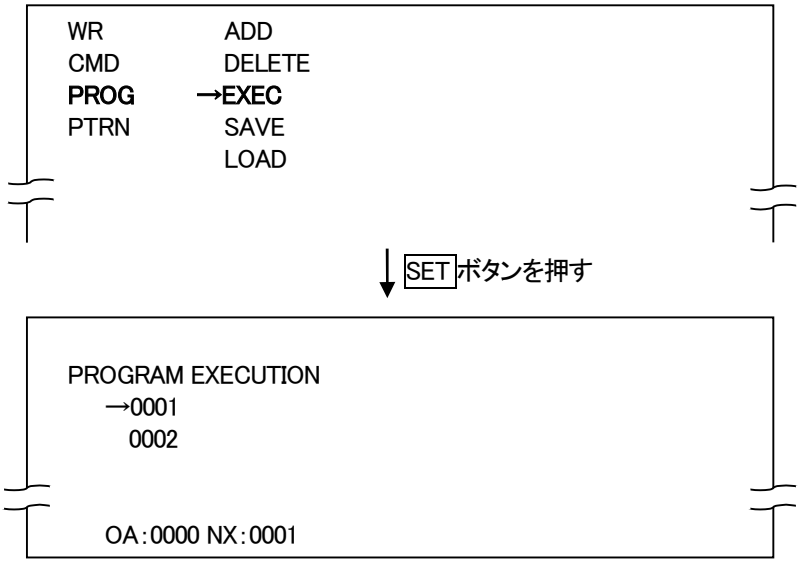


4) 複数削除する場合は 2)と 3)を繰り返してプログラムを削除します。

5) プログラムの削除が終わったら、MENU ボタンを押してメニューモードに戻ります。

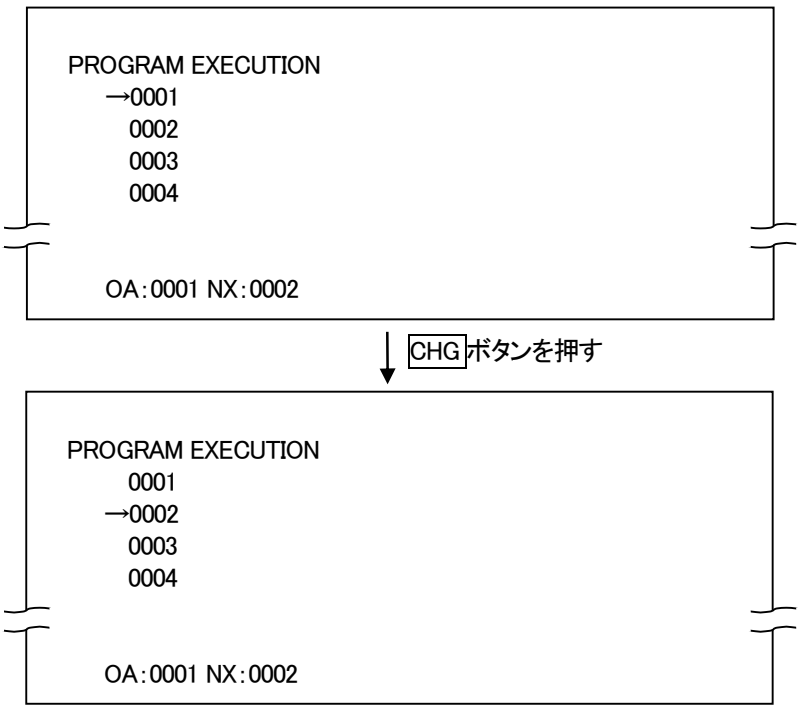
(3) プログラムの実行

1) PROG メニューの EXEC を選んで SET ボタンを押すと下図のようになり CHG ボタンが点滅します。

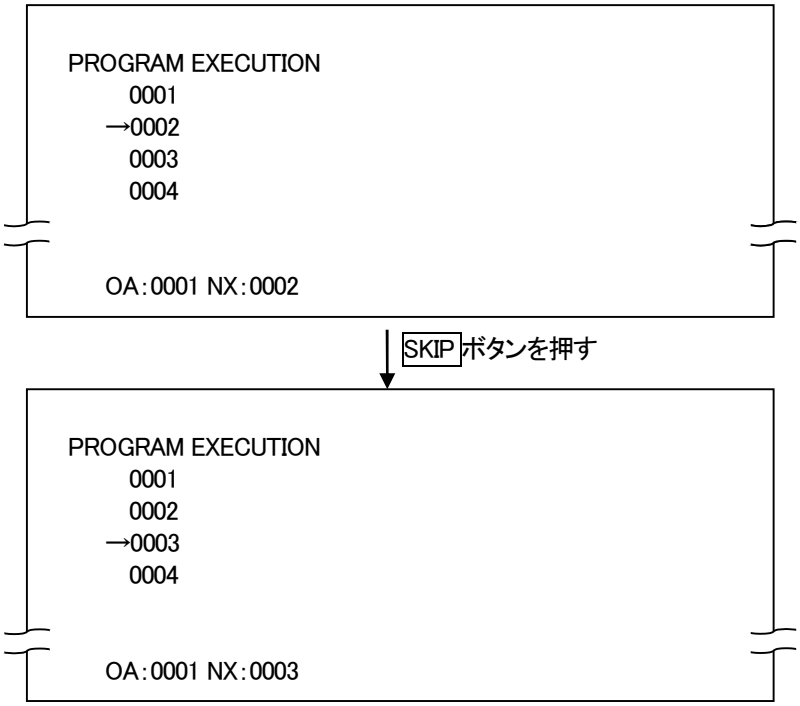


2) 最初のファイル番号が自動的に読み出されます。

CHG ボタンを押すと NEXT 出力が ON AIR 出力に切り替わり、NEXT 出力には次のファイル番号が読み出されます。

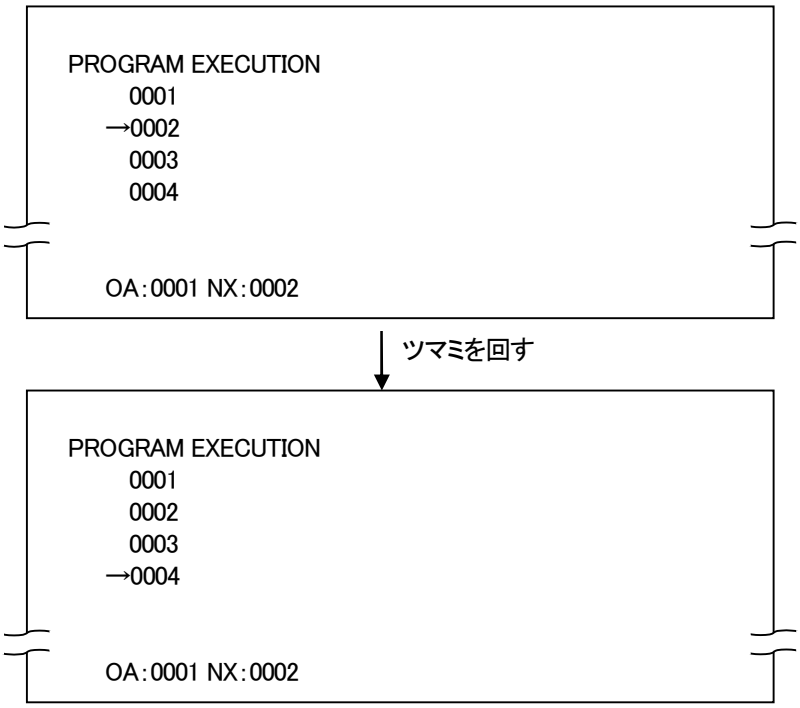


3) SKIP ボタンを押すと「→」で示す次のファイル番号を NEXT 出力に読み出します。

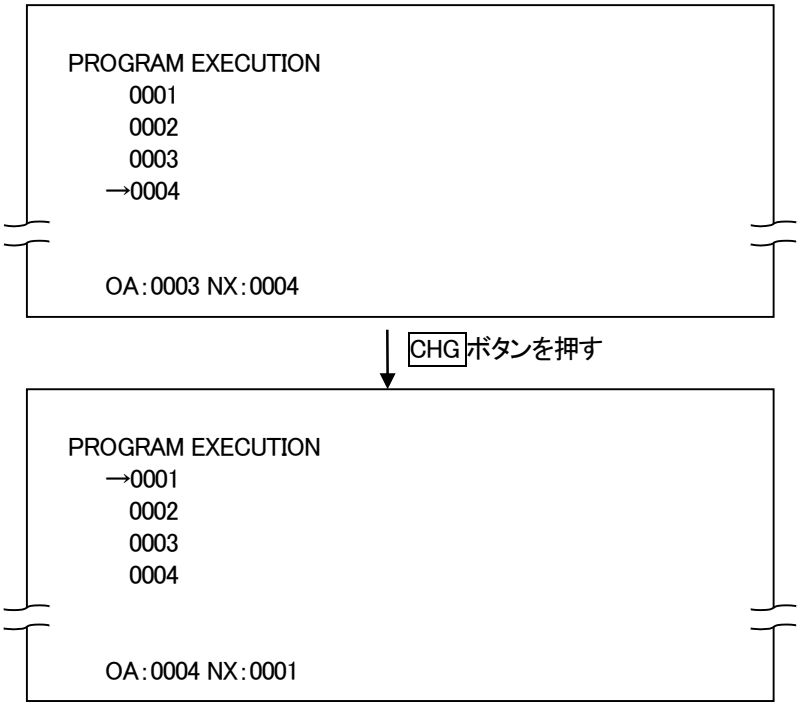


4) ツマミを回すと送出ファイルを飛ばすことが出来ます。

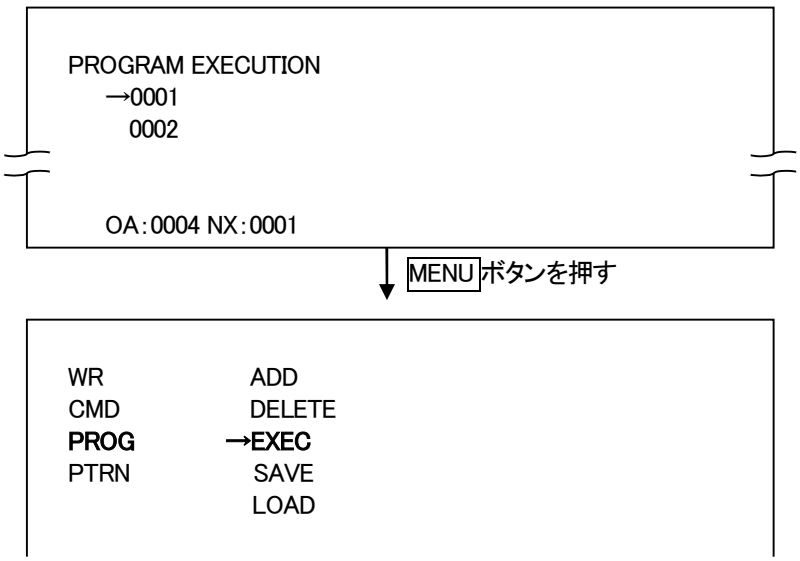
ON AIR 出力、NEXT 出力に変化はありません。



5)　最後の送出ファイル番号で CHG ボタンを押すとプログラムの先頭に戻ります。

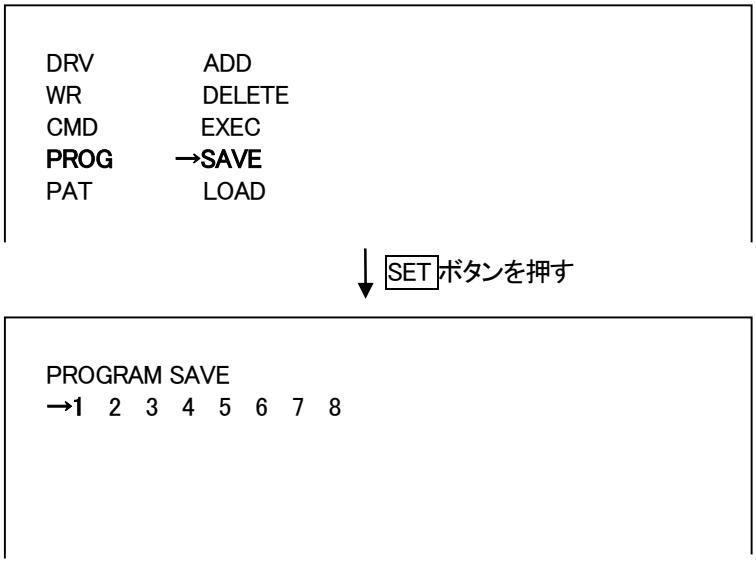


6)　MENU ボタンを押すとプログラム実行から抜けてメニューモードに戻ります。

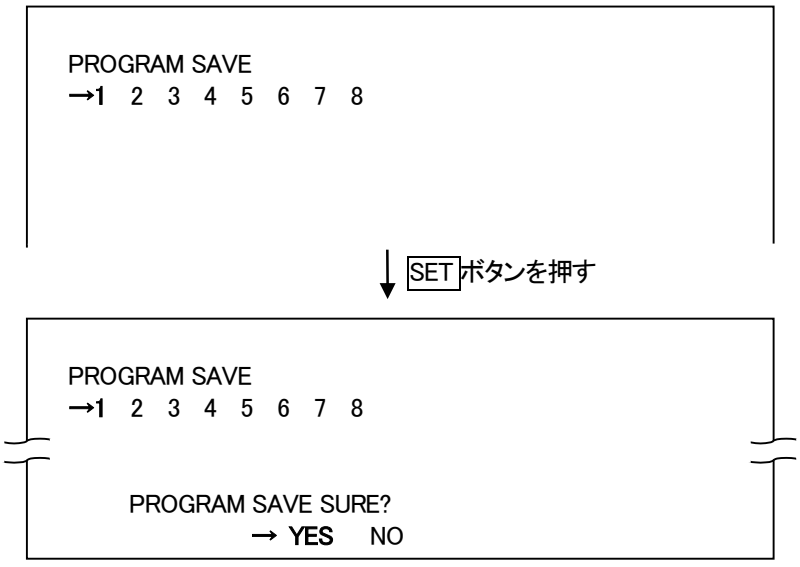


(4) プログラムの保存

1) PROG メニューの SAVE を選んで SET ボタンを押すと下図のようになります。

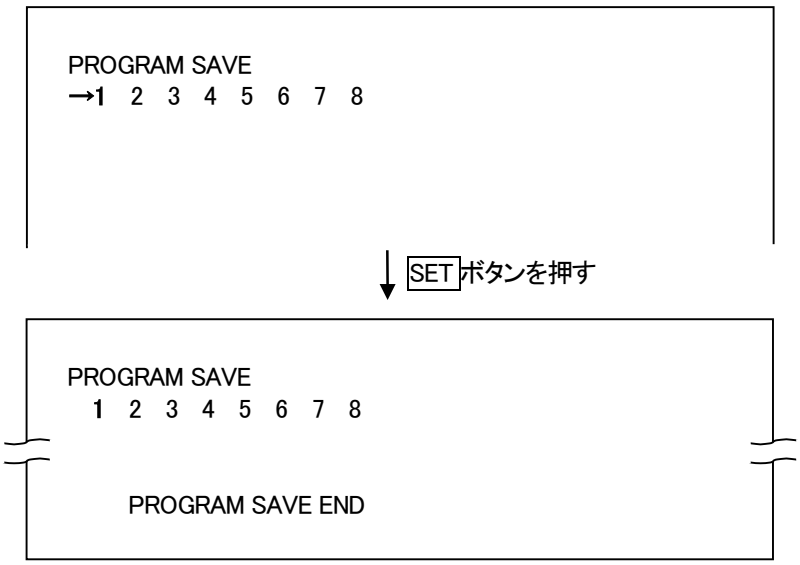


2) ツマミを回して保存する番号を選んで、SET ボタンを押すと
「PROGRAM SAVE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
注: VFTP-ON AIR ソフトをご使用の場合 VFTP-ON AIR ソフトでプログラムリストを作成して保存すると、
CF-92HD/SD、B 本体のプログラム番号 8 にも保存されます。

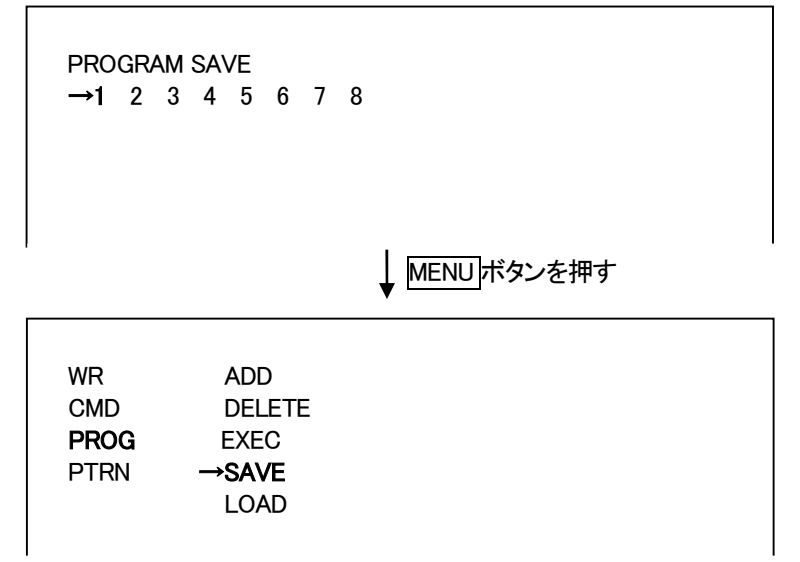


3) ツマミを回して YES/NO を選んで SET ボタンを押します。
YES で送出プログラムを保存します。
NO でキャンセルし保存番号の選択に戻ります。

4)　保存されると「PROGRAM SAVE END」のメッセージが表示されます。

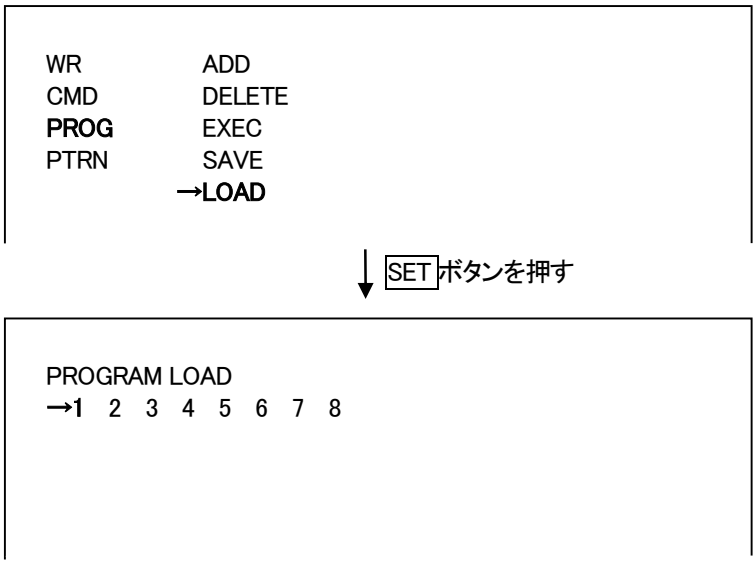


5)　MENU ボタンを押してメニューモードに戻ります。

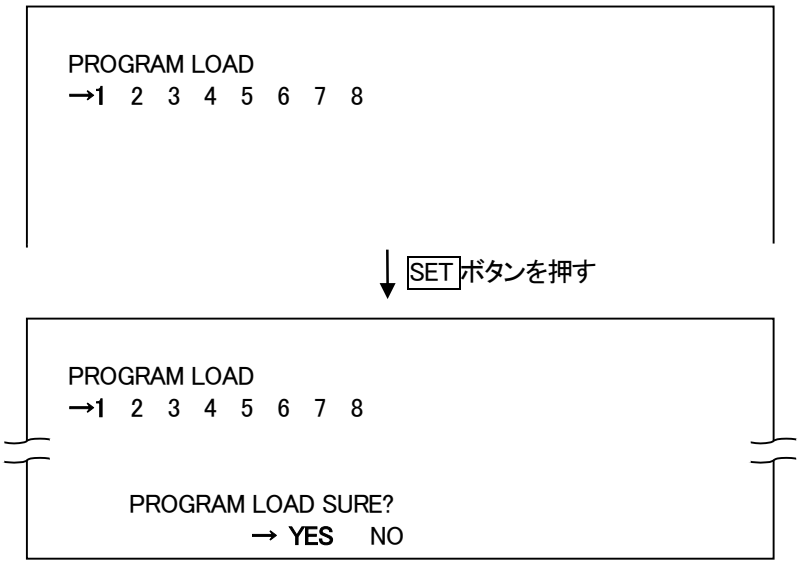


(5) プログラムの読み出し

1) PROG メニューの LOAD を選んで SET ボタンを押すと下図のようになります。

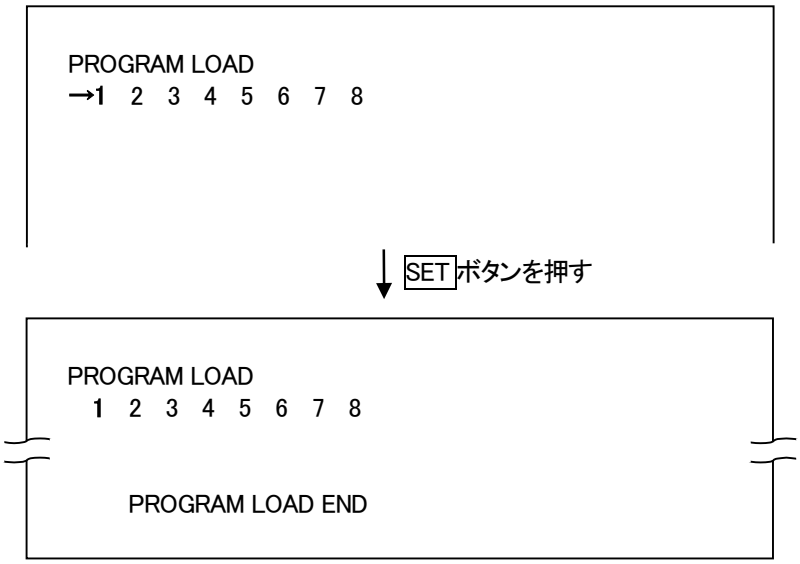


2) ツマミを回して読み出し番号を選んで、SET ボタンを押すと
「PROGRAM LOAD SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

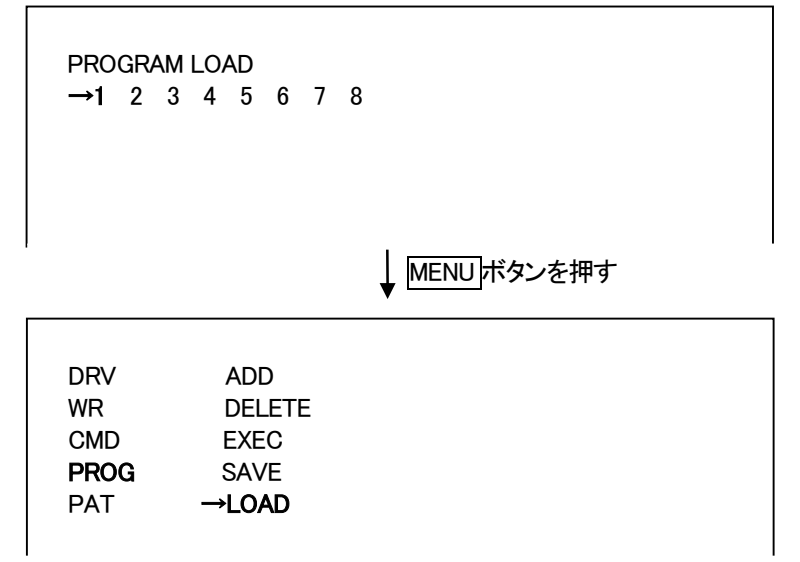


3) ツマミを回して YES/NO を選んで SET ボタンを押します。
YES で送出プログラムが読み出されます。
NO でキャンセルされ読み出し番号の選択に戻ります。

4) 読み出されると「PROGRAM LOAD END」のメッセージが表示されます。



5) MENU ボタンを押してメニューモードに戻ります。



※ 以降は「12.メニュー操作」の操作手順で設定が行えるのでメニューの説明のみになります。

5. PTRN メニュー

4 種類のパターンを NEXT に出力することができます。

- FULL ・・・・・・・・・・・・・・・ カラーバーフル
- SPLIT (OVER RED) ・・・ 映像フォーマットが 1080i/59.94、1080i/50、525i のとき、カラーバースプリット
  映像フォーマットが 625i のとき、カラーバーオーバーレッド
- GRADATION ・・・・・・・・・ 横方向 緑 ⟶ ピンク グラデーション
- MULTI BURST ・・・・・・・ マルチバースト

6. SYS メニュー

システムの各種設定を行います。

(1) FORMAT

映像フォーマットの設定を行うことができます。

- 80i/59 ・・・・・・・ 1080i/59.94 で動作します。
- 80i/50 ・・・・・・・ 1080i/50 で動作します。
- 525i ・・・・・・・・・ 525i で動作します。
- 625i ・・・・・・・・・ 625i で動作します。

(2) FILL POSI

送出時のフィルキーのポジション調整を行うことができます。

- H ・・・・・・・・・・・・ 水平位置を 2 ドット単位で調整することができます。
  調整範囲は下記の通りです。
  1080i/59.94, 50: −1920 ～ 1920
  525i, 625i : −720 ～ 720
- V ・・・・・・・・・・・・ 垂直位置を 1H 単位で調整することができます。
  調整範囲は下記の通りです。
  1080i/59.94, 50: −540 ～ 540
  525i : −243 ～ 243
  625i : −288 ～ 288

(3) KEY POSI

送出時のキーのポジション調整を行うことができます。

- H ・・・・・・・・・・・・ 水平位置を 1 ドット単位で調整することができます。
  調整範囲は下記の通りです。
  1080i/59.94, 50: −1920 ～ 1920
  525i, 625i : −720 ～ 720
- V ・・・・・・・・・・・・ 垂直位置を 1H 単位で調整することができます。
  調整範囲は−2 ～ 2 です。

(4) GPI IN

GPI 制御の有効/無効の設定を行うことができます。

・ ON ・・・・・・・・・・・ GPI 制御を有効にします。

・ OFF ・・・・・・・・・・ GPI 制御を無効にします。

(5) NEXT OUT

NEXT 出力に表示するファイルタイプを設定することができます。

・ FILL+KEY・・・・・・ フィルをキーで抜いた映像を表示します。

・ FILL ・・・・・・・・・ フィルのみの映像を表示します。

・ KEY ・・・・・・・・・ キーのみの映像を表示します。

(6) GENLOCK

ゲンロックタイミングの調整をすることができます。

・ H ・・・・・・・・・・・・ 水平位置を 1 ドット単位で調整することができます。

調整範囲は下記の通りです。

1080i/59.94, 50: −1920 ～ 1920

525i, 625i : −720 ～ 720

・ V ・・・・・・・・・・・・ 垂直位置を 1H 単位で調整することができます。

調整範囲は下記の通りです。

1080i/59.94, 50: −540 ～ 540

525i : −243 ～ 243

625i : −288 ～ 288

(7) MENU

NEXT 出力のキャラクター表示の ON/OFF の設定ができます。

・ ON ・・・・・・・・・・・ キャラクターを表示にします。

・ OFF・・・・・・・・・・・ キャラクターを非表示にします。

ただし、ファイルコントからの編集操作のメッセージは表示されます。

(8) DEL CMD

CMD メニューの DELETE、CLOSER、FORMAT の表示/非表示の設定ができます。

・ ON ・・・・・・・・・・・ DELETE、CLOSER、FORMAT を表示にします。

・ OFF・・・・・・・・・・・ DELETE、CLOSER、FORMAT を非表示にします。

DELETE、CLOSER、FORMAT の選択ができなくなります。

(9) START READ

起動時に ON AIR/NEXT に読み出すファイルの設定ができます。

・ OA ・・・・・・・・・・・ 起動時に ON AIR に読み出すファイルの選択をします。※1

・ NX ・・・・・・・・・・・ 起動時に NEXT に読み出すファイルの選択をします。※1

※1 ファイル名 “0000”は黒味で無音です。

(10) NETWORK

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等の設定ができます。

- IP ADDRESS ‥ ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスを設定します。
- SUBNET ‥‥‥ ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを設定します。
- GATEWAY ‥‥ ネットワーク管理者から割り当てられたデフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。
- MANAGER IP ‥ SNMP マネージャーの IP アドレスを設定します。
  SNMP マネージャーの IP アドレスが 0. 0. 0. 0 に設定されている場合トラップを送信しません。トラップを送信しない場合は必ず 0. 0. 0. 0 を設定してください。
- MANAGER IP1 ‥ MANAGER IP と同様の設定が行えます。
- MANAGER IP2 ‥ MANAGER IP と同様の設定が行えます。
- MANAGER IP3 ‥ MANAGER IP と同様の設定が行えます。
- MANAGER IP4 ‥ MANAGER IP と同様の設定が行えます。
- MANAGER IP5 ‥ MANAGER IP と同様の設定が行えます。
- DNS IP ‥‥‥‥ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- NTP SERVER ‥ NTP サーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。
  NTP サーバーのドメイン名は 25 文字まで設定可能です。
  文字列が 25 文字未満の場合は、必ず終端を「スペース（空白）」にしてください。

(11) VERSION

ソフトウェアとハードウェアのバージョン確認ができます。

7. CONF メニュー

システムの各種設定を行います。

(1) TIMER

システムの時間を設定できます。

- DATE ‥‥‥‥ 年月日を設定します。
- TIME ‥‥‥‥‥ 時分秒を設定します。

(2) LCD SAVER

前面 LCD のバックライトの節電モードの ON/OFF の設定ができます。

- ON ‥‥‥‥‥ 一定時間正面から操作を行わないと LCD のバックライトが消灯します。
- OFF ‥‥‥‥‥ 常に LCD のバックライトが点灯したままになります。

(3) LCD THUM

前面 LCD のサムネイル表示の設定ができます。

- NEXT・・・・・・・・・ NEXT 出力の静止画を表示します。
- OA FILL ・・・・・・ ON AIR 出力のフィルの静止画を表示します。
- OA KEY・・・・・・・ ON AIR 出力のキーの静止画を表示します。
- OFF ・・・・・・・・・ サムネイルを非表示にします。

注: 525i, 625i のサムネイル映像は横長に表示されます。

(4) WR SCAN

書き込みモードの取り込みの設定ができます。

- FRAME ・・・・・・ フレーム取り込みで書き込みます。
  動画をキャプチャーするとチラつく場合があります。
- FIELD ・・・・・・・ フィールド取り込みで書き込みます。
  動画をキャプチャーしてもチラつくことはありません。
  ただし、フレーム取り込みより垂直方向の画質が劣化します。

(5) SPR IMPS

スーパーインポーズモードの ON/OFF の設定ができます。

- OFF ・・・・・・・・ FILL IN がフィル入力になり、FILL OUT にフィルの静止画、KEY OUT にキーの静止画を出力します。
  設定直後に ON AIR を黒にします。
- ON ・・・・・・・・・ FILL IN がライン入力になり、FILL OUT にスーパーインポーズしたラインを出力します。
  また KEY OUT にはスーパーインポーズしたラインのプレビューを出力します。
  設定直後は TAKE ON の状態でフィル、キーを黒にするので FILL OUT にはスーパーはのりません。

(6) PANEL LOCK

ファイルコント パネルの LOCK/UNLOCK の設定ができます。

- UNLOCK ・・・・ ファイルコント パネルから操作をできるようにします。
- LOCK ・・・・・・・ ファイルコント パネルからメニュー以外の操作をできないようにします。

(7) SNTP

SNTP を使用する/しないの設定ができます。

- OFF ・・・・・・・・ NTP サーバーから時刻の取得を行いません。
- ON ・・・・・・・・・ NTP サーバーから時刻の取得を行います。
  NTP SERVER に設定された NTP サーバーから毎日 0 時頃に時刻を取得します。

(8) PANEL SEND

ファイルコント パネルの送出モードのプログラム終わり/ページ終わりの設定ができます。

・ PROG SEND ・・・ 選択されたプログラムの最後のファイルをチェンジすると黒味を送出します。

・ PAGE SEND ・・・ 選択されたページの最後のファイルをチェンジすると黒味を送出します。

(9) SPR ONOFF

スーパーを CUT で ON/OFF する。

※ TRN メニューの設定に関わらず、CUT で ON/OFF します。

・ OFF ・・・・・・・・ スーパーを CUT で OFF します。

・ ON ・・・・・・・・・ スーパーを CUT で ON します。

8. READ メニュー

送出の設定を行います。

(1) FILL

静止画がキーのみのときのフィルの設定ができます。

・ WHITE ・・・・・・ フィルを白にします。

・ BLACK ・・・・・・ フィルを黒にします。

(2) KEY

静止画がフィルのみのときのキーの設定ができます。

・ WHITE ・・・・・・ キーを白にします。

・ BLACK ・・・・・・ キーを黒にします。

(3) EXEC MODE

送出モードの設定をすることができます。

・ DIRECT ・・・・・・ ON AIR 出力に CF-92HD/SD、B 正面ツマミで選択されたファイルをダイレクトに読み出し、NEXT 出力に次のファイルを読み出します。

・ PRESET ・・・・・・ NEXT 出力に選択されたファイルを読み出します。

・ BLACK ・・・・・・ NEXT 出力に選択されたファイルを読み出し、送出するファイル間に常に黒画面を挿入します

(4) AUDIO MODE

音声のみを読み込んだときの再生モードの設定ができます。

・ NORMAL ・・・・・・ 音声を一度だけ再生して終了します。

・ REPEAT ・・・・・・ 音声を繰り返し再生します。

・ FILE ・・・・・・・・・・ 音声と同じファイル名の静止画がある場合は静止画ファイルの音声再生モードで再生します。

音声と同じファイル名の静止画がない場合は音声を一度だけ再生して終了します。

9. DRV メニュー

送出元、書き込み先、削除先ドライブの設定ができます。

・ SSD ・・・・・・・・・・・・・ SSD が送出元になります。

・ CF ・・・・・・・・・・・・・・ CF カードが送出元になります。
CF カードが挿入されていないと選択できません。

※ SSD選択時は、CFからファイル送出やファイル書き込み、削除は行えません。
また、CF選択時は、SSDからファイル送出やファイル書き込み、削除は行えません。

※ CF カードから直接音声再生はできませんので本体 SSD に取り込んでから再生して下さい。

10. TRN メニュー

トランジションの各種設定ができます。

(1) IN FD SPD

TAKE ON のときのフェードスピードを 10～150 の範囲で設定ができます。

(2) OUT FD SPD

TAKE OFF のときのフェードスピードを 10～150 の範囲で設定ができます。

(3) ON TAKE

TAKE ON 時のトランジションの設定ができます。

・ CUT ・・・・・・・・・ トランジションを CUT に設定します。

・ FADE ・・・・・・・・ トランジションを FADE に設定します。

(4) OFF TAKE

TAKE OFF 時のトランジションの設定ができます。

・ CUT ・・・・・・・・・ トランジションを CUT に設定します。

・ FADE ・・・・・・・・ トランジションを FADE に設定します。

(5) LAUDIOL

音声ミックス時のラインオーディオのレベル設定をします。

・ 0 ・・・・・・・・・・・ 0dB 固定です。

・ -3 ・・・・・・・・・・ -3dB 固定です。

・ MUTE ・・・・・・ MUTE 固定です。

・ PRESET ・・・・ -20～0dB の範囲で設定

(6) FAUDIOL

音声ミックス時のフィルオーディオのレベル設定をします。

・ 0 ・・・・・・・・・・・ 0dB 固定です。

・ -3 ・・・・・・・・・・ -3dB 固定です。

・ MUTE ・・・・・・ MUTE 固定です。

・ PRESET ・・・・ -20～0dB の範囲で設定可能です。

11. GPIA メニュー

GPI PIN0～4、POUT0～3 の設定をします。

(1) PIN0

GPI PIN0 の動作の設定をします。

- OFF ・・・・・・・・・・・・・・・ PIN0 の入力を無効にします。
- CHG STL+AUD ・・・・・ PIN0 の入力で静止画+音声のチェンジ動作が行えます。
- CHG STILL ・・・・・・・・・ PIN0 の入力で静止画のチェンジ動作が行えます。。
- CHG AUDIO ・・・・・・・・ PIN0 の入力で音声のチェンジ動作が行えます。
- BCK STL+AUD ・・・・・・ PIN0 の入力で静止画+音声のバックリード動作が行えます。
- BCK STL ・・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で静止画のバックリード動作が行えます。
- BCK AUD ・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で音声のバックリード動作行えます。
- SKP STL+AUD ・・・・・・ PIN0 の入力で静止画+音声のスキップリード動作が行えます。
- SKP STL ・・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で静止画のスキップリード動作が行えます。
- SKP AUD ・・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で音声のスキップリード動作が行えます。
- TRANSITION ・・・・・・・・ PIN0 の入力で CUT/FADE の切り換えが行えます。
- ON TAKE ・・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で ON TAKE 動作が行えます。
- OFF TAKE ・・・・・・・・・・ PIN0 の入力で OFF TAKE 動作が行えます。

(2) PIN1

GPI PIN1 の動作の設定をします。

PIN0 と同様の設定が行えます。

(3) PIN2

GPI PIN2 の動作の設定をします。

PIN0 と同様の設定が行えます。

(4) PIN3

GPI PIN3 の動作の設定をします。

PIN0 と同様の設定が行えます。

(5) PIN4

GPI PIN4 の動作の設定をします。

PIN0 と同様の設定が行えます。

(6) POUT0

GPI POUT0 の出力の設定をします。

- OFF ・・・・・・・・・・・・・・・ POUT0 の出力を無効にします。
- CHG STILL ・・・・・・・・・・ チェンジ動作して静止画の読み込み完了時に POUT0 から TALLY 出力します。
- CHG AUDIO ・・・・・・・・・ 音声再生中に POUT0 から TALLY 出力します
- TRANSITION ・・・・・・・・・ トランジションが FADE のときに POUT0 から TALLY 出力します。
- TAKE ・・・・・・・・・・・・・ スーパーオンのときに POUT0 から TALLY 出力します。
- READ END ・・・・・・・・・・ NEXT に素材の読み込み完了したときに POUT0 から TALLY 出力します。

(7) POUT1

GPI POUT1 の出力の設定をします。

POUT0 と同様の設定が行えます。

(8) POUT2

GPI POUT2 の出力の設定をします。

POUT0 と同様の設定が行えます。

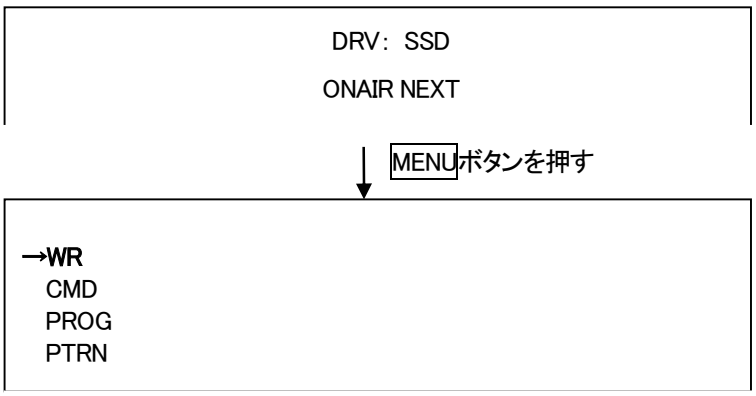
(9) POUT3

GPI POUT3 の出力の設定をします。

POUT0 と同様の設定が行えます。

12. メニュー操作

1) MENUボタンを押してメニューモードに入ります。



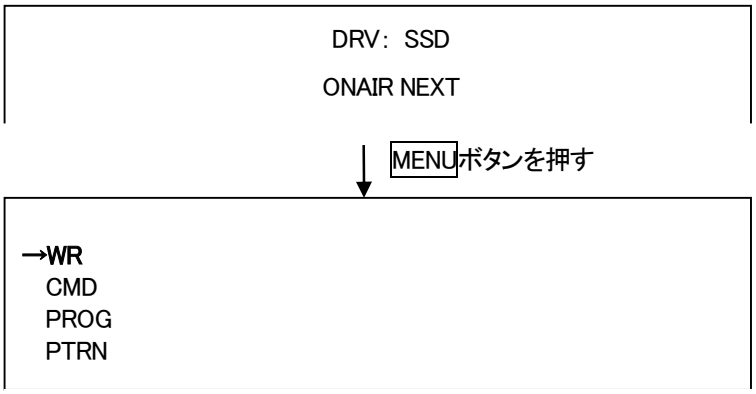
2) ツマミを左右に回して設定メニューの項目を選択します。メニューモードをキャンセルする場合、MENUボタンを押します。

3) SETボタンを押して選択した項目を決定します。この時選択した項目によって更に下の階層メニューに移ります。階層下のメニューに入った場合、MENUボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。

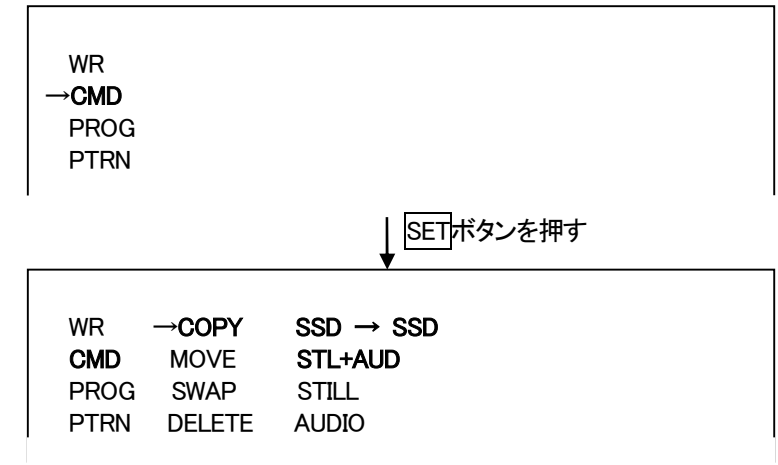
4) 2)、3)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。
項目を選択した後、その設定を決定するには必ずSETボタンを押してください。

例 ファイルタイプをSTL+AUDからSTILLに変更する場合

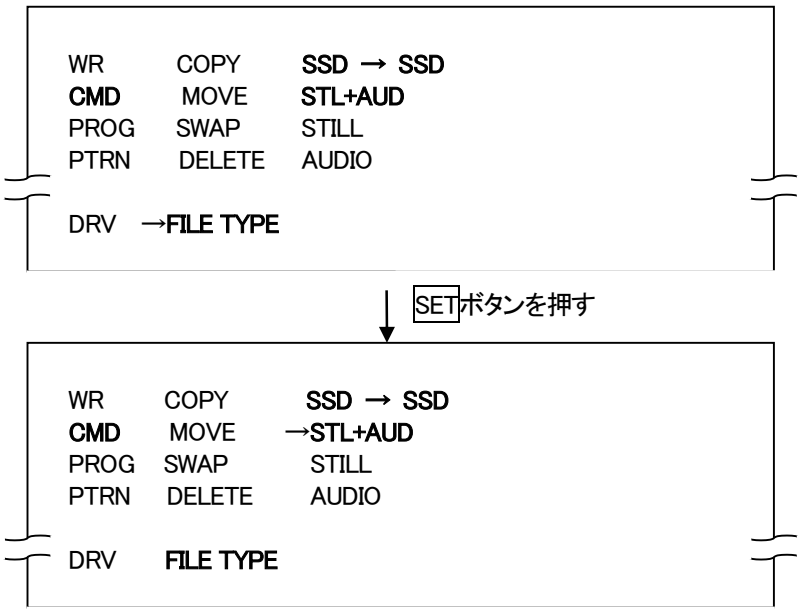
1) MENUボタンを押して、メニューモードに入ります。



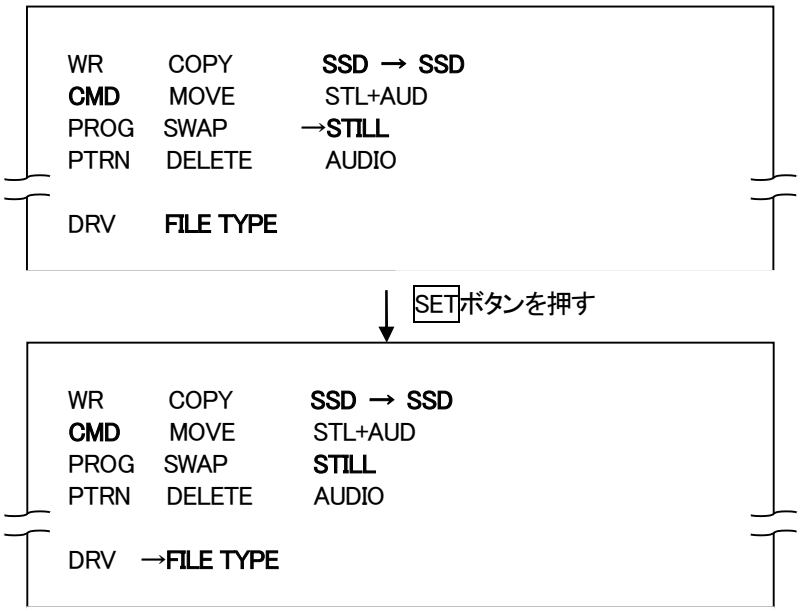
2) ツマミを回してカーソルをCMDに合わせ、SETボタンを押します。
一つ下の階層にカーソルが移動します。



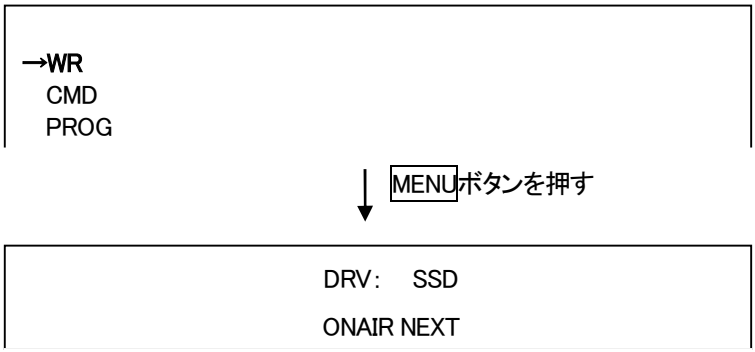
3) カーソルをFILE TYPEに合わせ、SETボタンを押してもう一つ下の階層に移動します。



4) ツマミを回してカーソルをSTILLに合わせてSETボタンを押します。
これでファイルタイプがSTILLに変更されます。



5) MENUボタンを押して一つ上の階層に戻ります。
6) もう一度MENUボタン押して、もう一つ上の階層に戻ります。
7) さらにもう一度MENUボタンを押して、メニューモードから抜けて送出モードに戻ります。



13. メニューツリー

MENU

WR	[WR]	入力素材をファイルに書き込むモードの選択とタイプの設定　※静止画のみ
WRITE	[WRITE]	書き込むモードの選択
NORMAL	[NORMAL]	入力素材をファイルに書き込むモードになります
INSERT	[INSERT]	指定したファイルネーム以降を後ろに空きが有るまでずらし入力素材をファイルに書き込むモードになります
AUTO	[AUTO]	書き込み確認を行わずに入力素材をファイルに書き込むモードになります
DRV	[DRV]	ドライブの選択
SSD	[SSD]	ソリッドステートドライブを使用します
CF	[CF]	CF ドライブを使用します
INPUT	[INPUT]	書き込みファイルタイプの選択
FILL+KEY	[FILL+KEY]	フィルとキーの映像
FILL	[FILL]	フィルのみの映像
KEY	[KEY]	キーのみの映像
FILE	[FILE]	書き込みファイルの番号
CMD	[CMD]	編集作業を行うためのモードの選択
COPY	[COPY]	ファイルのコピーをするモードになります
MOVE	[MOVE]	ファイルの移動をするモードになります
SWAP	[SWAP]	ファイルの入れ替えをするモードになります
DELETE	[DELETE]	ファイルの削除をするモードになります
CLOSER	[CLOSER]	選んだファイルを削除し、それより後ろの連続ファイルを順番に前に詰めるモードになります
DEL INHI	[DEL INHI]	削除の禁止/許可を設定するモードになります
FORMAT	[FORMAT]	ドライブのフォーマットをするモードになります　※フォーマットを行うと全てのファイルが消えてしまいます
FILE TYPE	[FILETYPE]	各コマンド扱うファイルタイプの選択
STL+AUD	[STL+AUD]	静止画と音声を扱います
STILL	[STILL]	静止画のみを扱います
AUDIO	[AUDIO]	音声のみを扱います
PROG	[PROG]	ファイルを任意の順番で読み出すイベントをプログラムするモードの選択
ADD	[ADD]	送出ファイルを登録するモードになります
DELETE	[DELETE]	登録してあるファイルを削除するモードになります
EXEC	[EXEC]	送出プログラムを実行するモードになります
SAVE	[SAVE]	プログラムを保存するモードになります
LOAD	[LOAD]	保存してあるプログラムを読み出すモードにまります
PTRN	[PTRN]	フィルとキー4種類のパターンをNEXTに出力することができます
FULL	[FULL]	75% カラーバーフル
SPLIT	[SPLIT]	映像フォーマットが1080i/59.94、1080i/50、525iのとき、75% カラーバースプリット
(OVER RED)	([OVER RED])	(映像フォーマットが625iのとき、75%カラーバーオーバーレッド)
GRADATION	[GRADATION]	グラデーション
MULTI BURST	[MULTI BURST]	マルチバースト
SYS	[SYS]	システムに関する各種設定を行います
FORMAT	[FORMAT]	映像フォーマットの選択
80i/59	[80i/59]	HDTV 1080i/59.94フォーマットで動作
80i/50	[80i/50]	HDTV 1080i/50フォーマットで動作
525i	[525i]	SDTV 525iフォーマットで動作
625i	[625i]	SDTV 625iフォーマットで動作
FILL POSI	[FILL POSI]	送出時のフィルポジションの設定
H: 0　V: 0	[H:　0][V:　0]	
KEY POSI	[KEY POSI]	送出時のキーポジションの設定
H: 0　V: 0	[H:　0][V:　0]	
GPI IN	[GPI IN]	GPI入力の有効/無効の選択
ON	[ON]	GPI入力有効にします
OFF	[OFF]	GPI入力無効にします

下に続きます

上に続きます

- SYS
  - NEXT OUT [NEXT OUT] NEXT OUTに表示するファイルタイプの選択
    - FILL+KEY [FILL+KEY] 黒バックでフィルをキーで抜いた映像
    - FILL [FILL] フィルのみの映像
    - KEY [KEY] キーのみの映像
  - GENLOCK [GENLOCK] システムに合わせてゲンロックタイミングを調整します
    - H: 0 V: 0 [H: 0][V: 0]
  - MENU [MENU] NEXT OUTのメニュー表示を設定
    - ON [ON] NEXT OUTにメニューを表示する
    - OFF [OFF] NEXT OUTにメニューを表示しない
  - DEL CMD [DEL CMD] DELETE、CLOSER、FORMATの表示設定
    - ON [ON] DELETE、CLOSER、FORMATを表示する
    - OFF [OFF] DELETE、CLOSER、FORMATを表示しない
  - START READ [START READ] 起動時に読み込むファイルを選択します
    - OA: 0000 [OA: 0000] 起動時ON AIR側に読み込むファイルを選択します
    - NX: 0000 [NX: 0000] 起動時NEXT側に読み込むファイルを選択します
  - NETWORK [NETWORK] ネットワークの設定
    - IP ADDRESS [IP ADDRESS] ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを設定
    - SUBMASK [SUBMASK] ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを設定
    - GATEWAY [GATEWAY] ネットワーク管理者から割り当てられたデフォルトゲートウェイのアドレスを設定
    - MANAGER IP [MANAGER IP] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - MANAGER [MANAGER IP1] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - MANAGER [MANAGER IP2] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - MANAGER [MANAGER IP3] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - MANAGER [MANAGER IP4] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - MANAGER [MANAGER IP5] ネットワーク管理者から割り当てられたマネージャーIPを設定
    - DNS IP [DNS IP] ネットワーク管理者から割り当てられたDNSサーバーのIPアドレスを設定
    - NTP [NTP SERVER] 使用するNTPサーバーのドメイン名またはIPアドレスを設定
  - VERSION [VERSION] プログラムのバージョンを表示

- CONF [CONF] システムに関する設定
  - TIMER [TIMER] タイマーの設定
    - DATE [DATE] 年月日を設定します
    - TIME [TIME] 時分秒を設定します
  - LCD SAVER [LCD SAVER] バックライトの設定
    - ON [ON] バックライトをONのままにします
    - OFF [OFF] 一定時間後にバックライトをOFFにします
  - LCD THUM [LCD THUM] 前面LCDサムネイル表示の設定
    - NEXT [NEXT] NEXT出力に表示している静止画を表示します
    - OA FILL [OA FILL] ON AIR出力のフィルの静止画を表示します
    - OA KEY [OA KEY] ON AIR出力のキーの静止画を表示します
    - OFF [OFF] サムネイルを非表示にします
  - WR SCAN [WR SCAN] 書き込みモード時の取り込みの設定
    - FRAME [FRAME] フレーム取り込みで書き込みます
    - FIELD [FIELD] フィールド取り込みで書き込みます
  - SPR IMPS [SPR IMPS] スーパーインポーズの設定
    - OFF [OFF] FILL INがフィル入力になり、FILL OUTにフィルの静止画を出力します
    - ON [ON] FILL INがライン入力になり、FILL OUTにON AIRをスーパーインポーズしたラインを出力し
  - PANEL LOCK [PANEL LOCK] FILE CONT パネルのロックの設定
    - UNLOCK [UNLOCK] FILE CONT パネルからの操作を可能にします
    - LOCK [LOCK] FILE CONT パネルからのメニュー以外の操作を不可能にします
  - SNTP [NTP] SNTPを使用する/しないを設定
    - OFF [OFF] SNTPを使用しません
    - ON [ON] SNTPを使用します
  - PANEL SEND [PANEL SEND] FILE CONT パネルの送出モードの設定
    - PROG END [PROG END] 選択されたプログラムの最後のファイルをチェンジすると黒味を送出します。
    - PAGE END [PAGE END] 選択されたページの最後のファイルをチェンジすると黒味を送出します。
  - SPR ONOFF [SPR ONOFF] スーパーのON/OFFをする
    - OFF [OFF] CUTでスーパーをOFFします。
    - ON [ON] CUTでスーパーをONします。

下に続きます

上に続きます

READ	[READ]	送出に関する設定
FILL	[FILL]	キーのみのときのフィルの設定
WHITE	[WHITE]	フィルを白にします
BLACK	[BLACK]	フィルを黒にします
KEY	[KEY]	フィルのみのときのキーの設定
WHITE	[WHITE]	キーを白にします
BLACK	[BLACK]	キーを黒にします
EXEC MODE	[EXEC MODE]	送出モードの設定
DIRECT	[DIRECT]	ON AIR出力に選択されたファイルを読み出し、NEXT出力に次のファイルを読み出します
PRESET	[PRESET]	NEXT出力に選択されたファイルを読み出します
BLACK	[BLACK]	NEXT出力に選択されたファイルを読み出し、送出するファイル間に常に黒画面を挿入します
AUDIO MODE	[AUDIO MODE]	音声のみを再生するときの設定
NORMAL	[NORMAL]	音声を1度だけ再生して終了します
REPEAT	[REPEAT]	音声を繰り返し再生します
FILE	[FILE]	音声と同じファイル名の静止画がある場合は静止画の音声再生モードで再生します 音声と同じファイル名の静止画がない場合はノーマルで音声を再生します
DRV		
SSD	[SSD]	ソリッドステートドライブを使用します
CF	[CF]	CF ドライブを使用します
TRN		
IN FD SPD	[IN FD SPD]	インフェードスピードの設定
10～150		
OUT FD SPD	[IN FD SPD]	アウトフェードスピードの設定
10～150		
ON TAKE	[ON TAKE]	TAKE ON時のトランジションの設定
CUT	[CUT]	トランジションをCUTに設定します
FADE	[FADE]	トランジションをFADEに設定します
OFF TAKE	[OFF TAKE]	TAKE OFF時のトランジションの設定
CUT	[CUT]	トランジションをCUTに設定します
FADE	[FADE]	トランジションをFADEに設定します
LAUL	[LAUL]	音声ミックス時のラインオーディオのレベル設定
0	[0]	0dB固定
-3	[-3]	-3固定
MUTE	[MUTE]	MUTE固定
PRESET	[PRESET]	-20～0dBの範囲で設定可能
-20～0		
FAUL	[FAUL]	音声ミックス時のフィルオーディオのレベル設定
0	[0]	0dB固定
-3	[-3]	-3固定
MUTE	[MUTE]	MUTE固定
PRESET	[PRESET]	-20～0dBの範囲で設定可能
-20～0		

下に続きます

上に続きます

- GPIA
  - PIN0 [PIN0] GPI PIN0の動作の設定
    - OFF [OFF] PIN0の入力を無効
    - CHG STL+AUD [CHG STL+AUD] PIN0の入力で静止画+音声のチェンジ動作
    - CHG STILL [CHG STILL] PIN0の入力で静止画のチェンジ動作
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] PIN0の入力で音声のチェンジ動作
    - BCK STL+AUD [BCK STL+AUD] PIN0の入力で静止画+音声のバックリード動作
    - BCK STILL [BCK STILL] PIN0の入力で静止画のバックリード動作
    - BCK AUDIO [BCK AUDIO] PIN0の入力で音声のバックリード動作
    - SKP STL+AUD [SKP STL+AUD] PIN0の入力で静止画+音声のスキップリード動作
    - SKP STILL [SKP STILL] PIN0の入力で静止画のスキップリード動作
    - SKP AUDIO [SKP AUDIO] PIN0の入力で音声のスキップリード動作
    - TRANSITION [TRANSITION] PIN0の入力でCUT/FADEの切り換え
    - ON TAKE [ON TAKE] PIN0の入力でON TAKE動作
    - OFF TAKE [OFF TAKE] PIN0の入力でOFF TAKE動作
  - PIN1 [PIN1] GPI PIN1の動作の設定
    - OFF [OFF] PIN1の入力を無効
    - CHG STL+AUD [CHG STL+AUD] PIN1の入力で静止画+音声のチェンジ動作
    - CHG STILL [CHG STILL] PIN1の入力で静止画のチェンジ動作
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] PIN1の入力で音声のチェンジ動作
    - BCK STL+AUD [BCK STL+AUD] PIN1の入力で静止画+音声のバックリード動作
    - BCK STILL [BCK STILL] PIN1の入力で静止画のバックリード動作
    - BCK AUDIO [BCK AUDIO] PIN1の入力で音声のバックリード動作
    - SKP STL+AUD [SKP STL+AUD] PIN1の入力で静止画+音声のスキップリード動作
    - SKP STILL [SKP STILL] PIN1の入力で静止画のスキップリード動作
    - SKP AUDIO [SKP AUDIO] PIN1の入力で音声のスキップリード動作
    - TRANSITION [TRANSITION] PIN1の入力でCUT/FADEの切り換え
    - ON TAKE [ON TAKE] PIN1の入力でON TAKE動作
    - OFF TAKE [OFF TAKE] PIN1の入力でOFF TAKE動作
  - PIN2 [PIN2] GPI PIN2の動作の設定
    - OFF [OFF] PIN2の入力を無効
    - CHG STL+AUD [CHG STL+AUD] PIN2の入力で静止画+音声のチェンジ動作
    - CHG STILL [CHG STILL] PIN2の入力で静止画のチェンジ動作
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] PIN2の入力で音声のチェンジ動作
    - BCK STL+AUD [BCK STL+AUD] PIN2の入力で静止画+音声のバックリード動作
    - BCK STILL [BCK STILL] PIN2の入力で静止画のバックリード動作
    - BCK AUDIO [BCK AUDIO] PIN2の入力で音声のバックリード動作
    - SKP STL+AUD [SKP STL+AUD] PIN2の入力で静止画+音声のスキップリード動作
    - SKP STILL [SKP STILL] PIN2の入力で静止画のスキップリード動作
    - SKP AUDIO [SKP AUDIO] PIN2の入力で音声のスキップリード動作
    - TRANSITION [TRANSITION] PIN2の入力でCUT/FADEの切り換え
    - ON TAKE [ON TAKE] PIN2の入力でON TAKE動作
    - OFF TAKE [OFF TAKE] PIN2の入力でOFF TAKE動作
  - PIN3 [PIN3] GPI PIN3の動作の設定
    - OFF [OFF] PIN3の入力を無効
    - CHG STL+AUD [CHG STL+AUD] PIN3の入力で静止画+音声のチェンジ動作
    - CHG STILL [CHG STILL] PIN3の入力で静止画のチェンジ動作
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] PIN3の入力で音声のチェンジ動作
    - BCK STL+AUD [BCK STL+AUD] PIN3の入力で静止画+音声のバックリード動作
    - BCK STILL [BCK STILL] PIN3の入力で静止画のバックリード動作
    - BCK AUDIO [BCK AUDIO] PIN3の入力で音声のバックリード動作
    - SKP STL+AUD [SKP STL+AUD] PIN3の入力で静止画+音声のスキップリード動作
    - SKP STILL [SKP STILL] PIN3の入力で静止画のスキップリード動作
    - SKP AUDIO [SKP AUDIO] PIN3の入力で音声のスキップリード動作
    - TRANSITION [TRANSITION] PIN3の入力でCUT/FADEの切り換え
    - ON TAKE [ON TAKE] PIN3の入力でON TAKE動作
    - OFF TAKE [OFF TAKE] PIN3の入力でOFF TAKE動作

下に続きます

上に続きます

- GPIA
  - PIN4 [PIN4] GPI PIN4の動作の設定
    - OFF [OFF] PIN4の入力を無効
    - CHG STL+AUD [CHG STL+AUD] PIN4の入力で静止画+音声のチェンジ動作
    - CHG STILL [CHG STILL] PIN4の入力で静止画のチェンジ動作
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] PIN4の入力で音声のチェンジ動作
    - BCK STL+AUD [BCK STL+AUD] PIN4の入力で静止画+音声のバックリード動作
    - BCK STILL [BCK STILL] PIN4の入力で静止画のバックリード動作
    - BCK AUDIO [BCK AUDIO] PIN4の入力で音声のバックリード動作
    - SKP STL+AUD [SKP STL+AUD] PIN4の入力で静止画+音声のスキップリード動作
    - SKP STILL [SKP STILL] PIN4の入力で静止画のスキップリード動作
    - SKP AUDIO [SKP AUDIO] PIN4の入力で音声のスキップリード動作
    - TRANSITION [TRANSITION] PIN4の入力でCUT/FADEの切り換え
    - ON TAKE [ON TAKE] PIN4の入力でON TAKE動作
    - OFF TAKE [OFF TAKE] PIN4の入力でOFF TAKE動作
  - POUT0 [POUT0] GPI POUT0のTALLY出力の設定
    - OFF [OFF] POUT0の出力を無効
    - CHG STILL [CHG STILL] チェンジ動作して静止画の読み込み完了時にPOUT0からTALLY出力
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] 音声再生中にPOUT0からTALLY出力
    - TRANSITION [TRANSITION] トランジションがFADEのときにPOUT0からTALLY出力
    - TAKE [TAKE] スーパーオンのときにPOUT0からTALLY出力
    - READ END [READ END] NEXTに素材の読み込み完了したときにPOUT0からTALLY出力
  - POUT1 [POUT1] GPI POUT1のTALLY出力の設定
    - OFF [OFF] POUT1の出力を無効
    - CHG STILL [CHG STILL] チェンジ動作して静止画の読み込み完了時にPOUT1からTALLY出力
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] 音声再生中にPOUT1からTALLY出力
    - TRANSITION [TRANSITION] トランジションがFADEのときにPOUT1からTALLY出力
    - TAKE [TAKE] スーパーオンのときにPOUT1からTALLY出力
    - READ END [READ END] NEXTに素材の読み込み完了したときにPOUT1からTALLY出力
  - POUT2 [POUT2] GPI POUT2のTALLY出力の設定
    - OFF [OFF] POUT2の出力を無効
    - CHG STILL [CHG STILL] チェンジ動作して静止画の読み込み完了時にPOUT2からTALLY出力
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] 音声再生中にPOUT2からTALLY出力
    - TRANSITION [TRANSITION] トランジションがFADEのときにPOUT2からTALLY出力
    - TAKE [TAKE] スーパーオンのときにPOUT2からTALLY出力
    - READ END [READ END] NEXTに素材の読み込み完了したときにPOUT2からTALLY出力
  - POUT3 [POUT3] GPI POUT3のTALLY出力の設定
    - OFF [OFF] POUT3の出力を無効
    - CHG STILL [CHG STILL] チェンジ動作して静止画の読み込み完了時にPOUT3からTALLY出力
    - CHG AUDIO [CHG AUDIO] 音声再生中にPOUT3からTALLY出力
    - TRANSITION [TRANSITION] トランジションがFADEのときにPOUT3からTALLY出力
    - TAKE [TAKE] スーパーオンのときにPOUT3からTALLY出力
    - READ END [READ END] NEXTに素材の読み込み完了したときにPOUT3からTALLY出力

網掛けの文字は工場出荷時設定です。

6. JPEG2000 ファイル

1. 概要

CF-92HD/SD、Bで表示できるJPEG2000ファイルは、CF-92HD/SD、B本体の動作に必要な独自の情報を付加する必要があります。

CF-92HD/SD、B本体の動作に必要な独自の情報は、ファイル転送ソフト「VFTP」で付加と編集をすることができます。

VFTPの操作方法等詳細は、VFTPの取扱説明書を参照して下さい。

2. CF-92HD/SD、B 用独自情報

CF-92HD/SD、Bが取り扱うフィルの静止画ファイル及びキーの静止画ファイルの内部には、CF-92HD/SD、Bが管理するのに必要な独自情報が付加されています。

独自情報には以下のものがあります。

●画像フォーマット ‥‥‥ HD、SD、又はPAL

●音声再生モード ‥‥‥ 繰り返し再生の有無

●ファイル削除 ‥‥‥ 削除可能、又は削除禁止

※注、独自情報が付加されていない JPEG2000 ファイルは、CF-92HD/SD、B では取り扱いができません。

3. CF カードによるファイルのコピー

CF-92HD/SD、B本体からCFカードにコピーしたJPEG2000ファイルには、CF-92HD/SD、B本体の動作に必要な独自の情報が既に付加されています。このCFカードにコピーしたファイルを別のCF-92HD/SD、B、CF-92HD/SDにコピーすれば、読み出しができます。

注: CFカードから直接音声再生はできませんので本体SSDに取り込んでから再生して下さい。

7. FTP 転送

1. 概要

TCP/IPネットワークに接続されたCF-92HD/SD、BのFTPサーバー機能を使用して、独自ファイル形式の画像ファイルをCF-92HD/SD、Bに転送できます。

2. ネットワークの設定

MENUボタンを押して、メニューモードに入ってからツマミとSETボタンで「NETWORK」を選択し、
ツマミとSETボタンで各アドレス(IP ADDRESS、SUBNETMASK、DEFAULT GETEWAY)を設定します。
PC側のネットワークの設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ 他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※ 接続できない時や不明な点がある時は、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. ネットワーク接続の確認

CF-92HD/SD、BとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。
ここでは仮にCF-92HD/SD、BのIPアドレスを「192.168.1.1」とします。

・ Windowsの場合

スタート>すべてのプログラム>アクセサリ>コマンドプロンプトを起動します。
コマンドプロンプトで”ping 192.168.1.1”と入力し、以下のメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:¥>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:¥>
```

“Reply from ····”と表示されればOKですが、”Request timed out.”のメッセージが表示された場合、PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、CF-92HD/SD、BおよびPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

4. ファイル仕様

・JPEG2000ファイル

[仕様]

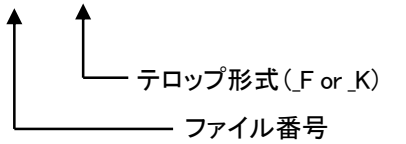
画像サイズ	: 1080i = 1920×1080
	525i = 720×486
	625i = 720×576
圧縮方式	: JPEG2000非可逆圧縮
精度	: YCbCr各10ビット

[ファイル名]

ファイル番号は必ず 0001～9999 までの 4 桁の数字を付けます。

ファイルの拡張子には必ず “.J2C” または“j2c”を付けます。

〇〇〇〇_□.J2C



〇 :ID(0001～9999)を入力します。

_□ :テロップ形式を入力します。（_F:FILL板テロップ、_K:KEY板テロップ）

・WAVファイル(音声)

[仕様]

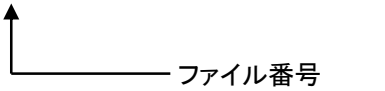
データサイズ	:16ビット
サンプリング周波数	:48kHz
チャンネル数	:2チャンネル
フォーマットID	:PCM
拡張子	:WAV、wav
再生時間	:最大1分

[ファイル名]

ファイル番号は必ず 0001～9999 までの 4 桁の数字を付けます。

ファイルの拡張子には必ず “.WAV” または“.wav”を付けます。

〇〇〇〇_A.WAV



〇	:ファイル番号(0001～9999)を入力します。
_A	:オーディオファイル

5. FTP 転送手順

ファイル転送には、ファイル転送アプリケーション「VFTP」を使用してください。

詳細は「VFTP取扱説明書」を参照してください。

※ ユーザ名は“ADMIN”、パスワードは”cf90”を設定してください。

6. FTP 転送の制限事項

(1)CF-90HD/SD、Bはファイルの読み出し・書き込み中でも素材登録が可能ですが、並列処理になっている為、通常動作より遅くなります。

(2)転送ファイルのファイル番号と編集中、ON AIR、NEXTに上がっているファイル番号が同じ場合、ファイル転送ができません。FTP転送前に、転送ファイルのファイル番号が、編集、送出に使用されていない事をご確認ください。

8. SNMP

1. 基本動作チェック

SNMP 監視用 PC の環境を構築します。

(1) ドライバの追加

Windows 2000 の場合

コントロールパネル→プログラムの追加と削除→Windows コンポーネントの追加と削除の管理とモニターツールをチェックし詳細ボタンを押します。

管理とモニター ツールの詳細が表示されたら[簡易ネットワーク管理プロトコル」をチェックし「OK」ボタンを押します。

Windows XP の場合

コントロールパネル→プログラムの追加と削除→Windows コンポーネントの追加と削除の管理とモニターツールをチェックし詳細ボタンを押します。

「WMI SNMP プロバイダ」および「ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックし「OK」ボタンを押します。

Windows Vista の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「SNMP の機能」をチェックしてください。

インストールする際、Windows の CD-ROM が必要になります。

インストールが完了したら再起動をしてください。

Windows 7 の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックしてください。

(すでにチェックが入っている場合はセットアップされている為、「キャンセル」を押して終了します。)

インストールする際、Windows の CD-ROM が必要になります。

インストールが完了したら再起動をしてください。

(2) サービスの開始

コントロールパネル→管理ツール→サービスの[SNMP Service]と[SNMP Trap Service]が「開始」状態にあるか確認します。

「開始」になっていない場合は手動で「開始」させます。

この作業は Windows2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 共通です。

(3) ファイアーウォールの設定

Windows XP の場合、ファイアーウォールの設定を行わないと SNMP が使用できません。

Windows ファイアーウォールの例外タブでポートの追加を押し、

1.名前[snmp], ポート番号[161], UDP

2.名前[trap] ポート番号[162], UDP

上の 2 つを登録します。

(4) SnmpMonitor、wSnmpTrap の入手

SnmpMonitor と wSnmpTrap を使用することで MIB データの取得、トラップの受信を行うことができます。

SnmpMonitor、wSnmpTrap はフリーウェアです。下記サイトにてダウンロードすることができます。

SnmpMonitor

http://milukiriu2010.web.fc2.com/

wSnmpTrap

http://hp.vector.co.jp/authors/VA031427/wsnmp/index.htm

SnmpMonitor、wSnmpTrap の取り扱いの詳細については上記サイト、又は各アプリケーションのヘルプを参照してください。

(5) 動作確認

CF-92HD/SD、B 背面の LAN コネクターに LAN を接続し、SnmpMonitor を起動します。

エージェントの IP アドレスに、CF-92HD/SD、B の IP アドレスを入力します。

Community は Read Community、Write Community 共に「VIDEOTRON」と入力し OK を押します。

メニュー一覧が表示されたら MIB ツリーを開き、ツールバーの MIB を選択します。

MIB 定義ツリーが表示されますので、iso → org → dod → internet → private の enterprises を

MIB ツリーウィンドウの左側へドラッグしてください。

CF-92HD/SD、B のステータスが表示されることを確認してください。

wSnmpTrap を起動します。

wSnmpTrap を起動し[ツール]から[トラップ受信サービス開始]を選択します。

CF-92HD/SD、B のメニュー[SYS]-[NETWORK]-[MANAGER IP]にトラップ送信先の IP アドレスを設定します。

トラップ受信サービス実行中にリファレンス信号の抜き差しをして Trap が送信されることを確認してください。

SNMP 制御の確認をします。

wSnmpTrap を起動し[ツール]から[SNMP SET]を選択します。

ターゲットデバイスに CF-92HD/SD、B の IP ADDRESS、コミュニティ文字列に"VIDEOTRON"、OID に"1.3.6.1.4.1.20120.1.1004.0"(Pattern File)、文法に"32 ビット符号無し INT"、値を"2"にし、送信ボタンを押します。

CF-92HD/SD、B 背面の NEXT OUT をモニターに接続してグラデーションが表示されていることを確認してください。

2. 工場出荷時設定

CF-92HD/SD、B の工場出荷時のネットワーク設定は下記の通りです。

IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
マネージャーIP	0.0.0.0
マネージャーIP 1～5	0.0.0.0
コミュニティ	VIDEOTRON
DNS IP	192.168.1.1
NTP SERVER	ntp.nict.jp

3. MIB データ

項番	オブジェクト識別子	ｱｸｾｽ	規格	実装例	SYNTAX	トラップ
1	pid {1.3.6.1.4.1.20120.1.1}	R/O	プログラム情報。	char PID[5][16]の内容 製品ｺｰﾄﾞ CF-90,92B 会社名 VIDEOTRON Corp ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 01.21.00 R00 製造日 2012/02/14 WED 時 Build-14:23:20	SNMP_LTYP_STRING	×
3	product {1.3.6.1.4.1.20120.1.3}	R/O	機種コード	SNMP機種コードで登録した コード 2017	SNMP_LTYP_INTEGER	×
4	managerIp {1.3.6.1.4.1.20120.1.4}	R/W	マネージャのIPアドレス	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
5	slotIp {1.3.6.1.4.1.20120.1.5}	R/W	スロットのIPアドレス	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
6	mac {1.3.6.1.4.1.20120.1.6}	R/O	MACアドレス	00-0E-88-XX-XX-XX モジュールで使用している場合	SNMP_LTYP_PSADDRESS	×
7	slotIpGate {1.3.6.1.4.1.20120.1.7}	R/W	スロットのIPアドレスゲートウェイ	0.0.0.0 モジュールで使用している場合	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
8	slotIpMask {1.3.6.1.4.1.20120.n.8}	R/W	スロットのIPアドレスサブネットマスク	255.255.255.0 モジュールで使用している場合	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
10	pwrdown & fanstop {1.3.6.1.4.1.20120.1.10}	R/O	電源とファンのエラーステータス エラーで1 bit0:power bit4:fan ※ 電源が片方落ちるかFANに異常 があると両方とも1になります。	0	SNMP_LTYP_INTEGER	○
12	inputRef & Reflock {1.3.6.1.4.1.20120.1.12}	R/O	リファレンス入力無しで1 bit0:RefIn	0	SNMP_LTYP_INTEGER	○
14	inputVideo {1.3.6.1.4.1.20120.1.14}	R/O	映像入力無しで1 bit0:Key、bit1:Fill	0	SNMP_LTYP_INTEGER	○
						×
1000	hard {1.3.6.1.4.1.20120.1.1000}	R/O	LCAのバージョン情報(アスキーコード) bi31-16:DEC、bit15-0:J2K	英数字2文字	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1001	hard {1.3.6.1.4.1.20120.1.1001}	R/O	LCAのバージョン情報(アスキーコード) bi31-16: AUDIO、bit15-0:F I/O	英数字2文字	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1002	hard {1.3.6.1.4.1.20120.1.1002}	R/O	LCAのバージョン情報(アスキーコード) bi31-16: I/O、bit15-0:SSD	英数字2文字	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1003	hard {1.3.6.1.4.1.20120.1.1003}	R/O	LCAのバージョン情報(アスキーコード) bi31-16: MAIN、bit15-0:PANEL	英数字2文字	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1004	PatternFile {1.3.6.1.4.1.20120.1.1004}	R/W	パターンファイル 0= カラーバーフル 1= カラーバースプリット 2= グラデーション 3= マルチバースト	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1005	VideoFormat {1.3.6.1.4.1.20120.1.1005}	R/W	映像フォーマット 0=1080i/59.94、1=1080i/50 2=525i、3=625i	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1006	FillPosition {1.3.6.1.4.1.20120.1.1006}	R/W	Fillのポジションの設定 bit15- 0:垂直位置 1080i/59.94、50: -540～540 525i : -243～243 625i : -288～288 bit31-16:水平位置 必ず偶数にする!! 1080i/59.94、50: -1920～1920 525i、625i : -720～720	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1007	KeyPosition {1.3.6.1.4.1.20120.1.1007}	R/W	Keyのポジションの設定 bit15- 0: 垂直位置 全ての映像フォーマット共通:-2～2 bit31-16: 水平位置 必ず偶数にする!! 1080i/59.94、50: -1920～1920 525i、625i : -720～720	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1008	GPI ON/OFF {1.3.6.1.4.1.20120.1.1008}	R/W	GPIの有効/無効の設定 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1009	NextOut {1.3.6.1.4.1.20120.1.1009}	R/W	NEXT表示の設定 0=Fill+Key、1=Fill、 2=Key	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×

1010	GenLock {1.3.6.1.4.1.20120.1.1010}	R/W	ゲンロックの設定 bit15-0 :垂直位置 1080i/59.94、50: -540～540 525i : -243～243 625i : -288～288 bit31-16:水平位置 1080i/59.94、50: -1920～1920 525i、625i : -720～720	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1011	MenuON/OFF {1.3.6.1.4.1.20120.1.1011}	R/W	メニュー表示の設定 0=OFF、1=ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1012	DelON/OFF {1.3.6.1.4.1.20120.1.1012}	R/W	CMDメニュー削除系コマンドの表示の設定 0=OFF、1=ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1013	StartReadOnAir {1.3.6.1.4.1.20120.1.1013}	R/W	起動時にON-AIRに表示するファイルの設定 ファイル名: 0000～9999	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1014	StartingReadNext {1.3.6.1.4.1.20120.1.1014}	R/W	起動時にNEXTに表示するファイルの設定 ファイル名: 0000～9999	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1015	DATE {1.3.6.1.4.1.20120.1.1015}	R/W	年月日の設定 bit31-16：年 2000～2099、 bit15-8 ：月 1～12、 bit7-0 ：日 1～31	2010年02月08日→ 0x7da年0x02月0x08日→ 0x7da28	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1016	TIME {1.3.6.1.4.1.20120.1.1016}	R/W	時分秒の設定 bit31-16：時 0～23、 bit15-8 ：分 0～59、 bit7-0 ：秒 0～59	13時20分30秒→ 0x0d時0x14分0x1e秒→ 0x0d141e	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1017	LCD Saver {1.3.6.1.4.1.20120.1.1017}	R/W	前面からの操作が数分間無かったときのLCDバックライトの設定 0=ON、1=OFF	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1018	LCDThumbnail {1.3.6.1.4.1.20120.1.1018}	R/W	前面LCDに表示するサムネイルの設定 0=OFF、1=NEXT、2=ON-AIR Fill、 3=ON-AIR Key	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1019	WriteScan {1.3.6.1.4.1.20120.1.1019}	R/W	書き込み時の取り込みの設定 0=FRAME、1=FIELD	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1020	Super {1.3.6.1.4.1.20120.1.1020}	R/W	スーパーインポーズ機能のON/OFFの設定 0=OFF、1=ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1021	PanelLock {1.3.6.1.4.1.20120.1.1021}	R/W	パネルのロックの設定 0=Unlock、 1=Lock	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1022	Fill {1.3.6.1.4.1.20120.1.1022}	R/W	Keyのみのときの Fillの設定 0=Black、1=White	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1023	Key {1.3.6.1.4.1.20120.1.1023}	R/W	Fillのみのときの Keyの設定 0=Black、1=White	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1024	ExecMode {1.3.6.1.4.1.20120.1.1024}	R/W	送出モードの設定 0=Direct、1=Preset、 3=Preset+Black	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1025	AudioMode {1.3.6.1.4.1.20120.1.1025}	R/W	音声再生モード 0=ノーマル、1=リピート、2=ファイル	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1026	CurrentDisk {1.3.6.1.4.1.20120.1.1026}	R/W	送出などの対象になるディスク 0=SSD、1=CF Card	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1027	FadeInSpeed {1.3.6.1.4.1.20120.1.1027}	R/W	フェードインスピードの設定 10～150	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1028	FadeOutSpeed {1.3.6.1.4.1.20120.1.1028}	R/W	フェードアウトスピードの設定 10～150	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1029	OnTakeTransition {1.3.6.1.4.1.20120.1.1029}	R/W	オンテイクトランジションの設定 0=CUT、1=FADE	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1030	OffTakeTransition {1.3.6.1.4.1.20120.1.1030}	R/W	オフテイクトランジションの設定 0=CUT、1=FADE	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1031	LineAudioLevel {1.3.6.1.4.1.20120.1.1031}	R/W	テイクオン時のラインの音声レベルの設定 0～20=0～-20dB -1= MUTE	-20dB→20 -10dB→10 0dB→ 0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1032	FillAudioLevel {1.3.6.1.4.1.20120.1.1032}	R/W	テイクオン時のフィルの音声レベルの設定 0～20=0～-20dB -1=MUTE	-20dB→20 -10dB→10 0dB→ 0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1033	ChangeExec {1.3.6.1.4.1.20120.1.1033}	R/O	チェンジ実行中を示す 0=チェンジ実行してない 又は実行完了 1=チェンジ実行中	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1034	ReadExec {1.3.6.1.4.1.20120.1.1034}	R/O	リード実行中を示す 0=リード実行してない又は実行完了 1=リード実行中	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×

1035	TakeExec {1.3.6.1.4.1.20120.1.1035}	R/O	テイク実行中 bit0:0=テイクオフ中、1=テイクオン中 bit1:0=テイク実行してない 又は実行完了 1=テイク実行中	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1036	WriteExec {1.3.6.1.4.1.20120.1.1036}	R/O	ライト実行中 0=ライトを実行してない 又は実行完了 1=ライト実行中	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1037	EditExec {1.3.6.1.4.1.20120.1.1037}	R/O	編集実行中 0=編集実行していない 又は実行完了 1=編集実行中	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1038	OnAir ID {1.3.6.1.4.1.20120.1.1038}	R/O	ON-AIRのファイルID bit15-0: 静止画ファイルID 0000～10003 ユーザー登録ID =0001～9999 黒味 = 0000 COLOR BAR FULL = 10000 COLOR BAR SPLIT= 10001 GRADATION = 10002 MULTI BURST = 10003 bit31-16: 音声ファイルID 0000～9999 無音 = 0000	ON－AIRにある静止画が0001、 音声が0002のときは "0x00020001"となります。	SNMP_LTYP_INTEGER	○ CF専用アプリで使用する 制御用トラップ。
1039	Next ID {1.3.6.1.4.1.20120.1.1039}	R/O	NEXTのファイルID bit15-0: 静止画ファイルID 0000～10003 ユーザー登録ID =0001～9999 黒味 = 0000 COLOR BAR FULL = 10000 COLOR BAR SPLIT= 10001 GRADATION = 10002 MULTI BURST = 10003 bit31-16: 音声ファイルID 0000～9999 無音 = 0000	NEXTにある静止画が0010、 音声が0100のときは "0x0064000a"となります。	SNMP_LTYP_INTEGER	○ CF専用アプリで使用する 制御用トラップ。
1040	NTP ON/OFF {1.3.6.1.4.1.20120.1.1040}	R/W	NTPサーバーへの時刻取得の有無 0=OFF 1=ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1041	DNS IP {1.3.6.1.4.1.20120.1.1041}	R/W	DNSサーバーのIP	192.168.202.30	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1042	NTP SERVER IP {1.3.6.1.4.1.20120.1.1042}	R/W	NTPサーバーのドメイン名またはIP アドレス。 25文字固定。 IPアドレスや25文字に満たないドメイン名は後ろをスペースで埋めて25文字にする。	"192.168.1.1 " "ntp.nict.jp "	SNMP_LTYP_STRING	×
1043	File Serch ID {1.3.6.1.4.1.20120.1.1043}	R/O	サーチ中のファイルID bit15-0: 静止画ファイルID 0000～9999 サーチ中でないときに"0000"になる。 bit31-16: 音声ファイルID 0000～9999 サーチ中でないときに"0000"になる。		SNMP_LTYP_INTEGER	○ CF専用アプリで使用する 制御用トラップ。
1044	GPI PIN 0 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1044}	R/W	GPI PIN0の動作の設定 0= OFF 1= CHANGE STILL+AUDIO 2= CHANGE STILL 3= CHANGE AUDIO 4= BACK STILL+AUDIO 5= BACK STILL 6= BACK AUDIO 7= SKIP STILL+AUDIO 8= SKIP STILL 9= SKIP AUDIO 10= TRANSITION (CUT/FADE切り換え) 11= ON TAKE 12= OFF TAKE	2	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1045	GPI PIN 1 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1045}	R/W	GPI PIN 1の動作の設定 GPI PIN 0と内容は同様です。	3	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1046	GPI PIN 2 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1046}	R/W	GPI PIN 2の動作の設定 GPI PIN 0と内容は同様です。	10	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1047	GPI PIN 3 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1047}	R/W	GPI PIN 3の動作の設定 GPI PIN 0と内容は同様です。	11	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1048	GPI PIN 4 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1048}	R/W	GPI PIN 4の動作の設定 GPI PIN 0と内容は同様です。	12	SNMP_LTYP_INTEGER	×

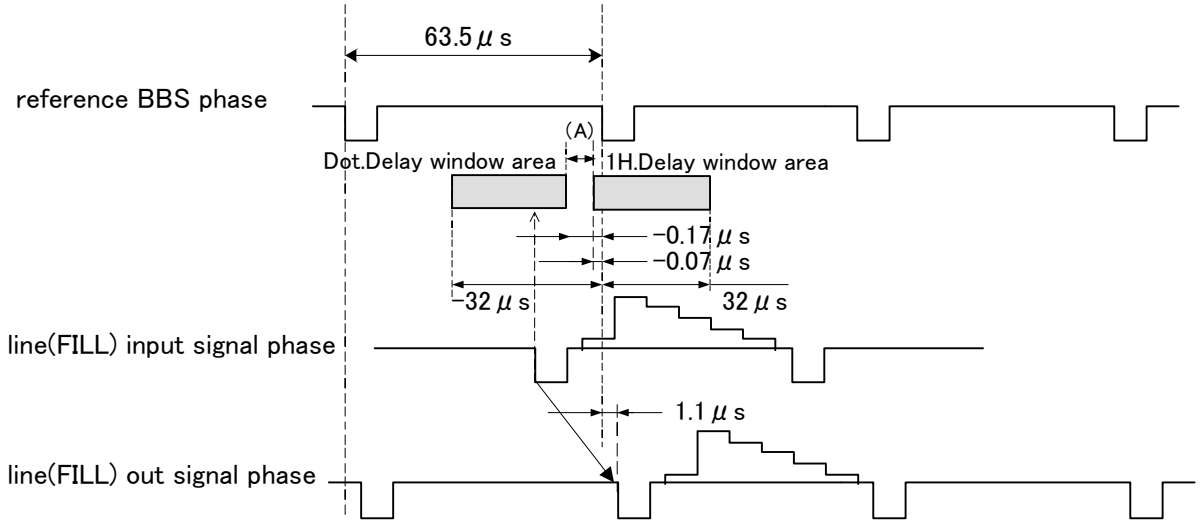
1049	GPI POUT 0 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1049}	R/W	GPI POUT0の動作の設定 0= OFF 1= CHANGE STIL 2= CHANGE AUDIO 3= TRANSITION 4= TAKE 5= READ END	1	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1050	GPI POUT 1 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1050}	R/W	GPI POUT 1の動作の設定 GPI POUT 0と内容は同様です。	2	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1051	GPI POUT 2 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1051}	R/W	GPI POUT 2の動作の設定 GPI POUT 0と内容は同様です。	3	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1052	GPI POUT 3 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1052}	R/W	GPI POUT 3の動作の設定 GPI POUT 0と内容は同様です。	4	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1053	Network Speed&Duplex {1.3.6.1.4.1.20120.1.1053}	R/O	ネットワークのスピードとデュプレックスの設定 0= 10Mb Half 1= 10Mb Full 2= 100Mb Half 3= 100Mb Full	3	SNMP_LTYP_INTEGER	×
1054	managerIp1 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1054}	R/W	マネージャのIPアドレス1	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1055	managerIp2 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1055}	R/W	マネージャのIPアドレス2	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1056	managerIp3 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1056}	R/W	マネージャのIPアドレス3	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1057	managerIp4 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1057}	R/W	マネージャのIPアドレス4	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1058	managerIp5 {1.3.6.1.4.1.20120.1.1058}	R/W	マネージャのIPアドレス5	192.168.201.1	SNMP_LTYP_IPADDRESS	×
1059	Panel Send {1.3.6.1.4.1.20120.1.1059}	R/W	送出時のパネルの終端の設定 0= プログラムエンド 1= ページエンド	0	SNMP_LTYP_INTEGER	×
2000	SnmpControl {1.3.6.1.4.1.20120.1.2000}	R/W	CF専用アプリからの制御用		SNMP_LTYP_INTEGER	○ CF専用アプリで使用する 制御用トラップ。

9. スーパーインポーズのLINE入力AVDL引き込み範囲

REF信号の位相に同期して映像がLINE(FILL)出力されます。スーパーインポーズ動作時のLINE(FILL)入力引き込み範囲(window area)を下図に示します。(A)は不定領域で、前後どちらのwindow areaに引き込まれるか判りませんので、この範囲にLINE信号のH位相が来ないようにしてください。通常LINE信号はドット遅延動作で使用して下さい。1H遅延動作で使用しますと出力同期と映像が1Hずれてしまい局間制御信号等が正常に通過しない時があります。

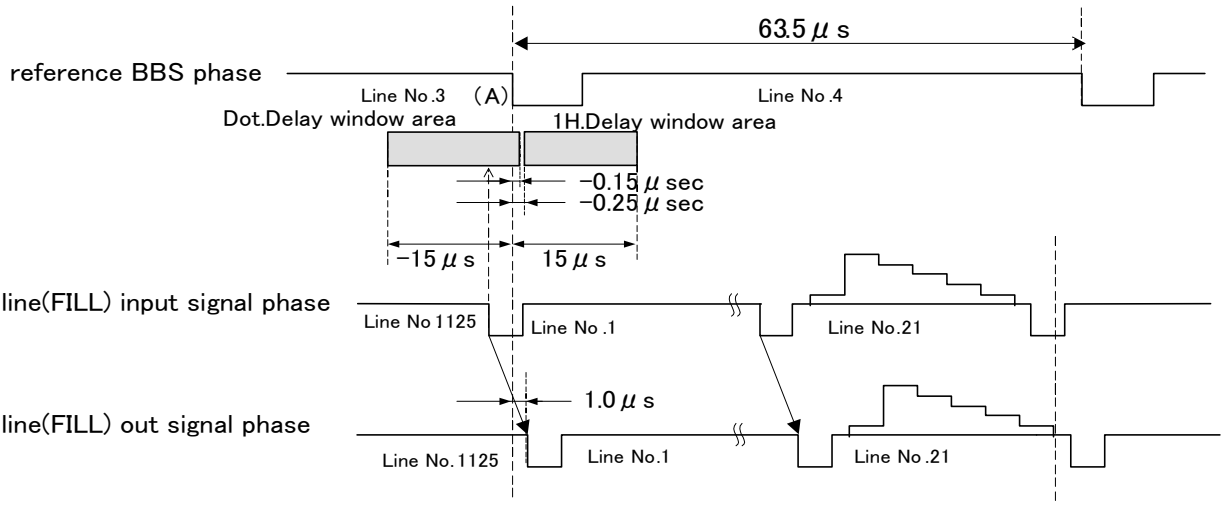
LINE(FILL)入力をドット遅延動作に成るように位相調整を行いご使用頂くか、メニュー操作のGENLOCKタイミングで出力位相調整を行うことで入力引き込み範囲(window area)が合わせて移動しますので出力位相調整を行って下さい。

1. 525iモードで動作時のLINE信号引き込み範囲(window area)を下図に示します。(A)は不定領域です。



525i window area

2. 1080iモードで動作時のLINE信号引き込み範囲(window area)を下図に示します。(A)は不定領域です。



1080i window area

注、スーパーインポーズモードで使用時にもREFは必ず入力して下さい。

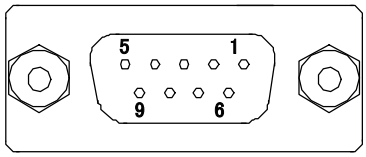
REF入力が無い時やLINE信号とREF信号が同期をとれていない時は、縦方向にLINE画像がずれて表示される場合があります。

10. 外部インターフェース

1. RS-422

Dsub-9pin(female)

Pin	I/O	信号	機能
1	-	GND	シグナル GND
2	O	TXD-	送信信号の-側
3	I	RXD+	受信信号の+側
4	-	GND	シグナル GND
5	-	+5V	CF-90-03 専用電源
6	-	GND	シグナル GND
7	O	TXD+	送信信号の＋側
8	I	RXD-	受信信号の-側
9	-	GND	シグナル GND



筐体背面から見たピン番号

注意: 工場出荷時+5V が出力しません。CF-90-03 テンキーリモコンのご使用により本体側の設定変更で+5V が出力されます。詳しい情報は後述の CF-90-03 テンキーリモコンを参照してください。

+5V は CF-90-03 テンキーリモコン専用です。他に使用禁止です。

(1) 概説

パソコンとRS-422ケーブル(ストレートケーブル)で接続し、指定の通信プロトコルによって外部よりCF-90HD/SD、Bをコントロールすることができます。※ テンキーリモコン、CF-50 FILE CONTとの通信もRS-422です。但し、通信プロトコルが下記と異なります。

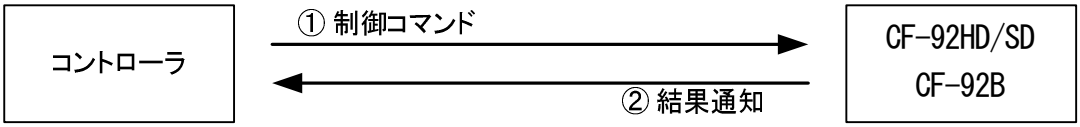
(2) 通信仕様

準拠規格	EIA RS-422A
通信方式	調歩同期式ビットシリアル通信
通信速度	19200bps
データ	8ビット
パリティ	なし
スタートビット	1ビット
ストップビット	1ビット

(3) 通信手順

コントローラからの 1 回の送信ブロック(①)に対し、必ず 1 回の結果通知ブロック(②)を返信します。

コントローラは CF-92HD/SD、B からの応答を待たずに次のコマンドを送ることはできません。



電源 ON 後、CF-92HD/SD、B は常に制御コマンドを受信できます。

但し、電源投入直後のイニシャライズ期間はコマンドを受信することができません。(結果通知ブロックを返信しません。)

(4) 通信フォーマット

CF-92HD/SD、B のコマンドは、可変長のバイナリデータです。

BC + CMD + PRM0 ～ PRMn + CS

BC	1バイト	送信データサイズ
CMD	1バイト	コマンドNo.
PRM	0～nバイト	パラメーター (無いコマンドもあります)
CS	1バイト	チェックサム (BC ～ PRMまでの和の2の補数)

(5) 通信プロトコル

1)コントローラと CF-92HD/SD、B 間の通信は、コントローラが主導権を持つことを原則とします。
コントローラから発信したコマンドを CF-92HD/SD、B が受信した場合は、下記のコマンド(結果通知)を送り返します。
a)正常にコマンドを受信した場合　ACK
b)通信エラーか未定義のコマンドを受信した場合　NACK+エラーコード

2)コントローラはコマンドを CF-92HD/SD、B に送った後、その返答を受信する前に次のコマンドを送ってはなりません。
(※ CF-92HD/SD、B からの返答を待たずにコマンドを送信した場合の動作は保証されません)

3)CF-92HD/SD、B は最初の 0 バイト目を受信してから 1 秒以内に一つのコマンドを受信完了しないとタイムアウト処理を行います。タイムアウトが発生すると NAK を送信し、通信バッファのデータをすべて無効にします。

4)CF-92HD/SD、B はコントローラからの通信上でエラーが検出されたとき、直ちに NACK を返答します。コントローラは上記返答を受け取ったときには、直ちに現在のコマンド送出を停止しなければなりません。その後、20ms の間は CF-92HD/SD、B はコマンドを受けつけないものとして、対応した処理をとる必要があります。

(6) コマンド

● 制御コマンドの説明

CF-92HD/SD、B では RS-422 を使用して以下の制御が行えます。

コマンド名	説明
ACK	コマンドが正常終了したときに返します。
NACK	何らかの原因でコマンドが正常終了しなかったときに返します。
CHG SRC DRIVE	送出、登録先、コピー元、移動元、フォーマット等のドライブを変更します。
CHG DST DRIVE	コピー先、移動先等のドライブを変更します。
CHANGE	NEXT 出力のファイルを ON AIR に表示して、NEXT に次のファイル番号のファイルを読み込みます。
READ	指定されたファイル番号の素材を NEXT 出力に読み出します。
WRITE	LINE の画像をフリーズさせ静止画として、SSDに記録します。
DELETE	指定されたファイル番号の素材を削除します。
COPY	コピー元ファイル番号の素材をコピー先ファイル番号にコピーします。
MOVE	移動元ファイル番号の素材を移動先ファイル番号に移動します。
LOAD PATTERN	指定されたパターンを NEXT 出力に表示します。

INSERT WRITE	指定されたファイル番号以降を後ろに順番にずらし、空いた番号に新しいファイルを追加します。
DELETE INHIBIT	指定されたファイル番号の素材の削除を禁止または許可にします。
INPUT THROUGH	NEXT 出力に LINE 入力をスルーで表示します。
INPUT FREEZE	スルーした LINE 入力をフリーズして表示します。
CAPTURE	フリーズした LINE 入力を静止画として SSD または CF に記録します。
INSERT CAPTURE	指定されたファイル番号以降を後ろに順番にずらし、空いた番号に新しいファイルを追加します。
TAKE ON	パラメーターがなしの場合は、本体の設定で TAKE ON 動作します。 パラメーターがありの場合は、指定されたトランジションで TAKE ON 動作します。
TAKE OFF	パラメーターがなしの場合は、本体の設定で TAKE OFF 動作します。 パラメーターがありの場合は、指定されたトランジションで TAKE OFF 動作します。
SWAP	スワップ元ファイルとスワップ先ファイルを入れ替えます。
CLOSER DELETE	指定したファイルを削除して、削除したファイル番号以降のファイルを空き番号を見つけるまで 一つずつ前に詰める。
CHANGE READ	NEXT 出力のファイルを ON AIR に表示して、指定したファイル番号の素材を NEXT に読み込みます。

● 制御コマンド

以下の通信コマンド表内の＄は 16 進データを、パラメーターの B はバイト、W はワードを示しています。

コマンド名	送信サイズ	コマンド No.	パラメーター
ACK	2	1($01)	なし
NACK	3	255($FF)	エラーコード(B) 詳細は後述
CHG SRC DRIVE	3	16($10)	ドライブ番号(B)※1
CHG DST DRIVE	3	17($11)	ドライブ番号(B)※1
CHANGE	3	19($13)	ファイルの種類(B)※2
READ	5	20($14)	ファイル番号(W)※3、 ファイルの種類(B)※2
WRITE	5	21($15)	ファイル番号(W)※4、 静止画の種類(B)※5
DELETE	5	22($16)	ファイル番号(W)※4、 ファイルの種類(B)※2
COPY	7	23($17)	コピー元ファイル番号(W)※4、 コピー先ファイル番号(W)※4、 ファイルの種類(B)※2
MOVE	7	24($18)	移動元ファイル番号(W)※4、 移動先ファイル番号(W)※4、 ファ イルの種類(B)※2
LOAD PATTERN	3	34($22)	パターン番号(B)※7
INSERT WRITE	5	35($23)	ファイル番号(W)※4、 静止画の種類※5
DELETE INHIBIT	6	36($24)	ファイル番号(W)※4、 削除属性(B)※6、 ファイルの種類(B)※2
INPUT THROUGH	3	37($25)	静止画の種類(B)※5
INPUT FREEZE	2	38($26)	なし
CAPTURE	4	39($27)	ファイル番号(W)※4
INSERT CAPTURE	4	40($28)	ファイル番号(W)※4
TAKE ON	2	41($29)	なし

	3		トランジション(B)※8
TAKE OFF	2	42($2A)	なし
	3		トランジション(B)※8
SWAP	7	43($2B)	スワップ元ファイル番号(W)※4、 スワップ先ファイル番号(W)※4、 ファイルの種類(B)※2
CLOSER DELETE	5	44($2C)	ファイル番号(W)※4、 ファイルの種類(B)※2
CHANGE READ	6	45($2D)	チェンジファイルの種類(B)※2、リードファイル番号(W)※3、 リードファイルの種類(B)※2

※1 ドライブ番号= 0:SSD、 1:CF

※2 ファイルの種類= 0:静止画&音声、 1:静止画、 2:音声

※3 ファイル番号= 0000～9999 (ファイル番号 0000 は黒味です。)

※4 ファイル番号= 0001～9999

※5 静止画の種類= 0:FILL&KEY、 1:FILL、 2:KEY

※6 削除属性= 0:削除許可、 1=削除禁止

※7 パターン番号= 0:カラーバーフル、 1:カラーバースプリット、 2:グラデーション、 3: マルチバースト

※8 トランジション= 0:CUT、10～150: FADE 10～150 フレーム

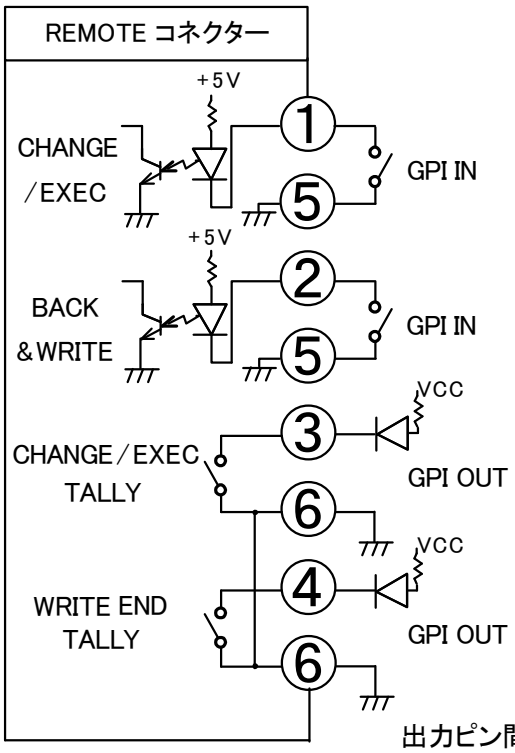
● エラーコード

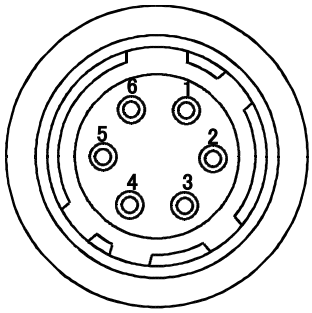
エラーコードとその意味は以下の通りです。

エラーコード番号	エラーコードの意味
0	通信エラー
1	不正なコマンド、パラメーターを指定した
2	コマンドを実行できなかった 又は実行に失敗した
3	チェックサムエラー
4	FILE NOT FOUND
5	DISK FULL
6	TIMEOUT
7	SSD エラー

2. REMOTE

HIROSE Circular Connector 6pin(female)





筐体背面から見たピン番号

HR10A-7R-6S

出力ピン間の絶対最大定格は60V、300mAです。

Pin	I/O	信号	機能
1	I	CHANGE/EXEC	OPEN:ノーマル CLOSE:実行トリガ ※1
2	I	BACK&WRITE	OPEN:ノーマル CLOSE:実行トリガ ※2
3	O	CHANGE /EXEC TALLY	OPEN:ノーマル CLOSE:実行中 ※3
4	O	WRITE END TALLY	OPEN:ノーマル CLOSE:終了トリガ ※4
5	-	1,2 COM	接点入力信号用コモン端子
6	-	3,4 COM	接点出力信号用コモン端子

※ TTL 信号で制御する際は、吸い込み電流が 12mA まで耐えられるデバイスで駆動してください。

※1 正面パネルの「CHG」と同様の動作をします。

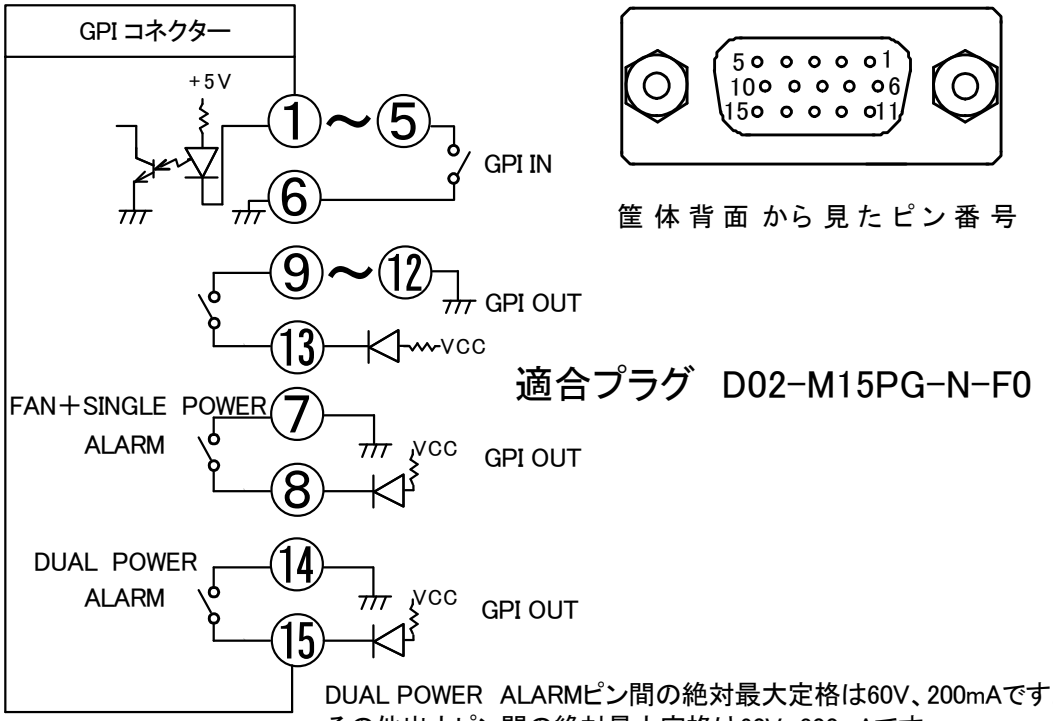
※2 WRITE モードで入力がある場合に有効です。

現在の書き込みモードとファイル番号からファイル書込みを実行します。

※3 送出ファイルの再生中に出力します。

※4 書き込み終了後、約 100ms 間出力します。

3. GPI



筐体背面から見たピン番号

適合プラグ　D02-M15PG-N-F0

DUAL POWER　ALARMピン間の絶対最大定格は60V、200mAです。
その他出力ピン間の絶対最大定格は60V、300mAです。

Pin	I/O	信号	機能
1	I	PIN0	メニューの[GPIA]→[PIN0]で動作を割り振れます。
2	I	PIN1	メニューの[GPIA]→[PIN1]で動作を割り振れます。
3	I	PIN2	メニューの[GPIA]→[PIN2]で動作を割り振れます。
4	I	PIN3	メニューの[GPIA]→[PIN3]で動作を割り振れます。
5	I	PIN4	メニューの[GPIA]→[PIN4]で動作を割り振れます。
6	－	PIN　COM	接点入力信号用コモン端子
7	O	FAN+SINGLE POWER ALARM	OPEN:ノーマル CLOSE:本体動作中にファンの回転数の低下や停止、また、二重化電源の片側電源停止や電源異常
8	O	FAN+SINGLE POWER ALARM	
9	O	POUT0	メニューの[GPIA]→[POUT0]で動作を割り振れます。
10	O	POUT1	メニューの[GPIA]→[POUT1]で動作を割り振れます。
11	O	POUT2	メニューの[GPIA]→[POUT2]で動作を割り振れます。
12	O	POUT3	メニューの[GPIA]→[POUT3]で動作を割り振れます。
13	－	POUT COM	接点出力信号用コモン端子
14	O	DUAL POWER ALARM	OPEN:ノーマル CLOSE:両電源停止や電源異常
15	O	DUAL POWER ALARM	

※ TTL 信号で制御する際は、吸い込み電流が 12mA まで耐えられるデバイスで駆動してください。

11. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

（文中の→は対処方法を示しています）

現象　電源を入れても電源ランプが点灯しない!

原因　ヒューズが切れていませんか?

→ 確認後交換してください。

現象　映像が同期してくれない!

原因　BBS IN は確実に入力されていますか?

→ BBS 信号を入れてください。

現象　ディスクに書き込めない!

原因　DISKFULL のメッセージが出ていませんか?

→必要のないファイルを消してディスクの整理をしてください。

フォーマットは行いましたか?

→「CMD → FORMAT」でディスクをフォーマットしてください。

（すでに書き込まれているファイルは消えてしまいます。注意してください。）

現象　設定したデータがバックアップされない!

原因　設定した最後に SET ボタンを押してからメニューを閉じられましたか?

→設定した最後には SET ボタンを押してから MENU ボタンでメニューモードから抜けてください。

現象　指定したファイルが削除できない!

原因　指定したファイルは ON AIR 又は NEXT に上がっていませんか?

→ ON AIR 又は NEXT に上がったファイルは削除できません。

→ ON AIR 又は NEXT から外してから削除して下さい。

オプションパネル経由の削除、ネットワーク(FTP)経由の削除、外部コントロール(RS-422 制御コマンド)経由の削除も同様に、ON AIR 又は NEXT に上がったファイルは削除できません。

現象　OUTPUT-FILL 1 出力信号は、フロントパネルに ON AIR/NEXT ファイル No.表示が出るまで INPUT-FILL/LINE 入力または、無信号が出力される。

→ この現象は故障ではなく仕様です。

現象　NTP サーバーから時刻が取得できない!

原因　「SYS → NETWORK」でネットワークの設定を行いましたか？

→「SYS → NETWORK」で「IP ADDRESS、SUBNET、GATEWAY、DNS IP、 NTP SERVER」と「CONF → SNTP」の設定を確認して下さい。

現象　電源のオン/オフによる再起動で起動不良が起きる!

原因　電源をオフにしてからすぐに電源をオンにしていませんか？

→ 電源をオフにしてから機器内の電荷がなくなるまで若干時間がかかるので、約 5 秒程度待ってから電源をオンにしてください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

12. 仕様

1. 機能

手動送出	本体正面のパネルで簡易的な送出操作ができます。
・CHG	NEXT に表示されている映像を、ON AIR へ送出します。
・SKIP	NEXTに表示されているファイルを進めます。
・BACK	NEXTに表示されているファイルを戻します。
・S-TAKE	スーパーインポーズモード時にスーパーをON/OFFにします。
・LOCK	本体正面のパネル操作を禁止します。
音声付き静止画	静止画に音声を付けることができます。静止画音声用として、最大1分間のファイルを20ファイル記録することができます。ON AIRにテイクした音声付き静止画ファイルはチェンジトリガーで再生を開始します。 ※CF-90-01ファイルコントを使用した場合、静止画と音声ファイルを自由に組み合わせることができます。
送出モード	
・PRESET	CHGすることでNEXT出力に読み出したファイルをON AIRへ送出します。NEXT出力には次のファイルを読み出します。
・DIRECT	選択したファイルをON AIRへダイレクトに送出します。NEXT出力には次のファイルを読み出します。
・BLACK	送出するファイル間に、自動的に黒味画像を挿入します。
オーディオミックス	取り込んだオーディオファイルとLINE信号上のエンベデッドオーディオをオーディオミックスし、出力することができます。
音声レベル調整	
・LINE	オーディオミックス時のラインオーディオのレベルを-20dB～0dBまたMUTEの範囲で設定できます。
・FILL	オーディオミックス時のフィルオーディオのレベルを-20dB～0dBまたMUTEの範囲で設定できます。
音声リピート再生	音声ファイルのリピート再生ができます。
ポジション移動	スーパーの表示位置を変更することができます。右上のロゴを左上に変更したい時に有用です。※ただし、全ファイルに適用します。
ファイル編集	ファイルの複製、移動、削除、削除保護ができます。
外部制御 （パラレル、シリアル）	CHANGE、SKIP、BACK、TAKE、TRANSITIONの選択、ファイルWRITEなどの接点制御ができます。
プレビュー表示	ON AIRのFILL、KEYファイル出力をLINE信号にスーパーインポーズして確認するプレビュー機能があります。
スーパーインポーズ	LINE信号に取り込んだファイルをスーパーインポーズすることができます。トランジションは、CUTとFADEから選択することができます。
エマージェンシースルー	電源断の時、エマージェンシースルー機能が働き、LINE信号がスルーします。エマージェンシースルーに対応した出力は、OUTPUT-FILL 1のみです。
CFカードI/F	本体正面に内蔵するCFカードI/Fにて、素材のインポート、エクスポートが可能です。LAN環境の無い車載のCF-90Bに素材を仕込む場合や、CF-90Bに収録した素材をバックアップしたい時に使用します。
ネットワーク転送	VFTP、VFTP ON AIRを使用すると、ネットワーク経由で素材のインポート、エクスポートが可能です。汎用のαチャンネル付きTARGAファイルをCF-90B形式のファイルにコンバートすることができます。 ※1 ファイル毎に音声リピート設定を属性として持たせることができます。
LINE AVDL	リファレンス信号とLINE信号が同期している場合に使用し、ブランキングスイッチャー後段の映像のショックを吸収したい時に有用です。1ラインのAVDLが内蔵されています。

※ HD で使用している場合は、SD のファイルは送出することはできません。また SD で使用している場合も、HD のファイルを送出することはできません。

2. 定格

入力信号

・KEY IN	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p/75Ω、BNC 1系統
・FILL/LINE IN	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p/75Ω、BNC 1系統
・REF IN	BBS、0.43Vp-p/75Ω、BNC 1系統

出力信号

・KEY OUT1,2	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 2系統
・FILL OUT1,2	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 2系統
・NEXT OUT	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 1系統

外部I/F

・RS-422	Dsub-9(f)インチネジ 1 系統
・10/100BASE	RJ45 1 系統
・REMOTE	HR10A-7R-6S 1系統 接点入力×2、接点出力×2 ※1, ※2 Dsub-15(f)高密度タイプ、インチネジ 1系統
・GPI	接点入力×5、接点出力×4、FANアラーム、電源アラーム ※1, ※3

※1 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※2 出力接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

※3 電源アラーム接点以外、出力接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

電源アラーム接点の絶対最大定格は60V、200mAです。外部抵抗で電流を200mA以下に制限してください。

・CFカード	CFカードスロット 1系統 ※4

※4確認済みの容量は、128MB、512MB、1GB、2GB、4GB、8GBです。

CFカードTypeⅡは未対応です。

ネットワーク

・FTPファイル転送	DIR(リスト表示)、PUT(アップロード)、GET(ダウンロード) DELETE(削除)
・ファイルの種類	静止画: JPEG2000 10bit、非可逆圧縮 (KEY、FILL ファイル) TARGA 32bit(RGB+α)、非圧縮 ※ TARGA はファイル転送ソフトで独自情報付き JPEG2000 に変換します。 音声: WAV 2CH、16bit、48kHz
映像フォーマット	HD:1080i/59.94、1080i/50、 SD:525i/59.94、625i/50
電源	AC90～250V 50/60Hz 35VA (CF-92B-01実装時 60VA)
外形寸法	420(W)×44(H)×380(D) mm (突起物含まず)
質量	約8.0kg (CF-92B-01実装時 約8.8kg)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし、結露なき事)

3. 性能

入力特性

・KEY IN、FILL/LINE IN

分解能	10bit
サンプリング周波数	HD：74.18MHz、74.25MHz、SD：13.5MHz
イコライザー特性	HD：100m/5CFB、SD：300m/5CFB
反射減衰量	HD：5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上 HD：742.5 MHz～1.485 GHz、10 dB 以上 SD：5 MHz～270MHz、15 dB以上

出力特性

・KEY OUT1,2、FILL OUT1,2

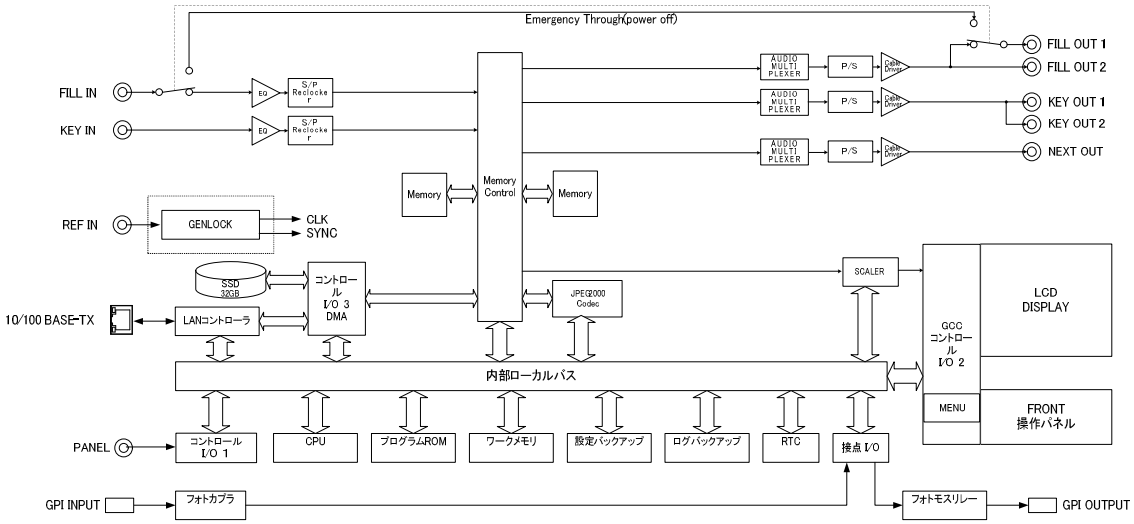
NEXT OUT	10bit
分解能	HD：74.18MHz、74.25MHz、SD：13.5MHz
サンプリング周波数	0.8Vp-p±10%
信号振幅	HD：5 MHz～742.5 MHz、15 dB以上
反射減衰量	HD：742.5 MHz～1.485 GHz、10 dB以上
	SD：5 MHz～270MHz、15 dB以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD：270ps以下(20%～80%間)
	SD：0.4ns～1.5ns(20%～80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD：1.0UI、SD：0.2UI
REFに対する遅延	1μs±0.2μs
AVDL引き込み範囲	ドッド遅れ：　1H遅れ：
（内部DSK時）	HD：-15～+0.15μs　+0.25～+15μs
	SD：-32～-1.7μs　-0.7～+32μs
	※OUTPUT-FILL 1は、電源投入後イニシャル終了までINPUT-FILL/LINEの信号が出力されます。

エンベデッドオーディオ

チャンネル数	8CH
分解能	HD：24bit、SD：20bit
サンプリング周波数	48kHz

DISK	SSD：　32GB

13. ブロック図

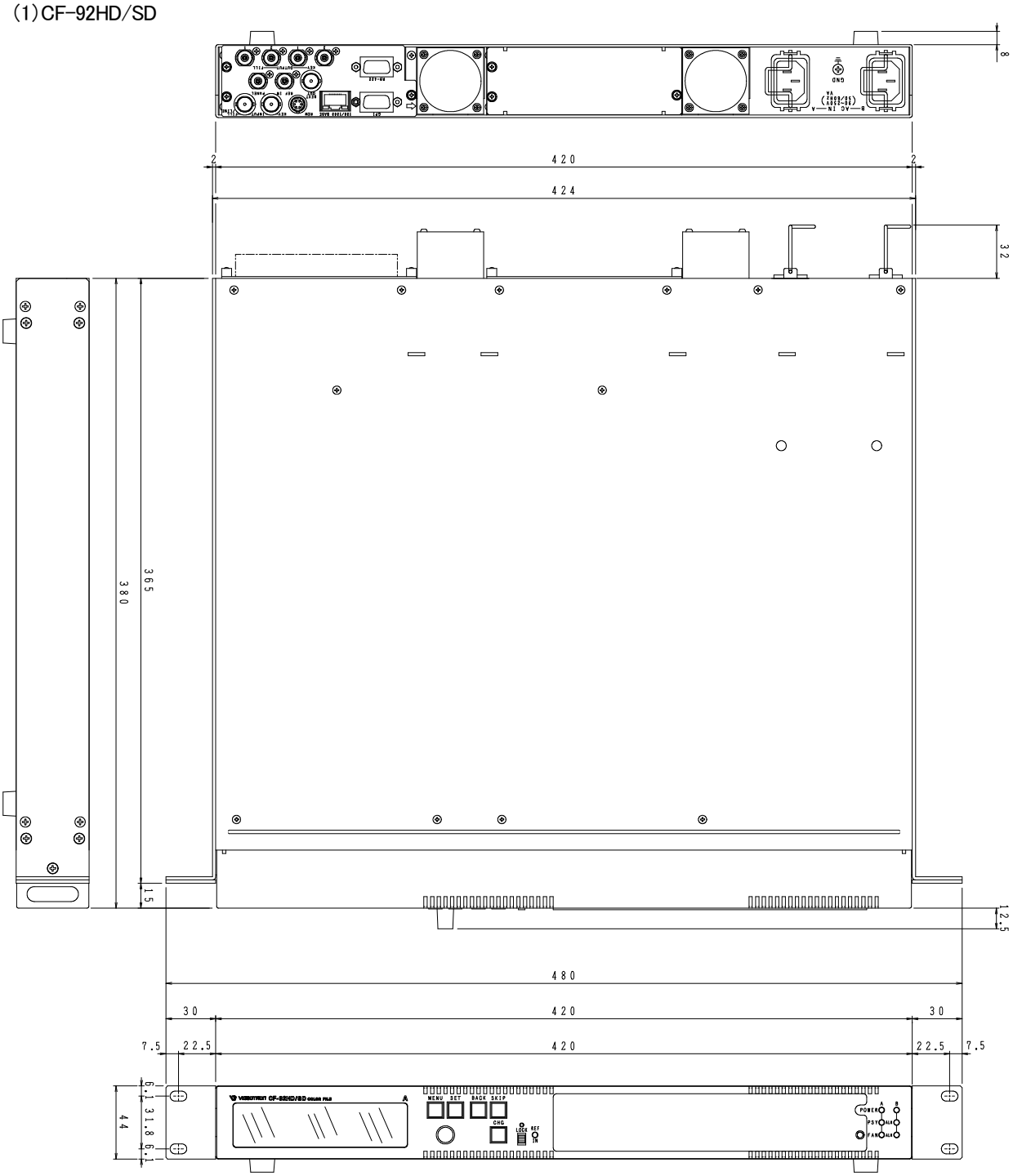


※増設ユニット実装時には、上記系統が 2 系統になります。

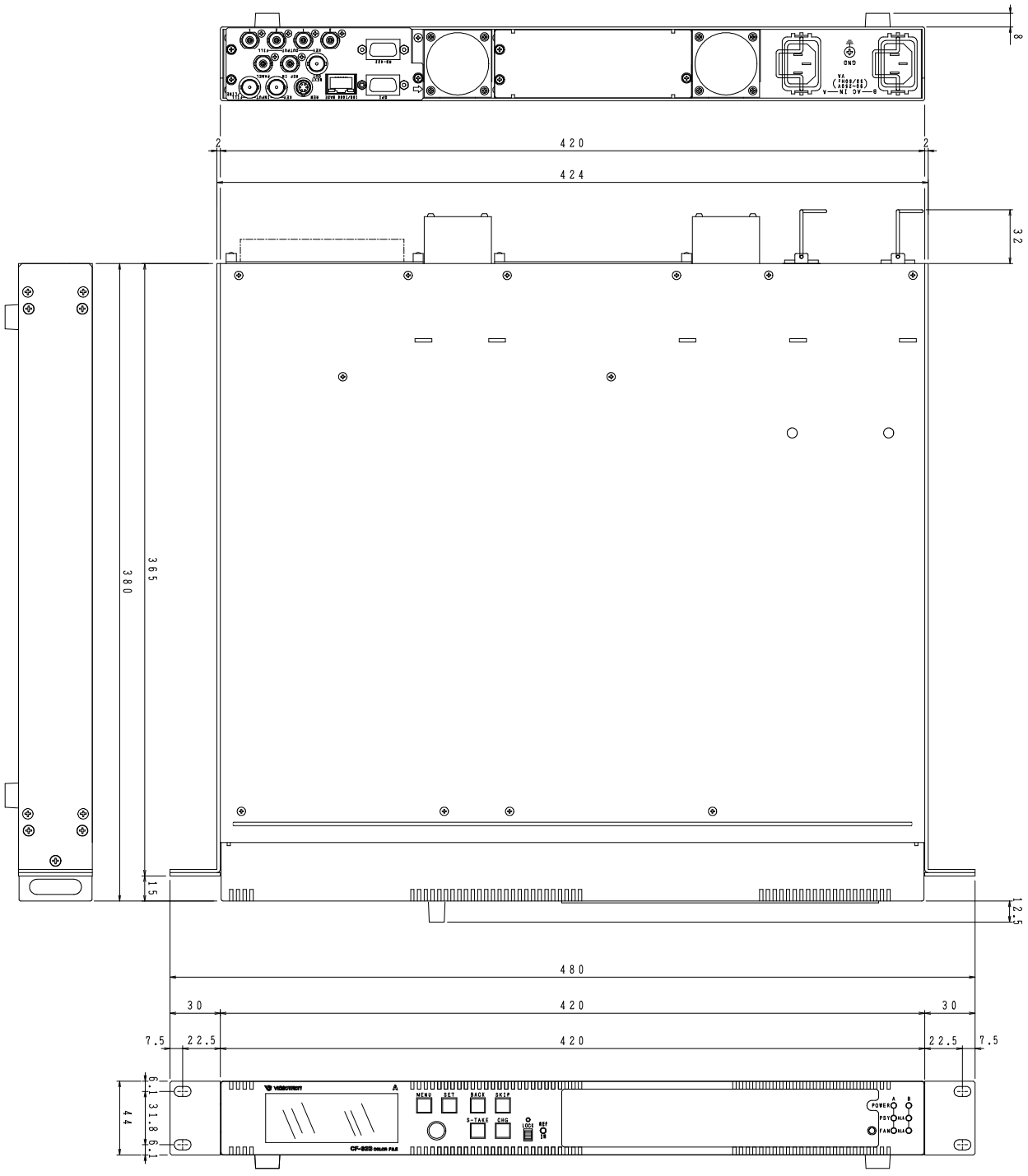
14. 外形寸法図

1. 標準

(1)CF-92HD/SD

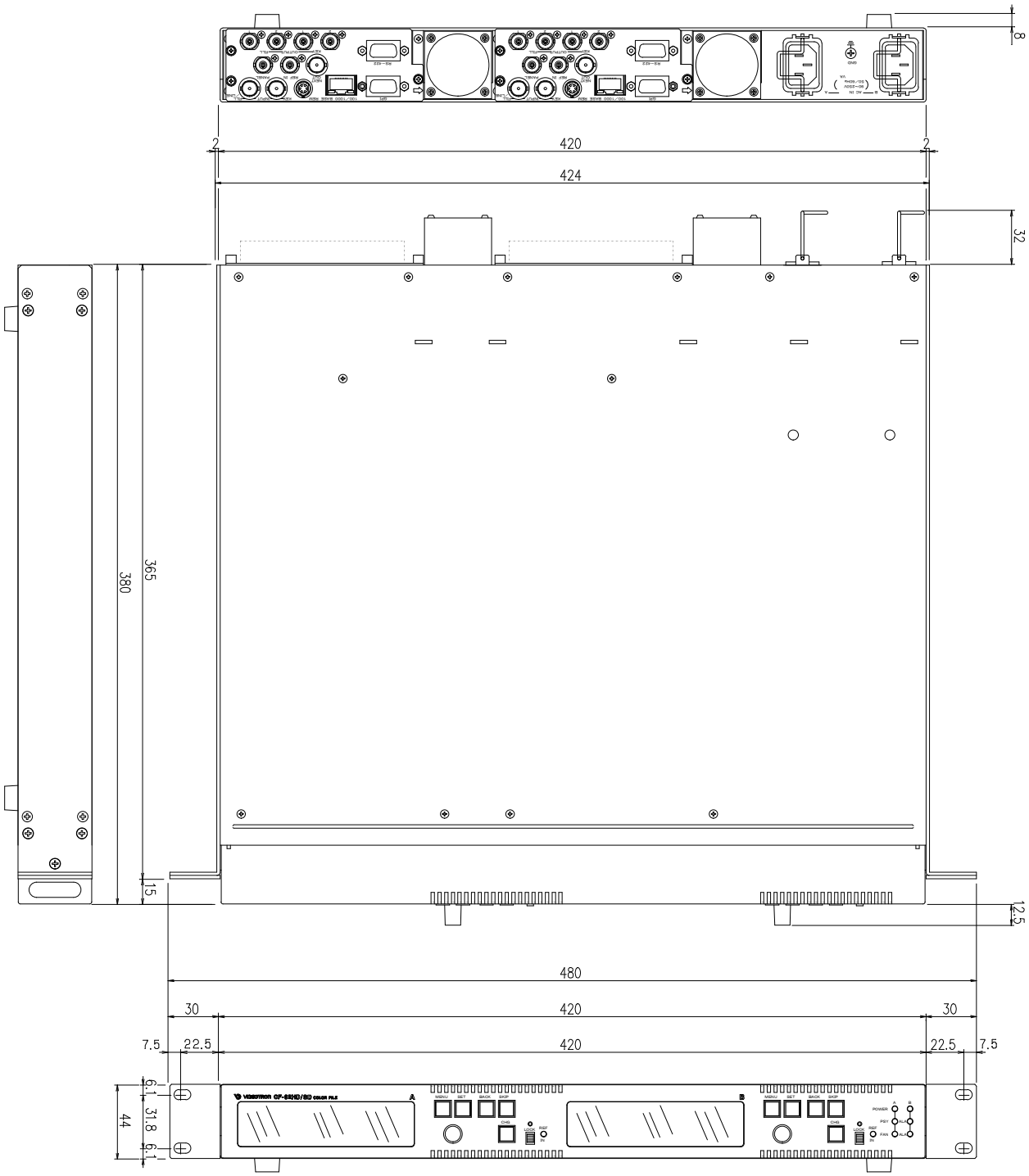


(2)CF-92B

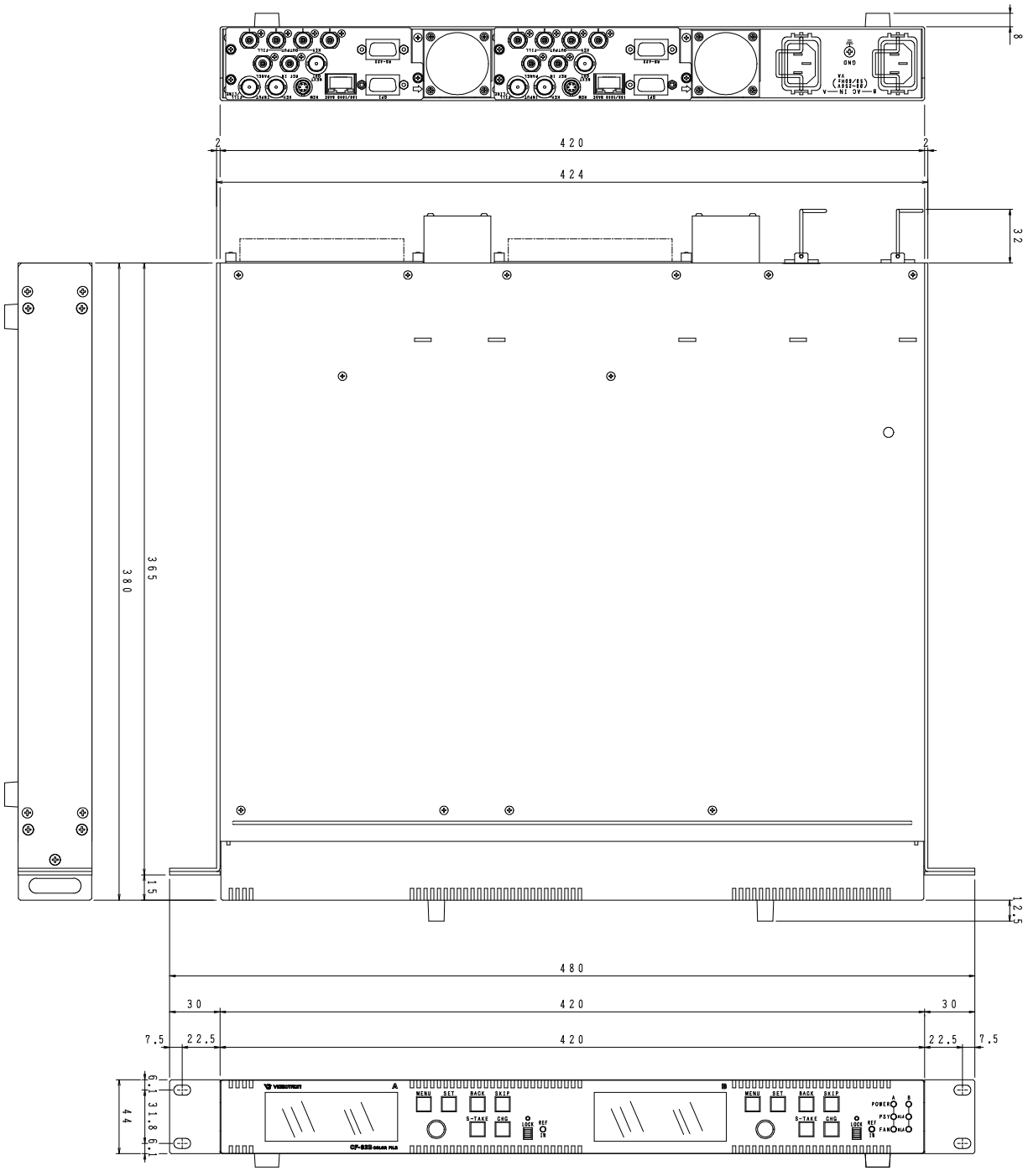

8
2
420
2
424
32
380
365
15
12.5
480
30
420
30
7.5
22.5
420
22.5
7.5
6.1
31.8
6.1
44
MENU
SET
BACK
SKIP
S-TAKE
CHG
LOCK
KEY IN
POWER
PSY
FAN
A
B

2増設ユニット実装時

(1)CF-92HD/SD



(2)CF-92B


8
2
420
2
424
32
380
365
15
12.5
480
30
420
30
7.5
22.5
420
22.5
7.5
6.1
31.8
6.1
44
MENU
SET
BACK
SKIP
S-TAKE
CHG
LOCK
REF
TR
POWER
PSY
FAN
A
B
GND

15. CF-90-01 ファイルコント（オプション）

1. 概要

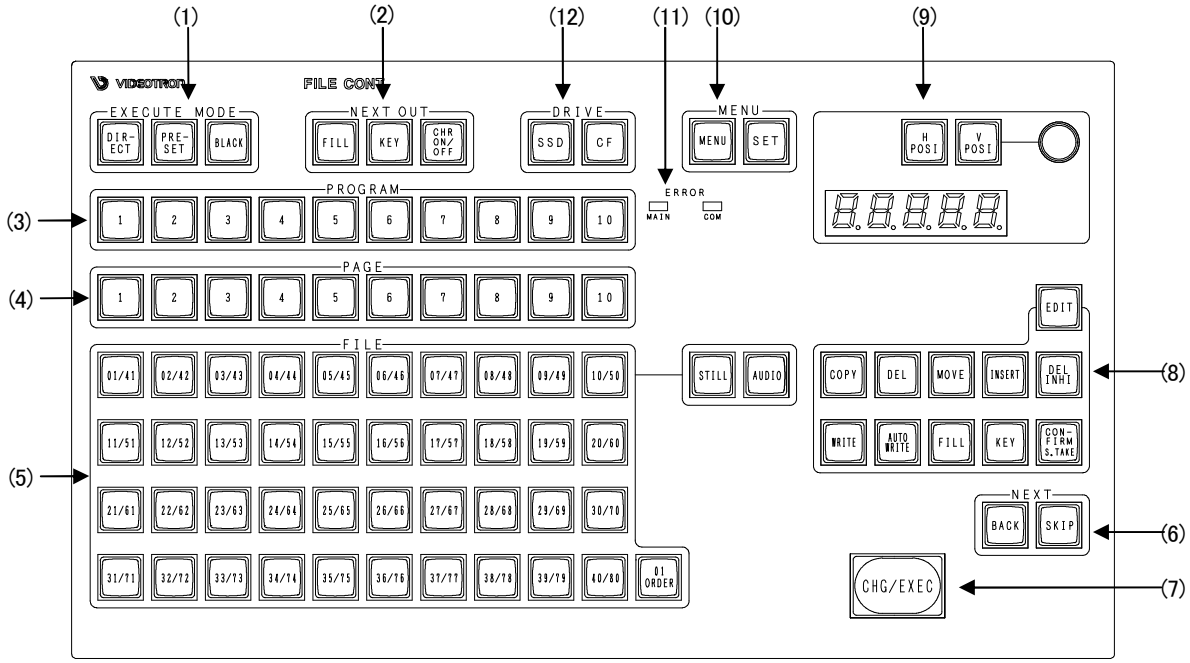
CF-92HD/SD、B 背面の PANEL 端子と接続するファイルコントです。離れたところから CF-92HD/SD、B を簡単に操作できます。

2. 接続

ファイルコントの CONT 端子と CF-92HD/SD、B 背面の PANEL 端子を同軸ケーブルで接続します。

3. 各部の名称と働き

3-1. CF-90-01 ファイルコント前面



(1) EXECUTE MODE ボタン

DIRECT と PRESET の送出モードを選択するボタンです。

電源起動時に PRESET が選択され橙色点灯します。

送出時のみ選択可能で編集時は消灯します。

DIRECT　ON AIR 出力に押されたファイル番号を、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出します。

CHG/EXEC ボタンで NEXT を ON AIR 出力し、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出す送出モードです。

PRESET　NEXT 出力に押されたファイル番号を読み出します。

CHG/EXEC ボタンで NEXT を ON AIR 出力し、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出す送出モードです。

BLACK　PRESET モードで使用し、送出するファイル間に常に黒画面を挿入します。

(2) NEXTOUT ボタン

FILL　NEXT にフィルを出力します。NEXT にキーを同時に出力する時は KEY を押します。

KEY　NEXT にキーを出力します。NEXT にフィルを同時に出力する時は FILL を押します。

CHR ON/ OFF　NEXT のメニュー画面を ON/OFF します。

(3) PROGRAM ボタン

1～10 のプログラムを選択するボタンです。

登録ファイルの有無を緑色点灯で表示します。

(4) PAGE ボタン

1～10 のページを選択するボタンです。

登録ファイルの有無を緑色点灯で表示します。

(5) FILE 番号ボタン

1～80 のファイル番号を選択するボタンです。

ファイル番号は 01ORDER が緑色点灯時に 1～40 のファイル番号に相対します。

01ORDER が橙色点灯時に 41～80 のファイル番号に相対します。

登録ファイルの有無を緑色点灯で表示します。

またファイル番号は STILL が橙点灯時に静止画の選択ができます。

AUDIO が橙点灯時に音の選択ができます。

STILL と AUDIO ともに橙点灯時は静止画と音声を同時に選択することになります。

(6) NEXT ボタン

NEXT 出力へのファイル読み出し順を選択するボタンです。

送出時に送出モードが PRESET のときのみ選択できます。

BACK　NEXT 出力されている前の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

SKIP　NEXT 出力されている後の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

※ON AIR 出力されているファイル番号はスキップしないで次の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

(7) CHG/EXEC ボタン

送出時は、NEXT に準備されているファイル出力を ON AIR 出力に切り替え、次の登録済みファイル番号を NEXT に準備するチェンジボタンです。

編集時は CHG/EXEC ボタンを押すことで登録、コピー、削除等の処理を実行します。

実行中はボタンが点滅しパネル面で処理中が確認できます。

(8) EDIT ボタン

EDIT ボタンはファイルの登録(記録)、コピー、移動、削除、削除禁止の設定を行う設定ボタンです。

橙色点灯はファイルの編集や登録モードの設定を行います。

緑色点灯は送出モードです。

橙色点灯時は、以下の設定が可能です。

COPY ボタン	ファイル編集のコピーモードを設定するボタンです。
DEL ボタン	ファイル編集の削除モード、詰め削除モードを設定するボタンです。
MOVE ボタン	ファイル編集の移動モード、入れ替えモードを設定するボタンです。
INSERT ボタン	ファイル編集の挿入登録モードを設定するボタンです。
DEL INHI ボタン	ファイル編集の削除禁止を設定するボタンです。
WRITE ボタン	ファイルの登録モードを設定するボタンです。
AUTO WRITE ボタン	ファイルの連続登録モードを設定するボタンです。
FILL ボタン	フィルファイル登録を設定するボタンです。
KEY ボタン	キーファイル登録を設定するボタンです。
CONFIRM ボタン	登録、コピー、削除、削除禁止実行前の確認ボタンです。 登録時はフィルやキー信号入力のフリーズタイミングになります。
H.POSI ボタン	ファイル編集の横方向のフィル、キーポジションの設定を行います。
V.POSI ボタン	ファイル編集の縦方向のフィル、キーポジションの設定を行います。

※プログラム間のコピー、移動はページ間、ページ内よりも 10 倍の時間がかかります。

緑色点灯時は以下の設定が可能です。

CONFIRM ボタン	スーパーインポーズモードのときにスーパーのオン/オフ を行います。

(9) 送出時のフィル,キーポジションの設定

H.POSI ボタン	送出時の横方向のフィル、キーポジションの設定を行います。
V.POSI ボタン	送出時の縦方向のフィル、キーポジションの設定を行います。

(10) MENU ボタン

MENU ボタン	1 秒間押し続けるとボタンが点滅しメニューモードに入ります。 NEXT 出力にシステムメニューが表示されます。 電源起動時は消灯しています。(メニューは OFF 状態)
SET ボタン	メニューモードのときは、項目の選択または設定の決定をします。

(11) ERROR 表示

MAIN:	CF-92HD/SD、B本体に障害が起きた場合に赤色の点灯で警告します。
COM:	パネル～本体間で通信エラーが発生した場合に赤色の点滅で警告します。 また、本体の起動中も赤色に点滅します。 誤操作や処理中にエラーが発生した場合に赤色点灯で警報表示します。

(12) DRIVE ボタン

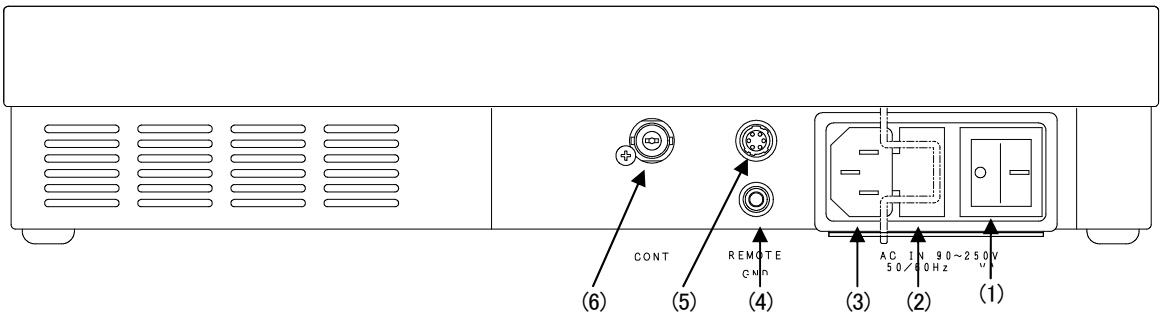
送出モードや編集モードでアクセスするドライブを選択するボタンです。

SSD ボタン　　SSD ドライブにアクセスします。

CF ボタン　　CF ドライブにアクセスします。CF カードを挿入していない場合は選択できません。

※注: CFカードから直接音声再生はできませんので本体SSDに取り込んでから再生して下さい。

3-2. CF-90-01 ファイルコント背面



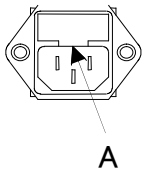
(1) POWER

ファイルコントの電源スイッチです。

(2) FUSE

ヒューズホルダーです。

ヒューズの交換方法



マイナスドライバー等で、下からヒューズホルダーの爪(A 部)に引っかけ、
手前に引き出してヒューズを交換してください。その際必ず指定の 2A のヒューズを
使用してください。

※指定以外のヒューズを使用すると、機器の破損・発火の可能性があります。
　交換はAC INの電源ケーブルを抜いてから行ってください。

(3) AC IN

三端子の電源ケーブルを接続します。

(4) GND

筐体のグランド端子です。

(5) REMOTE

拡張用の接点入出力端子です。(未使用)

(6) CONT

通信用同軸ケーブルで本体と接続します。

本体との通信用同軸ケーブルは 75Ω/3C2V ケーブルで最大 100m まで伸ばすことができます。

3-3. 基本操作

3-3-1. 送出操作

オーディオファイルのリピート再生及びテストパターンの読み込みは、送出操作では実行できません。

3.メニュー操作で実行して下さい。

(1) 送出操作

送出として使用する場合は以下の手順で行います。

1) EDITボタンが橙色点灯している時は、EDITボタンを押して、EDITボタンを緑色点灯させ「送出モード」にします。 電源起動時には送出モードです。
2) 送出モードのPRESETかDIRECTのどちらかのボタン橙色点灯を確認します。
(「送出モード」を参照してください)
3) 読み出し先ドライブをSSDボタンかCFボタンのどちらかを選択します。
4) PROGRAMボタン列が緑色点灯します。
ファイルが有るとき、ボタンが点灯します。
ファイルが無いときは点灯しません。
5) PROGRAMボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択ボタンが橙色点灯になります。
6) PAGEボタン列が緑色点灯し、プログラムの内容を表示します。
ファイルが登録(記録)されているボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
7) PAGEボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択したボタンが橙色点灯になります。
8) FILE番号列が緑色点灯し、ページの内容を表示します。
またSTILLボタンとAUDIOボタンが橙色に点灯します。
選択しているドライブに登録されているファイル番号ボタンが点灯します。
登録されていないファイル番号は点灯しません。
STILLボタン、AUDIOボタンともに登録ファイルが無い場合は点灯しません。
9) ファイルタイプを選択します。
静止画のみを送出する場合はAUDIOボタンを押してOFFの緑色にします。
また音声のみを送出する場合はSTILLボタンを押してOFFの緑色にします。
10) ファイル番号ボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択したボタンが赤色点灯または赤色点滅になります。
11) 赤色点灯のファイル番号がON AIR出力に、赤色点滅のファイル番号がNEXT出力に読み出されます。
12) CHG/EXECボタンを押します。
NEXT出力がON AIR出力に切り替わり、次の登録済みファイル番号がNEXT出力に読み出されます。
※PROGRAM、PAGE、FILE 番号は階層選択になっています。
PROGRAM、PAGE、FILE 番号の階層順に選択します。

(2) 送出モード選択

DIRECT、PRESET、BLACKボタンがあります。

直接ファイル番号ボタンを押したときのファイルの読み出し方法を選択します。ページ内にあるファイル番号を直接 NEXT や ON AIR に読み出すことができます。

DIRECT　ON AIR出力に押されたファイル番号を読み出し(NEXTに読み出しON AIR出力へ切り替える)、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出します。

PRESET　NEXT 出力に押されたファイル番号を読み出します。
CHG/EXECボタンが押されますとNEXT 出力に読み出されているファイルが ON AIR 出力 にチェンジされ出力されます。

BLACK　PRESET モードで使用し、送出するファイル間に常に黒画面を挿入します。

DIRECT 選択の場合

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンが赤色点灯し、ファイルをNEXTに読み出しON AIR出力に切り替え、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。
3) 緑色点灯している最終ファイル番号ボタンを選択します。
4) 押された最終ファイル番号ボタンが点灯し、ファイルを NEXT に読み出し ON AIR 出力に切り替え、次のページの先頭のファイル番号を NEXT 出力に読み出します。次のページが無い場合は黒画面を出力します。
5) 送出の途中で DIRECT モードから PRESET モードに切り替えができ、切り替え後の次の操作から PRESET 操作になります。

PRESET 選択の場合

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。
3) 赤色点灯していて、既にON AIR出力されているファイル番号ボタンを選択してもNEXT出力に読み出しはできます。ボタンの点灯は赤色点灯のままです。
4) CHG/EXECボタンが押されますとNEXT 出力に読み出されているファイルが ON AIR にチェンジされ出力されます。
5) 送出の途中で PRESET モードから DIRECT モードに切り替えができ、切り替え後の次の操作から DIRECT 操作になります。

PRESET＋BLACK 選択の場合

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) 赤色点灯していて、既に ON AIR 出力されている FILE 番号ボタンを選択しても NEXT 出力に読み出しはできます。ボタンの点灯は赤色点灯のままです。
4) CHG/EXEC ボタンが押されたときに既に ON AIR 出力されているファイルが消え黒味が挿入されます。この時、赤色点灯ボタンは消灯します。
5) 次に CHG/EXEC ボタンが押されますと既に NEXT 出力に読み出されているファイルが ON AIR にチェンジされ出力されます。
6) 送出の途中で PRESET モードから DIRECT モードに切り替えができ、切り替え後の次の操作から DIRECT 操作になります。

(3) NEXT読み出し操作

BACK ボタンと SKIP ボタンがあります。
NEXT 出力へのファイル読み出し順を選択するボタンです。
送出時に送出モードが PRESET のときのみ選択できます。

BACK　NEXT 出力されている前の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。
SKIP　NEXT 出力されている後の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。
※ON AIR 出力されているファイル番号もスキップしないでファイル番号を NEXT に読み出します。

BACK 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) BACK ボタンを押します。
   前のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅が前に移動します。
4) メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PROG SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の先頭にあるとき
   BACK ボタンの入力で、前のページの最終ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

   メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PAGE SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の先頭にあるとき 5) の動作をします。
5) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み先頭ファイル番号にあるとき
   BACK ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。
   再度、BACK ボタンを入力するとエラー表示します。

SKIP 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) SKIP ボタンを押します。
4) 次のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅も次に移動します。
5) [CONF]→[PANEL SEND]→[PROG SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の最終にあるとき
   SKIP ボタンの入力で、次のページの最初ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

   メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PAGE SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の最終にあるとき 6) の動作をします。
6) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み最終ファイル番号にあるとき
   SKIP ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。
   再度、SKIP ボタンを入力するとエラー表示します。

(4) 送出ポジション移動操作

H.POSI、V.POSI ボタンがあります。
NEXT に読み出されているファイルのポジションを一時的に
変更する時に使います。移動は 2 ドット、2 ライン単位です。

H.POSI 操作(水平方向)

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) H.POSI ボタンを押し橙色点灯にします。
4) NEXT 出力を見ながらツマミを回し位置を確認します。
5) 位置が OK になりましたら H.POSI ボタンを押し緑色点灯にします。

V.POSI 操作(垂直方向)

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) V.POSI ボタンを押し橙色点灯にします。
4) NEXT 出力を見ながらツマミを回し位置を確認します。
5) 位置が OK になりましたら V.POSI ボタンを押し緑色点灯にします。

(5) TAKE 操作

スーパーインポーズモードのときにのみ行える操作です。
スーパーインポーズモードにはメニューから設定できます。

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。

3) CHG/EXEC ボタンを押すと NEXT 出力に読み出されているファイルがライン信号にスーパーされます。
このとき CONFIRM ボタンは赤色点灯になっています。
4) CONFIRM ボタンを押すとスーパーがオフになり CONFIRM ボタンが緑色点灯になります。
5) 再び CONFIRM ボタンを押すとスーパーがオンになり CONFIRM ボタンが赤色点灯になります。

3-3-2. 編集操作

1) EDIT ボタンを押して、EDIT ボタンを橙色点灯にします。
EDIT ボタンが橙色点灯時に登録・編集操作が行えます。
電源起動時には EDIT ボタンは緑色点灯しています。
2) COPY、DEL、MOVE、DEL INHI、WRITE、H.POSI、V.POSI ボタンが緑色点灯になりメニューON/OFF ボタンが橙色点灯しメニュー表示されます。
ページ、ファイル番号は送出時のまま表示されています。
オーディオファイルのリピート再生及びテストパターンの読み込みは、送出操作では実行できません。
3. メニュー操作で実行して下さい。

(1) 登録操作

ファイルの登録は編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。
※ 本体正面の LCD にスルー、フリーズの映像はサムネイル表示されません。

1) WRITE ボタンを押してください。送出時表示されていた赤点灯点滅表示が緑点灯に変わります。
WRITE、FILL、KEY ボタンが緑色から橙色に変わります。
NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されます。
2) 記録する素材がキー付きで無い場合は KEY ボタンが緑色に点灯、キー付きの場合は橙色に点灯します。キーの有り無しは KEY ボタンを押すことで切り替えられます。
またフィルもキーと同様の操作ができます。
フィル、キー共に OFF にはできません。
3) PAGEボタン列が緑色または橙色に点灯し、PROGRAMの内容を表示します。
選択されているドライブに登録ファイルが有る場合はボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
4) PAGEボタン列から登録したいページを1つ選択します。
選択したボタンが赤色点灯になります。
5) FILE番号列が緑色または橙色点灯し、ページの内容を表示します。
選択されているドライブに登録ファイルが有る場合はボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
6) FILE番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。
複数のファイル番号の選択が可能です。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。同じボタンを

再度押すことで選択の解除ができます。

7) ファイル番号を確認し、CONFIRMボタンを一度押します。
選択ボタンが点滅になりCONFIRMボタンが赤色点灯します。
入力画像がNEXT出力にフリーズされます。

8) CHG/EXECボタンを押します。
CHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
CHG/EXECボタンを押さずCONFIRMボタンを押した場合は点滅が点灯に変わり再度、ページ、ファイル番号の入力になります。

9) 終了(ファイルの記録終了)でパネルのブザーがピッと鳴ります。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

(2) 挿入登録操作

ファイルの挿入登録は編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。
挿入登録は、登録を完了している連続ファイルの途中に1枚追加する場合の編集操作です。
選んだファイル番号以降の連続ファイルを後ろへ順番にずらし、空いた番号に新しいファイルを追加登録するモードで、追加前にファイル移動の操作をする必要が無く、誤って必要なファイルに上書きする恐れも無くファイルを追加挿入できます。

※ 挿入登録はページ内でのファイル追加で、ページをまたがっての挿入やファイルの複数指定はできません。

※ 本体正面の LCD にスルー、フリーズの映像はサムネイル表示されません。

1) WRITEボタンを押します。
WRITE、FILL、KEY ボタンが緑色から橙色に変わります。
NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されます。
INSERT ボタンを押します。
INSERT ボタンが緑色から橙色に変わります。

2) 記録する素材がキー付きで無い場合は KEY ボタンが緑色に点灯、キー付きの場合は橙色に点灯します。キーの有り無しは KEY ボタンを押すことで切り替えられます。
またフィルもキーと同様の操作ができます。
フィル、キー共に OFF にはできません。

3) PAGEボタン列が緑色または橙色に点灯し、PROGRAMの内容を表示します。
選択しているドライブにファイルが登録(記録)されているボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。

4) PAGEボタン列から登録したいページを1つ選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。

5) FILE番号列が緑色または橙色点灯し、ページの内容を表示します。
選択しているドライブに登録されているファイル番号ボタンが点灯します。
登録ファイル番号が無い場合は点灯しません。

6) FILE番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。
複数のファイル番号の選択は挿入登録ではできません。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。

7) ファイル番号を確認し、CONFIRMボタンを一度押します。
選択ボタンが点滅になりCONFIRMボタンが赤色点灯します。
入力画像がNEXT出力にフリーズされます。

8) CHG/EXECボタンを押します。
CHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを押した場合は点滅が点灯に変わり再度、PAGE、FILE番号の入力になります。

9) 登録終了(ファイルの記録終了)でパネルのブザーがピッと鳴ります。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

(3) 連続登録操作

ファイルの連続登録は編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。
連続登録は、登録を1動作で完了します。
登録が完了しているファイル番号も確認メッセージを出さずに登録します。

※ 削除が禁止されているファイル番号に登録しようとするとエラーになります。

※ 本体正面の LCD にスルー、フリーズの映像はサムネイル表示されません。

1) WRITEボタンを押します。
WRITE、FILL、KEY ボタンが緑色から橙色に変わります。
NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されます。
AUTO WRITE ボタンを 2 秒間押します。
AUTO WRITE ボタンが緑色から橙色に変わります。

2) 記録する素材がキー付きで無い場合は KEY ボタンが緑色に点灯、キー付きの場合は橙色に点灯します。キーの有り無しは KEY ボタンを押すことで切り替えられます。
またフィルもキーと同様の操作ができます。
フィル、キー共に OFF にはできません。

3) PAGEボタン列が緑色または橙色に点灯し、PROGRAMの内容を表示します。
選択しているドライブに登録(記録)されているFILE番号ボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。

4) PAGEボタン列から登録したいページを1つ選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。

5) FILE番号列が緑色または橙色点灯し、ページの内容を表示します。
選択しているドライブに登録されているFILE番号ボタンが点灯します。
登録ファイル番号が無い場合は点灯しません。

6) FILE番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択と同時に入力画像がNEXT出力にフリーズされ登録が実行されます。
登録中は、選択したファイル番号が赤色点滅、CONFIRMボタンが赤色点灯しNEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。

7) ファイル登録終了しますと選択したファイル番号が緑色点滅、CONFIRMボタンが消灯します。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

8) 次の登録したいファイル番号を選択しますと連続登録します。
CHG/EXECボタンを押すことでPAGE内の空ファイル番号に登録します。

(4) コピー操作

ファイルのコピーは編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。

1) COPYボタンを押します。
COPYボタンが橙色に点灯します。

2) コピー元のDRIVE、PROGRAM番号、PAGE番号、FILE番号の順にファイルを指定します。
PAGEのみの場合は一括コピー元となります。
DRIVEのみ、PROGRAMのみの一括コピーはできません。
緑色点灯しているボタンのみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
コピー元の指定順にコピー先にコピーします。
消灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

3) CONFIRMボタンを押すとコピー元ボタンが赤色点滅になります。

4) コピー先のDRIVE、PROGRAM、PAGE、FILE番号を指定します。
PAGEのみの場合は一括コピー先になります。
既に削除禁止されているFILE番号は橙色点灯しています。
既に登録されているFILE番号は緑色点灯しています。
消灯または緑色点灯しているボタンのみが選択可能で選択すると赤色点灯になります。
一括コピーの複数選択は不可です。また一括の場合にコピー先の中に削除禁止ファイルが1枚でもある場合はエラー表示します。
ファイル番号だけ入力された場合は削除禁止ファイルを避けてコピーします。
橙色点灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

5) CONFIRMボタンを押すとコピー先ボタンも赤色点滅になります。

6) CHG/EXECボタンを押すとコピーされます。
コピー中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴ります。FILE番号が緑色または橙色に点灯します。

7) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを押した場合は、コピー先の選択に戻ります

(5) 移動操作

ファイルの移動は編集モードで行います。

EDITボタンが点灯時に操作できます。

1) MOVEボタンを押します。
   MOVEボタンが橙色に点灯します。
2) 移動元のDRIVE、PROGRAM、PAGE、FILE番号の順にファイルを指定します。
   PAGEのみの場合は一括移動元となります。
   DRIVEのみ、PROGRAMのみの一括移動はできません。
   緑色点灯しているボタンのみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
   FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
   移動元の指定順に移動先に移動します。
   消灯ボタンが押された場合はエラー表示します。
3) CONFIRMボタンを押すと移動元ボタンが赤色点滅になります。
4) 移動先のDRIVE、PROGRAM、PAGE、FILE番号を指定します。
   PAGEのみの場合は一括移動先になります。
   既に削除禁止されているFILE番号は橙色点灯しています。
   既に登録されているFILE番号は緑色点灯しています。
   消灯または緑色点灯しているボタンのみが選択可能で選択で赤色点灯になります。
   一括移動の複数選択は不可です。また一括の場合に移動先の中に削除禁止ファイルが1枚でもある場合はエラー表示します。
   FILE番号だけ入力された場合は削除禁止ファイルを避けて移動します。
   橙色点灯ボタンが押された場合はエラー表示します。
5) CONFIRMボタンを押すと移動先ボタンも赤色点滅になります。
6) CHG/EXECボタンを押すと移動されます。
   移動中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴ります。FILE番号が緑色または橙色に点灯します。
7) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを押した場合は、移動先の選択に戻ります。

(6) 入れ替え操作

ファイルの入れ替えは編集モードで行います。

EDITボタンが点灯時に操作できます。

1) 前項の移動モードが選ばれているときに、もう一度MOVEボタンを押します。
   MOVEボタンが連続点灯から橙色点滅になり、入れ替えモードになります。
2) PROGRAM、PAGE、FILE番号ボタン順に入れ替えファイルを選びます。
   既に選ばれている場合は途中からの指定選択も可能です。
   選択したボタンが赤色点灯します。
   FILE番号ボタンの緑色点灯から選べます。
   複数ファイルの選択と未登録ファイルの選択はできません。

3) CONFIRMボタンを押すと入れ替え元ボタンが赤色点滅になります。

4) 入れ替え先のPROGRAM、PAGE、FILE番号を指定してください。
既に選ばれている場合は途中からの指定選択も可能です。
選択したボタンが赤色点灯します。
FILE番号ボタンは緑色点灯から選べます。
複数ファイルの選択と未登録ファイルの選択はできません。

5) CONFIRMボタンを押すと入れ替え先ボタンも赤色点滅になります。

6) CHG/EXECボタンを押すと入れ替えます。
入れ替え中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴ります。FILE番号が緑色または橙色に点灯します。

7) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを押した場合は、入れ替え先の選択に戻ります。

(7) 削除操作

不要ファイルの削除は編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。

1) DELボタンを押します。
DELボタンが橙色に点灯します。

2) 削除ファイルをPROGRAM、PAGE、FILE番号の順に指定します。
PROGRAMのみ、PAGEのみの場合は一括削除になります。
一括削除の複数選択は不可、FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。
緑色のみが選択可能で、選択すると赤色点灯します。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。 消灯、橙色ボタンが押された場合はエラー表示します。

3) CONFIRMボタンを押します。
削除するPROGRAM、PAGE、FILE番号が赤色点滅になります。

4) CHG/EXECボタンを押します。
削除中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、FILE番号の緑色が消灯となり、削除ファイルが削除されます。

5) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除ファイルの選択に戻ります。

(8) 詰め削除操作

ファイルの詰め削除は編集モードで行います。

EDITボタンが点灯時に操作できます。

詰め削除は、登録を完了している連続ファイルの途中を1枚削除する場合の編集操作です。

選んだファイルを削除し、それより後ろの連続ファイルを順番に前に詰めるモードです。

誤って挿入登録した場合のやり直しなど、削除後にファイル移動のコピー操作をする必要が無く、ファイルの削除と空きの詰めを同時にできます。

※詰め削除はページ内でのファイル削除で、ページをまたがっての削除やファイルの複数指定はできません。

1) 前項の削除モードが選ばれているときに、もう一度DELボタンを押してください。
   DELボタンが連続点灯から橙色点滅になり、詰め削除モードになります。
2) PROGRAM、PAGE、FILE番号ボタン順に削除ファイルを選びます。
   既に選ばれている場合は途中からの指定選択も可能です。
   選択したボタンが赤色点灯します。
   FILE番号ボタンの緑色点灯から選べます。
   複数ファイルの選択と削除禁止ファイル、未登録ファイルの選択はできません。
3) 削除先ファイル番号を確認し、CONFIRMボタンを一度押します。
   削除するPROGRAM、PAGE、FILE番号が赤色点滅になります。
4) CHG/EXECボタンを押します。
   削除中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、選択ファイルが削除され、ボタン表示が削除ファイル番号以降の連続ファイルを前へ順番にずらした登録表示になります。
5) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除解除になります。
   赤色点滅が赤色点灯に戻り、再度の詰め削除ファイル入力になります。
6) 詰め削除モード時(DELボタンが点滅している場合)にDELボタンを押すと編集モードへ戻ります。

(9) 削除禁止操作

登録ファイルの削除禁止の登録、解除は編集モードで行います。

EDITボタンが点灯時に操作できます。

1) DEL INHIボタンを押します。
   DEL INHIボタンが橙色点灯になります。
2) 削除禁止または解除ファイルをPROGRAM、PAGE、FILE番号の順に指定します。
   PAGEのみの場合はページ内の一括削除禁止の登録又は解除の登録になり、全ファイルが同じで無いときはエラー処理します。
   PROGRAMの一括削除禁止の登録又は解除の登録はできません。
   緑色、橙色のみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
   FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
3) CONFIRMボタンを押します。
   削除禁止を登録又は解除を登録するPROGRAM、PAGE、FILE番号が赤色点滅になります。

4) CHG/EXECボタンを押すと削除禁止の登録又は解除の登録を実行します。
実行処理中はCHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「ENA/DIS CHANGING」を表示します。
終了でブザーがピッと鳴り、NEXT出力のメニューにCHANGE LEDを表示します。
削除禁止されたボタンが橙色点灯になります。
削除禁止解除されたボタンが緑色点灯になります。

5) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除禁止の登録、解除を中止します。
赤色点滅が点灯に変わり元の橙色、緑色に戻り再度、PROGRAM、PAGE、FILE番号の入力になります。

(10) フォーマット操作

フォーマットは編集モードの削除で行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。
※FORMAT を実行すると選択したドライブの内容は全て失われます。

1) DELボタンを押します。
DELボタンが橙色点灯になります。

2) WRITEボタンを押しながらDELボタンを長押しします。
DELボタンが赤色点灯になります。

3) SSDボタン(またはCFボタン)を押してフォーマットするドライブを選びます。

4) CONFIRMボタンを押します。
DELボタンが赤色点滅になります。
他のボタンを押すと選択が取り消され、CONFIRMボタンは消灯します。

5) CHG/EXECボタンを押します。
実行処理中はCHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「FORMATING」を表示します。
終了でブザーがピッと鳴り、NEXT出力のメニューに「FORMAT END」を表示します。

6) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、DELボタンが点滅から点灯に変わりドライブの選択に戻ります。

(11) 編集ポジション操作

ファイルのフィル、キーポジションの設定は編集モードで行います。
EDITボタンが点灯時に操作できます。
移動は2ドット、2ライン単位です。

「H.POSI」操作(水平方向)

1) H.POSIボタンを押します。
H.POSIボタンが橙色点灯になります。

2) 水平方向表示位置を行うFILE番号をPAGE、FILE番号の順にファイルを指定します。
PAGEのみの場合は一括移動となります。
PROGRAMのみの一括移動はできません。
緑色点灯しているボタンのみが選択可能で選択で赤色点灯します。
FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。
消灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

3) 選択されたFILE番号がNEXT出力に読み出されます。
複数選択時は、先頭のFILE番号が読み出されます。
NEXT出力を見ながら表示位置をツマミで動かします。
移動量は、パネルのLED表示器とNEXT出力のメニューに表示されます。

4) 表示位置が確定したらCONFIRMボタンを押します。
選択されているFILE番号ボタンが赤色点灯から赤いと点滅に変わります。

5) CHG/EXECボタンを押します。
登録中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、ポジション位置がファイルに登録されます。

6) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、ポジション位置のファイル登録は解除になります。表示位置の調整ができる状態に戻ります。

「V.POSI」操作（垂直方向）

1) V.POSIボタンを押します。
V.POSIボタンが橙色点灯になります。

2) 垂直方向表示位置を行うFILE番号をPAGE、FILE番号の順にファイルを指定します。
PAGEのみの場合は一括移動となります。
PROGRAMのみの一括移動はできません。
緑色点灯しているボタンのみが選択可能で選択で赤色点灯します。
FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。
消灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

3) 選択されたFILE番号がNEXT出力に読み出されます。複数選択時は、先頭のFILE番号が読み出されます。NEXT出力を見ながら表示位置をツマミで動かします。
移動量は、パネルのLED表示器とNEXT出力のメニューに表示されます。

4) 表示位置が確定したらCONFIRMボタンを押します。
選択されているFILE番号ボタンが赤色点灯から赤いと点滅に変わります。

5) CHG/EXECボタンを押します。
登録中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、ポジション位置がファイルに登録されます。

6) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、ポジション位置のファイル登録は解除になります。表示位置の調整ができる状態に戻ります。

3-3-3. メニュー操作

(1) メニューON/OFF操作

CHR ON/OFFボタンを押しボタンを橙色点灯させNEXT出力のメニューを表示します。

再度 CHR ON/OFF ボタンを押しボタンを消灯しメニュー表示を消します。

(2) システムメニュー操作

システムメニューは、CF-92HD/SD、Bの全ての操作ができるようになっています。

基本操作

1) ファイルコント MENU ボタンを 1 秒間押しますとボタンが橙色点灯し、システム設定メニューに入ります。
2) ツマミを左右に回して設定メニューの項目を選択します。設定メニューをキャンセルする場合、MENU、BACK ボタンを押します。
3) CHG/EXEC ボタンを押して選択した項目を決定します。この時選択した項目によって更に下の階層メニューに移ります。

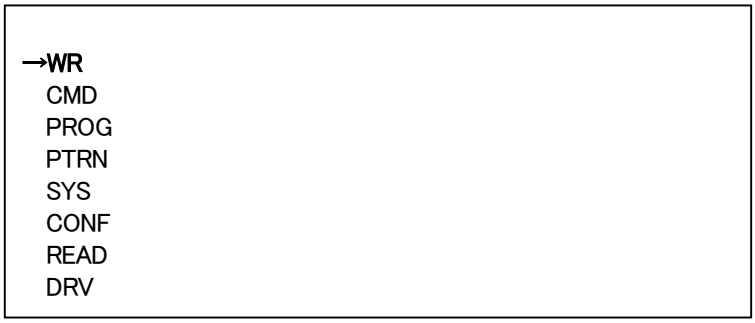
   階層下のメニューに入った場合、MENU ボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。
4) 2)、3)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。

   項目を選択した後、その設定を決定するには必ず CHG/EXEC ボタンを押してください。

操作例

525i(SDTV)設定を 1080i/59.94(HDTV)設定に変更します。

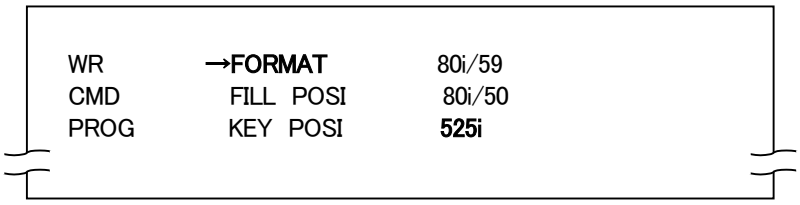
1) MENU ボタンを1秒間押しステム設定モードに入ります。NEXT 出力にシステムメニューが表示されます。



図中の太い文字はNEXT画面上で白文字表示され現在選択されていることを意味します。選択されていない項目はグレーの文字で表示されます。

ツマミを回すと項目が替わり、CHG/EXECボタンを押すと決定、または下の階層メニューへ移ります。キャンセル、または上の階層メニューへ移る場合はMENUボタンを押します。

2) ツマミを回して「SYS」を選択し CHG/EXEC ボタンを押します。メニューが切り替わり「→」が一つ下の階層へ移動します。



3) ツマミを回して「FORMAT」を選択し CHG/EXEC ボタンを押します。メニューが切り替わり「→」が以前設定されていたパラメーター部へ移動します。
4) ツマミを回して「1080i/59.94」を選択します。
5) CHG/EXEC ボタンを押してパラメーターを決定します。設定が変更され一つ上の階層に戻ります。
6) MENU ボタンを押しシステム設定モードから抜け送出モードへ戻ります。

3-4. ファイル番号の管理

ファイルコントではFILE番号を4桁の数値で管理します。千の桁はPROGRAM番号、百の桁はPAGE番号、十と一の桁はFILE番号を表します。なお、PROGRAM「10」に対応する管理FILE番号は「0」、PAGE「10」に対応する管理FILE番号は「0」になります。

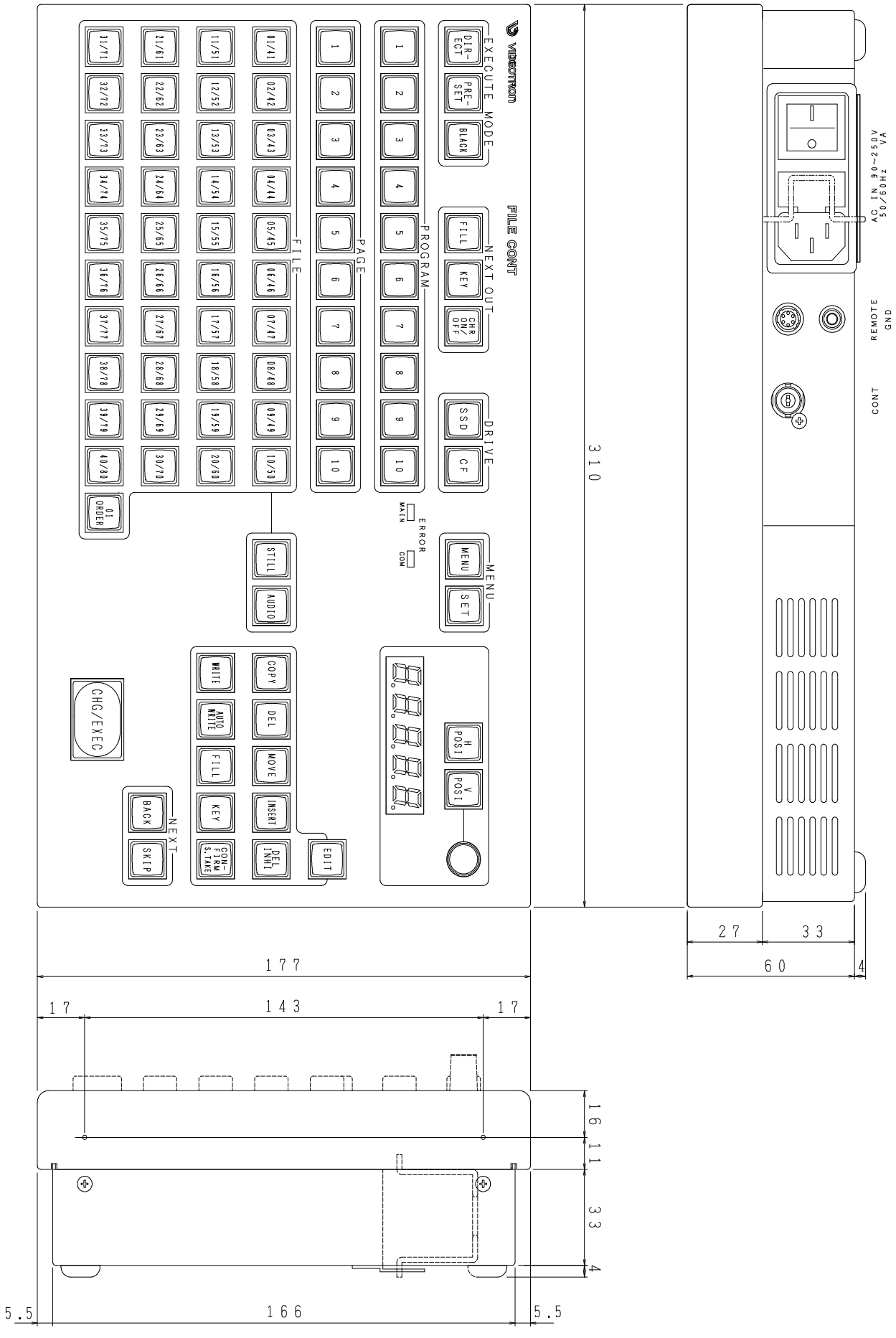
※以下の数値以外のFILE番号は、CF-92HD/SD、Bのソリッドステートドライブ, CFカードに記録保存されていてもFILEファイルコント パネル面の操作で読み出して利用することができませんのでご注意ください。

管理FILE番号	PROGRAM、PAGEとFILE番号の関係
1101～1180	PROGRAM1、PAGE1のファイル番号
1201～1280	PROGRAM1、PAGE2のファイル番号
1301～1380	PROGRAM1、PAGE3のファイル番号
｜	｜
1901～1980	PROGRAM1、PAGE9のファイル番号
1001～1080	PROGRAM1、PAGE10のファイル番号
2101～2180	PROGRAM2、PAGE1のファイル番号
｜	｜
2001～2080	PROGRAM2、PAGE10のファイル番号
3101～3180	PROGRAM3、PAGE1のファイル番号
｜	｜
3001～3080	PROGRAM3、PAGE10のファイル番号
｜	｜
｜	｜
9101～9180	PROGRAM9、PAGE1のファイル番号
｜	｜
9001～9080	PROGRAM9、PAGE10のファイル番号
0101～0180	PROGRAM10、PAGE1のファイル番号
｜	｜
0001～0080	PROGRAM10、PAGE10のファイル番号

3-5. 仕様

コントロール	BNC 1系統
電源	AC90～250V 50/60Hz 2A
外形寸法	310×177×60
質量	約2.2kg
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（ただし結露なき事）

3-6. 外形寸法


VIDEOTRON
FILE CONT
EXECUTE MODE
DIRECT
PRESET
BLACK
NEXT OUT
FILL
KEY
CHR ON/OFF
DRIVE
SSD
CF
PROGRAM
PAGE
FILE
ERROR
MAIN
COM
MENU
SET
STILL
AUDIO
WRITE
AUTO WRITE
FILL
KEY
CONFIRM S.TAKE
COPY
DEL
MOVE
INSERT
DEL LINE
EDIT
CHG/EXEC
NEXT
BACK
SKIP
H POSI
V POSI
01 ORDER
AC IN 90~250V 50/60Hz VA
REMOTE
GND
CONT
310
177
17
143
17
27
33
60
4
16
11
33
4
5.5
166
5.5

16. CF-90-02 1U ハーフダイレクトリモコン（オプション）

1. 概要

CF-92HD/SD、B 背面の PANEL 端子と接続するファイル 40 枚までの小型操作パネルです。

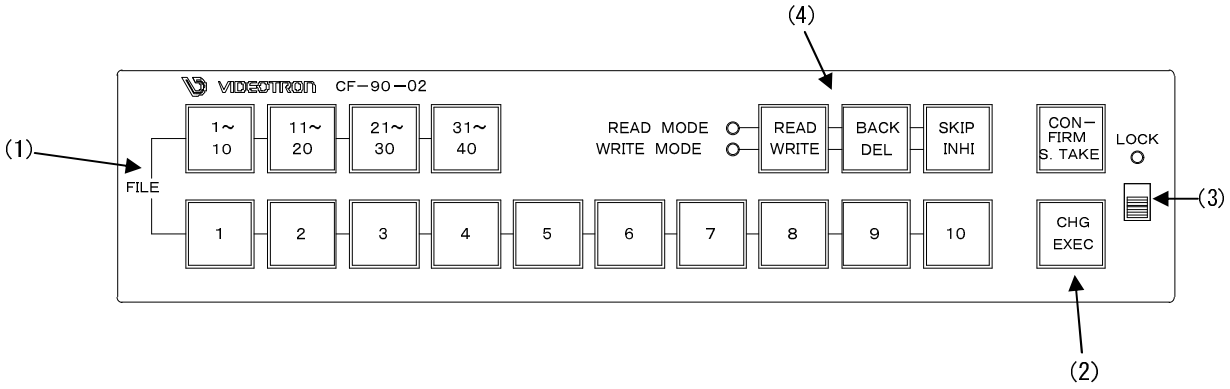
離れたところから CF-92HD/SD、B を簡単に操作できます。

2. 接続

1U ハーフダイレクトリモコン背面の CONT 端子と CF-92HD/SD、B 背面の PANEL 端子を同軸ケーブルで接続します。

3. 各部の名称と働き

3-1. CF-90-02 1U ハーフダイレクトリモコン前面



(1) FILE 番号ボタン

1～40 のファイル番号を選択するボタンです。

ファイル番号は 01～10 が赤色点灯時に 1～10 のファイル番号に相対します。

ファイル番号は 11～20 が赤色点灯時に 11～20 のファイル番号に相対します。

ファイル番号は 21～30 が赤色点灯時に 21～30 のファイル番号に相対します。

ファイル番号は 31～40 が赤色点灯時に 31～40 のファイル番号に相対します。

1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE 番号の階層順に選択します。

登録ファイルの有無を緑色点灯で表示します。

(2) CHG/EXEC ボタン

送出時は、NEXT に準備されているファイル出力を ON AIR 出力に切り替え、次の登録済みファイル番号を NEXT に準備するチェンジボタンです。

編集時は CHG/EXEC ボタンを押すことで登録、コピー、削除等の処理を実行します。

実行中はボタンが点滅しパネル面で処理中が確認できます。

(3) LOCK スイッチ

LOCK スイッチを上にスライドさせると、各ボタンの操作が無効になります。

(4) READ/WRITE ボタン

READ/WRITE ボタンはファイルの登録（記録）、削除、削除禁止の設定を行う WRITE MODE 設定ボタンです。

READ MODE ランプが緑色点灯は送出モードです。

WRITE MODE ランプが黄色点灯はファイル編集モードです。

READ/WRITE ボタン橙色点灯はファイルの登録を行うモードです。

READ MODE ランプが緑色点灯時は、以下の設定が可能です。

BACK　　NEXT 出力されている前の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

SKIP　　NEXT 出力されている後の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

※ON AIR 出力されているファイル番号はスキップしないで次の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

S.TAKE ボタン　　スーパーインポーズモードのときにスーパーのオン/オフを行います。

WRITE MODE ランプが黄色点灯はファイル編集モードです。

READ/WRITE ボタン　橙色点灯はファイルの登録を行うモードです。

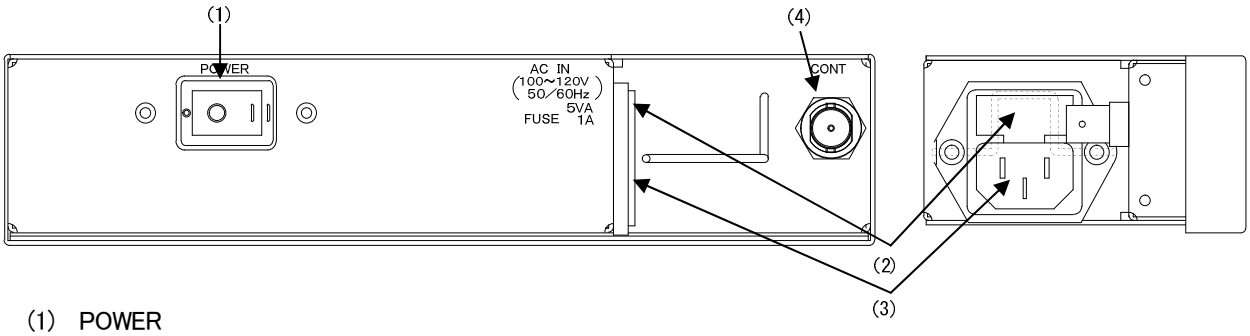
DEL ボタン　　ファイル編集の削除モード、詰め削除モードを設定するボタンです。

INHI ボタン　　ファイル編集の削除禁止を設定するボタンです。

CONFIRM ボタン　　登録、削除、削除禁止実行前の確認ボタンです。
登録時はフィルやキー信号入力のフリーズタイミングになります。

READ/WRITE ボタン　ファイル編集モードから送出モードに戻るボタンです。

3-2. CF-90-02 1U ハーフダイレクトリモコン背面



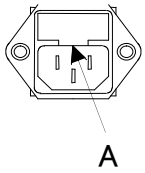
(1) POWER

1U ハーフダイレクトリモコンの電源スイッチです。

(2) FUSE

ヒューズホルダーです。

ヒューズの交換方法



マイナスドライバー等で、下からヒューズホルダーの爪(A 部)に引っかけ、
手前に引き出してヒューズを交換してください。その際必ず指定の 1A のヒューズを
使用してください。

※指定以外のヒューズを使用すると、機器の破損・発火の可能性があります。
　交換はAC INの電源ケーブルを抜いてから行ってください。

(3) AC IN

三端子の電源ケーブルを接続します。

(4) CONT

通信用同軸ケーブルで本体と接続します。

本体との通信用同軸ケーブルは 75Ω／3C2V ケーブルで最大 100m まで伸ばすことができます。

3-3. 基本操作

3-3-1. 送出操作

オーディオファイルのリピート再生及びテストパターンの読み込みは、送出操作では実行できません。

本体メニュー操作で実行して下さい。

(1) 送出操作

送出として使用する場合は以下の手順で行います。

1) WRITE MODEランプが黄色点灯している時は、READ/WRITEボタンを押して、READ MODEランプが緑色点灯させ「送出モード」にします。 電源起動時には送出モードです。
2) 送出モードのPRESET、DIRECT、BLACK、読み出し先ドライブのSSD、CFの選択を本体メニュー操作で選択します。
   (「送出モード」を参照してください)
3) FILE 1～10:11～20:21～30:31～40ボタン列の緑点灯ボタンから1つを選択します。
   選択したボタンが赤色点灯になります。
4) FILE 1～10番号列が緑色点灯します。
   選択しているドライブに登録されているファイル番号ボタンが点灯します。
   登録されていないファイル番号は点灯しません。
5) ファイル番号ボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
   選択したボタンが赤色点灯または赤色点滅になります。
6) 赤色点灯のファイル番号がON AIR出力に、赤色点滅のファイル番号がNEXT出力に読み出されます。
7) CHG/EXECボタンを押します。
   NEXT出力がON AIR出力に切り替わり、次の登録済みファイル番号がNEXT出力に読み出されます。
   ※1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE 番号は階層選択になっています。
   1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE 番号の階層順に選択します。

(2) NEXT読み出し操作

BACK ボタンと SKIP ボタンがあります。

NEXT 出力へのファイル読み出し順を選択するボタンです。

送出時に送出モードが PRESET のときのみ選択できます。

BACK　NEXT 出力されている前の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

SKIP　NEXT 出力されている後の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

※ON AIR 出力されているファイル番号もスキップしないでファイル番号を NEXT に読み出します。

BACK 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) BACK ボタンを押します。
   前のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅が前に移動します。

4) ボタンの赤色点滅が登録済みファイル番号の先頭にあるとき

BACK ボタンの入力で、前のページの最終ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

5) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み先頭ファイル番号にあるとき

BACK ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。

再度、BACK ボタンを入力するとエラー表示します。

SKIP 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) SKIP ボタンを押します。
4) 次のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅も次に移動します。
5) ボタンの赤色点滅が登録済みファイル番号の最終にあるとき

SKIP ボタンの入力で、次のページの最初ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

6) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み最終ファイル番号にあるとき

SKIP ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。

再度、SKIP ボタンを入力するとエラー表示します。

(3) TAKE 操作

スーパーインポーズモードのときにのみ行える操作です。

スーパーインポーズモードにはメニューから設定できます。

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。
3) CHG/EXEC ボタンを押すと NEXT 出力に読み出されているファイルがライン信号にスーパー

されます。

このとき CONFIRM ボタンは赤色点灯になっています。

4) CONFIRM ボタンを押すとスーパーがオフになり CONFIRM ボタンが緑色点灯になります。
5) 再び CONFIRM ボタンを押すとスーパーがオンになり CONFIRM ボタンが赤色点灯になります。

3-3-2. 編集操作

1) READ/WRITE ボタンを押して、READ/WRITE ボタンを橙色点灯、WRITE MODE ランプが黄色点灯にします。
WRITE MODE ランプが黄色点灯時に登録・編集操作が行えます。
※ READ/WRITE ボタンを押した時点で登録モードになります。
電源起動時には READ MODE ランプが緑色点灯しています。
DEL、INHI ボタンが緑色点灯になりメニュー表示されます。
ファイル番号は全て消灯します。

(1) 登録操作

READ/WRITE ボタンを押して登録モードで行います。

1) NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されています。
2) PAGE ボタン列から登録したいページを 1 つ選択します。色にします。
キー付きで記録する場合は橙色点灯のままで進めます。
また素材にフィル付きで無い場合は FILL ボタンを押して OFF の緑色にします。
フィル、キー共に OFF にはできません。
3) 1～10:11～20:21～30:31～40ボタン列を選択します。選択されたボタンが赤色に点灯します。
選択されているドライブに登録ファイルが有る場合はボタンが緑点灯または、橙色点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
4) FILE1～10番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。
複数のファイル番号の選択が可能です。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。同じボタンを
再度押すことで選択の解除ができます。
5) ファイル番号を確認し、CONFIRMボタンを一度押します。
選択ボタンが点滅になりCONFIRMボタンが赤色点灯します。
入力画像がNEXT出力にフリーズされます。
6) CHG/EXECボタンを押します。
CHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
CHG/EXECボタンを押さずCONFIRMボタンを押した場合は点滅が点灯に変わり再度、ページ、ファイル
番号の入力になります。
7) 終了(ファイルの記録終了)でパネルのブザーがピッと鳴ります。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

(2) 削除操作

不要ファイルの削除は編集モードで行います。

WRITE MODE ランプが黄色点灯時に登録・編集操作が行えます。

1) DELボタンを押します。
   DELボタンが橙色に点灯になりREAD/WRITEボタンが赤色に点灯します。
2) 削除ファイルを1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE番号の順に指定します。
   FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。
   緑色のみが選択可能で、選択すると赤色点灯します。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。 消灯、橙色ボタンが押された場合はエラー表示します。
   また、一括削除を行うときはファイルの1～10:11～20:21～30:31～40 のどれかを選択しFILE番号を選択しないときに行われます。
3) CONFIRMボタンを押します。
   削除するPROGRAM、PAGE、FILE番号が赤色点滅になります。
4) CHG/EXECボタンを押します。
   削除中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、FILE番号の緑色が消灯となり、削除ファイルが削除されます。
5) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除解除になります。
   赤色が緑色に戻り、再度の削除ファイル入力になります。

(3) 詰め削除操作

ファイルの詰め削除は編集モードで行います。

WRITE MODE ランプが黄色点灯時に登録・編集操作が行えます。

詰め削除は、登録を完了している連続ファイルの途中を1枚削除する場合の編集操作です。

選んだファイルを削除し、それより後ろの連続ファイルを順番に前に詰めるモードです。

誤って挿入登録した場合のやり直しなど、削除後にファイル移動のコピー操作をする必要が無く、ファイルの削除と空きの詰めを同時にできます。

※詰め削除はページ内でのファイル削除で、ページをまたがっての削除やファイルの複数指定はできません。

1) 前項の削除モードが選ばれているときに、もう一度DELボタンを押してください。
   DELボタンが連続点灯から橙色点滅になり、詰め削除モードになります。
2) 1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE番号ボタン順に削除ファイルを選びます。
   既に選ばれている場合は途中からの指定選択も可能です。
   選択したボタンが赤色点灯します。
   FILE番号ボタンの緑色点灯から選べます。
   複数ファイルの選択と削除禁止ファイル、未登録ファイルの選択はできません。
3) 削除先ファイル番号を確認し、CONFIRMボタンを一度押します。
   削除するPROGRAM、PAGE、FILE番号が赤色点滅になります。

4) CHG/EXECボタンを押します。
削除中はCHG/EXECボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、選択ファイルが削除され、ボタン表示が削除ファイル番号以降の連続ファイルを前へ順番にずらした登録表示になります。

5) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除解除になります。
赤色点滅が赤色点灯に戻り、再度の詰め削除ファイル入力になります。

6) 詰め削除モード時(DELボタンが点滅している場合)にDELボタンを押すと編集モードへ戻ります。

(4) 削除禁止操作

登録ファイルの削除禁止の登録、解除は編集モードで行います。
WRITE MODEランプが黄色点灯時に操作できます。

1) INHIボタンを押します。
INHIボタンが橙色点灯になりREAD/WRITEボタンが赤色に点灯します。

2) 削除禁止または解除ファイルを1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE番号の順に指定します。
1～10:11～20:21～30:31～40のみの場合はページ内の一括削除禁止の登録又は解除の登録になり、全ファイルが同じで無いときはエラー処理します。
緑色、橙色のみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
FILE番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。

3) CONFIRMボタンを押します。
削除禁止を登録又は解除を登録するFILE番号が赤色点滅になります。

4) CHG/EXECボタンを押すと削除禁止の登録又は解除の登録を実行します。
実行処理中はCHG/EXECボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「ENA/DIS CHANGING」を表示します。
終了でブザーがピッと鳴り、NEXT出力のメニューにCHANGE LEDを表示します。
削除禁止されたボタンが橙色点灯になります。
削除禁止解除されたボタンが緑色点灯になります。

7) CHG/EXECボタンを押さずにCONFIRMボタンを再度押した場合は、削除禁止の登録、解除を中止します。
赤色点滅が点灯に変わり元の橙色、緑色に戻り再度、1～10:11～20:21～30:31～40、1～10 FILE番号の入力になります。

3-4. ファイル番号の管理

CF-92HD/SD、BではFILE番号を4桁の数値で管理します。CF-90-02 1Uハーフダイレクトリモコンでは、PROGRAM、PAGE番号はありませのでPROGRAM「10」、PAGE「10」に固定されています。

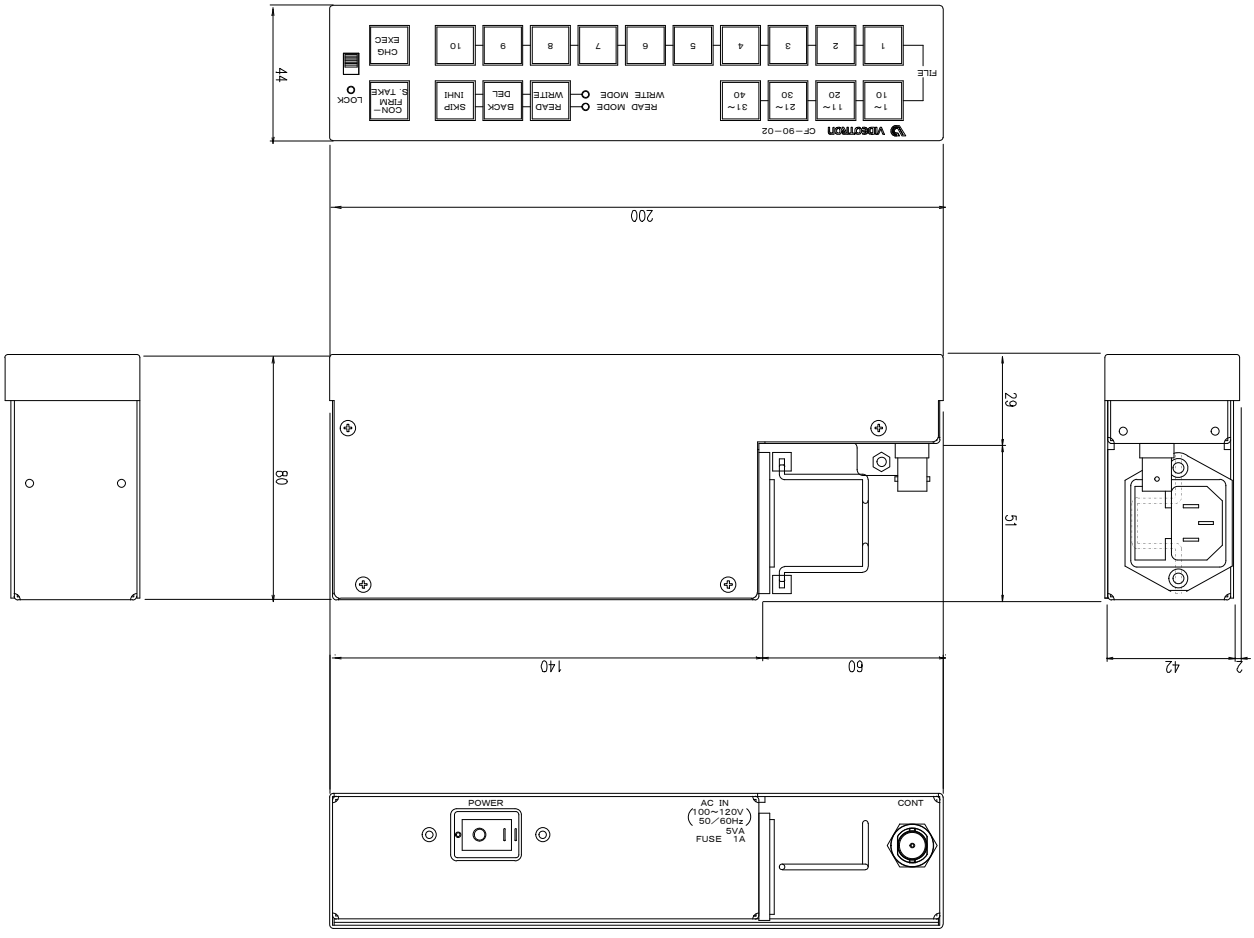
※以下の数値以外のFILE番号は、CF-92HD/SD、Bのソリッドステートドライブ，CFカードに記録保存されていても1Uハーフダイレクトリモコン パネル面の操作で読み出して利用することができませんのでご注意ください。
41～80は、CHG動作の読み出しになります。

管理FILE番号
0001～0080

3-5. 仕様

コントロール	BNC 1系統
電源	AC100～120V 50/60Hz 5VA
外形寸法	200×44×80
質量	約640g
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（ただし結露なき事）

3-6. 外形寸法



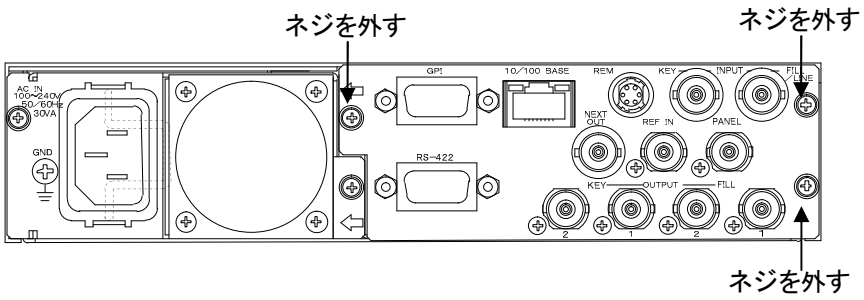
17. CF-90-03 テンキーリモコン

1. 概要

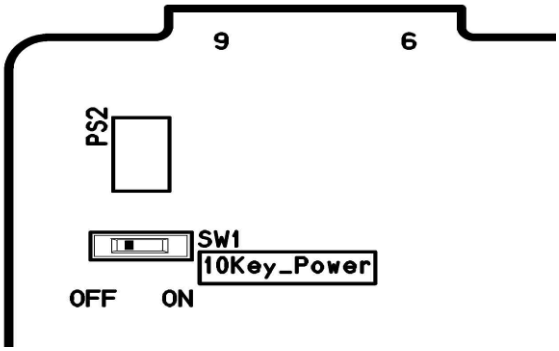
CF-92HD/SD、Bと専用のケーブルで接続するテンキー付きリモートコントローラーです。

2. 接続

(1) CF-92HD/SD、B背面のネジを3箇所外して、背面を手前に引き抜きます。



(2) 引き抜いた背面を裏返してスイッチをONにします。



工場出荷時設定は OFF

(3) 背面をCF-92HD/SD、Bに戻してネジをを3箇所締めます。

(4) テンキーリモコン背面のコネクターとCF-92HD/SD、B背面のRS-422を専用のケーブルで接続します。

(5) RS-422モードをCF-50-02テンキー、CF-90-03テンキーリモコンに設定します。

※詳細について「 3.各部の名称と働き → 2.CF-92HD/SD、B中面 」のCONFIGを参照してください。

3. 機能

以下のモードでテンキー(0～9)入力による番号の直接指定(SET キーによる決定)が出来ます。

・ **ファイルの読み出し**

読み出しドライブ番号、ファイル番号を指定できます。

・ **メニューからのファイルの書き込み**

書き込みドライブ番号、ファイル番号を指定できます。

・ **メニューからのファイルのコピー**

コピー実行時にコピー先ドライブ番号、スタートファイル番号を指定できます。

・ **メニューからのファイルの移動**

移動実行時に移動先ドライブ番号、スタートファイル番号を指定できます。

- **メニューからのファイルの入れ替え**

  入れ替え実行時に入れ替え先ファイル番号を指定できます。

- **メニューからのドライブフォーマット**

  フォーマットするドライブ番号を指定できます。

- **プログラム登録**

  登録するファイル番号を指定できます。

4. 各キーの働き

テンキーリモコンには19個のキーがあります。

(1) テンキー入力が表示されているときのキーの使い方

0 ～ 9 (テンキー)	: 数値の入力に使います。
C キー	: テンキー入力を取り消すときに使います。
↑ BS キー	: バックスペース(入力の1文字削除)に使います。
← / キー	: ドライブの指定に使います(/)。
SET キー	: 入力数値の決定に使います。
⇨ ⇦ CHG キー	: 入力数値の決定に使います(読み出し用)。
↓ → : キー	: 使いません(入力は無視されます)。

(2) テンキー入力が表示されていないときのキーの使い方

0 ～ 9 (テンキー)	: 数値の入力に使います。
↑ BS キー	: CF-92HD/SD、B正面 のSETボタンと同じ働きをします。
↓ キー	: CF-92HD/SD、B正面 のMENUボタンと同じ働きをします。
← / キー	: CF-92HD/SD、B正面 のツマミを左に回したのと同じ働きをします。
→ : キー	: CF-92HD/SD、B正面 のツマミを右に回したのと同じ働きをします。
⇨ キー	: NEXT出力へ次のファイルを読み出します。
⇦ キー	: NEXT出力へ前のファイルを読み出します。
CHG キー	: 現在のNEXT出力をON AIRに移し、NEXT出力に次のファイルを読み出します。
C SET キー	: 使いません(入力は無視されます)。

5. テンキーの入力形式

テンキーの入力形式は次の3通りあります。

Ⅰ. 0/0002　　ドライブ番号0(SSD) のファイル番号2を指定。

Ⅱ. 1/　　ドライブ番号1(CF)を指定

Ⅲ. 0003　　ファイル番号3を指定。

また各数値の前の0は省略できます。

例: 1/0015 = 1/15

0005 = 5

6. モードごとのテンキー入力方法

テンキー入力が表示されているときは、カーソルキーによるモードや数値の変更が出来ません。

あらかじめ実行したいモードを選んでからテンキーの入力を行ってください。

各モードのテンキー入力数値の決定はすべて SET キーです。

・ファイルの読み出し

すべての入力形式を受け付け、ドライブ番号の変更とファイルの読み出しができます。

存在しないファイル番号指定したときは「FILE NOT FOUND」と表示されます。

・メニューからのファイルの書き込み

WRメニュー内での書き込みファイル番号の指定時に入力できます。

すべての入力形式を受け付け、ドライブ番号の変更とファイルの書き込みができます。

・メニューからのファイルのコピー

CMD・COPY・EXEモードでのコピー先の指定時に入力できます。

すべての入力形式を受け付けます。

・メニューからのファイルの移動

CMD・MOVE・EXEモードでの移動先の指定時に入力できます。

すべての入力形式を受け付けます。

・メニューからのファイルの入れ替え

CMD・REPLACE・EXEモードでの入れ替え先の指定時に入力できます。

入力形式Ⅲのみ受け付けます。

・メニューからのドライブフォーマット

CMD・FORMATモードでのドライブ番号の指定時に入力できます。

入力形式Ⅱのみ受け付けます。

・プログラム登録

PROG・ADDモードでのファイル番号の登録時に入力できます。

入力形式Ⅲのみ受け付けます。

7. テンキーリモコンの操作

1) メニュー表示中のときはメニューから抜けて送出モードにしてください。

電源投入時は送出モードです。

2) 入力形式に合わせて数値を入力します。

テンキー入力は最大8文字までで、はみ出した入力は無効になります。

また範囲外の数値も無効になります(ファイル番号が8001以上など)。

3) SET を押して決定すると、NEXT出力にファイルが読み込まれます。

送出モードがDIRECTの場合はON AIR出力にダイレクトに出力され、次のファイルがNEXT出力に読み込まれます。

入力形式に誤りがあると「INPUT ERROR」と画面に表示され、コマンドは実行されません。

4) CHG を押すとNEXT出力がON AIR出力に切り替わり、NEXT出力に次のファイルが読み出されます。

5) ⇨ を押すとNEXT出力に次のファイルが読み出されます。

ON AIR出力は変更されません。

6) ⇦ を押すとNEXT出力に前のファイルが読み出されます。

ON AIR出力は変更されません。

8. テンキーリモコンからのメニュー操作

(1) 基本操作

1) [←/] [↑BS] [↓] [→:] のいずれかを押すとメニューモードになります。

2) [↑BS] [↓] を押してメニュー項目を選択します。メインメニューで [←/] を押すと送出モードに戻ります。

3) [→:] または [SET] を押して選択した項目を決定します。選択した項目によっては更に下の階層メニューに移ります。下の階層メニューにいるときに [←/] を押すと一つ上の階層メニューに戻ります。

4) 2)、3)の操作を繰り返して設定選択の階層まで移動します。

設定選択の階層で項目を選択したら [SET] を押して設定を変更します。

(2) WRメニュー操作

1) メインメニューからWRメニューを選択して、[→:] または [SET] を押します。

2) [↑BS] を押して一つ上の階層に移ります。

(この階層で [←/] を押すとメインメニューに戻ります。)

3) [↑BS] [↓] でWRITEメニューを選択して [→:] または [SET] を押します。

書き込むモードを [↑BS] [↓] で選択して [SET] で決定します。

4) DRVメニューでの書き込み先ドライブの設定とINPUTメニューでの入力信号の設定も 3) と同様の操作で行います。

5) [↑BS] [↓] でFILEメニューを選択して [→:] または [SET] を押して書き込むファイル番号選択中にします。

[←/] [→:] で書き込むファイル番号を選択して [↓] または [SET] を押すと

「WRITE SURE? YES　NO」のメッセージが表示されます。

(既にファイルが存在するときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。)

6) [←/] [→:] でYESを選択して [SET] を押すと「WRITTING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると書き込みは実行されずファイル番号選択に戻ります。)

7) 書き込みが終了すると「WRITE END」と表示されます。

(3) COPYメニュー操作

1) CMDメニューからCOPYメニューを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [← /] [→ :] でSELを選択して [↓] または [SET] を押してコピーするファイルの選択メニューに入ります。

（DRV、SEL、ALL、EXE選択中に [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。）

3) [← /] [↑ BS] [↓] [→ :] でコピーするファイル番号を選択し [SET] を押すと白色強調表示になります。

白色強調表示のファイル番号を再度選択して [SET] を押すと白色強調が解除されます。

ファイルの複数選択ができます。

4) コピーするファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して [↑ BS] を押すと一つ上の階層に戻ります。

このときコピーするファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。

5) EXEを選択して [↓] または [SET] を押します。

6) [← /] [→ :] でコピー先のドライブを選択して [SET] を押して決定します。

次に [← /] [→ :] でコピー先のファイル番号を選択して [SET] を押すと「COPY SURE?」のメッセージが表示されます。

（既にコピー先にファイルが存在しているときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。）

7) [← /] [→ :] でYESを選択して [SET] を押すと「COPYING」のメッセージが表示されます。

（NOを選択するとコピーは実行されずDRV、SEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。）

8) コピーが完了すると「COPY END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(4) MOVEメニュー操作

1) CMDメニューからMOVEメニューを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [← /] [→ :] でSELを選択して [↓] または [SET] を押して移動するファイルの選択メニューに入ります。

（DRV、SEL、ALL、EXE選択中に [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。）

3) [←/] [↑BS] [↓] [→:] で移動するファイル番号を選択し [SET] を押すと白色強調表示に
なります。

白色強調表示のファイル番号を再度選択して [SET] を押すと白色強調が解除されます。

ファイルの複数選択ができます。

4) 移動するファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して [↑BS] を押すと
一つ上の階層に戻ります。

このとき移動するファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。

5) EXEを選択して [↓] または [SET] を押します。

6) [←/] [→:] で移動先のドライブを選択して [SET] を押して決定します。

次に [←/] [→:] で移動先のファイル番号を選択して [SET] を押すと「MOVE SURE?」のメッセージが
表示されます。

(既に移動先にファイルが存在しているときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。)

7) [←/] [→:] でYESを選択して [SET] を押すと「MOVING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると移動は実行されずDRV、SEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)

8) 移動が完了すると「MOVE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(5) SWAPメニュー操作

1) CMDメニューからSWAPメニューを選択して、[→:] または [SET] を押します。

2) [←/] [→:] でSELを選択して [↓] または [SET] を押して入れ替えるファイル選択メニュー
に入ります。

(SEL、EXE選択中に [↑BS] を押すとメニューモードに戻ります。)

3) [←/] [↑BS] [↓] [→:] で入れ替えるファイル番号を選択し [SET] を押すと白色強調表示に
なり自動的にEXEを選択します。。

ファイルの複数選択はできません。

4) EXEを選択して [↓] または [SET] を押して決定します。

5) [←/] [→:] で入れ替えるファイル番号を選択して [SET] を押すと「SWAP SURE? YES NO」の
メッセージが表示されます。

6) [←/] [→:] でYESを選択して [SET] を押すと「SWAPING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると入れ替えは実行されずSEL、EXEの選択中に戻ります。)

7) 入れ替えが完了する「SWAP END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(6) DELETEメニュー操作

1) CMDメニューからDELETEメニューを選択して、[→:] または [SET] を押します。

2) [←/] [→:] でSELを選択して [↓] または [SET] を押して削除するファイル選択メニューに入ります。

(SEL、ALL、EXE選択中に [↑BS] を押すとメニューモードに戻ります。)

3) [←/] [↑BS] [↓] [→:] で削除するファイル番号を選択し [SET] を押すと白色強調表示になります。

白色強調表示のファイル番号を再度選択して [SET] を押すと白色強調が解除されます。

ファイルの複数選択ができます。

4) 削除するファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して [↑BS] を押すと一つ上の階層に戻ります。

このとき削除するファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。

5) EXEを選択して [↓] を押すと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

6) [←/] [→:] でYESを選択して [SET] を押すと「DELETING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると削除は実行されずSEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)

7) 削除が完了すると「DELETE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(7) CLOSERメニュー操作

1) CMDメニューからCLOSERメニューを選択して、[→:] または [SET] を押して決定します。

2) [←/] [→:] でSELを選択して [↓] または [SET] を押して削除するファイル選択メニューに入ります。

(SEL、EXE選択中に [↑BS] を押すとメニューモードに戻ります。)

3) ← / ↑ BS ↓ → : で削除するファイル番号を選択し SET を押すと白色強調表示になり自動的にEXEを選択します。

ファイルの複数選択はできません。

4) EXEを選択して ↓ または SET を押すと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

5) ← / → : でYESを選択して SET を押すと「DELETING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると詰め削除は実行されずSEL、EXEの選択中に戻ります。)

6) 詰め削除が完了すると「DELETE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(8) DEL INHIメニュー操作

1) CMDメニューからDEL INHIメニューを選択して、 → : または SET を押します。

2) ← / → : でSELを選択して ↓ または SET を押して削除禁止/許可の設定メニューに入ります。

(SEL、ALL、EXE選択中に ↑ BS を押すとメニューモードに戻ります。)

3) ← / ↑ BS ↓ → : でファイルを選択して SET を押して削除禁止/許可の設定をします。

削除禁止になっているファイル番号は白色強調表示になります。

選択されたファイルは、モニター画面ではファイル名の右に×マークがつきます。

本体正面の表示器ではファイル名の右に＊マークがつきます。

ファイルの複数選択ができます。

4) 削除禁止/許可の設定をするファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して ↑ BS を押すと一つ上の階層に戻ります。

このとき削除禁止/許可の変更をするファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。

5) EXEを選択して ↓ または SET を押すと「INHIBIT CHANGE?」のメッセージが表示されます。

6) ← / → : でYESを選択して SET を押すと「INHIBIT CHANGING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択すると削除禁止/許可の設定変更は実行されずSEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)

7) 削除禁止/許可の変更が完了すると「CHANGE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(9) FORMATメニュー操作

1) CMDメニューからFORMATメニューを選択して、[→ :] または [SET] を押して決定します。

2) [← /] [→ :] でフォーマットするドライブを選択して [↓] または [SET] を押すと「FORMAT SURE?」のメッセージが表示されます。

(フォーマットするドライブを選択中に [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。)

3) [← /] [→ :] でYESを選択して [SET] を押すと「FORMATTING」のメッセージが表示されます。

(NOを選択するとフォーマットは実行されずフォーマットするドライブの選択に戻ります。)

4) フォーマットが完了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(10) プログラムの作成操作

1) PROGメニューからADDを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [⇦] [⇨] を押してファイルを選びます。

3) [← /] [↑ BS] [↓] [→ :] で挿入場所を選びます。

4) [SET] を押して選択したファイルをプログラムに登録します。

5) 2)～4)を繰り返してプログラムを作成します。

6) プログラムの作成が出来たら、プログラムの先頭を選択して [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。

(11) プログラムの削除操作

1) PROGメニューからDELETEを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [← /] [↑ BS] [↓] [→ :] で削除するファイル番号を選びます。

3) [SET] を押してプログラムからファイルを削除します。

4) 複数削除する場合は2)と3)を繰り返します。

5) プログラムの削除が終わったら、プログラムの先頭を選択して [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。

(12) プログラムの実行操作

1) PROGメニューからEXECを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) プログラム先頭のファイル番号が自動的に読み出されます。

[CHG] を押すとNEXT出力がON AIR出力に切り替わり、NEXT出力には次のファイル番号が読み出されます。

3) [⇨] を押すと次のファイル番号をNEXT出力に読み出します。

4) [⇦] を押すと一つ前のファイル番号をNEXT出力に読み出します。

5) 最後の送出ファイル番号で [CHG] を押すとプログラムの先頭に戻ります。

6) プログラムの先頭を選択して [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。

(13) プログラムの保存操作

1) PROGメニューからSAVEを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [← /] [→ :] で保存する番号を選んで、[↓] または [SET] を押すと

「PROGRAM SAVE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

3) [← /] [→ :] でYESを選んで [SET] を押します

（NOを選択すると保存番号選択に戻ります。）

4) 保存が完了すると「PROGRAM SAVE END」のメッセージが表示されます。

5) [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。

(14) プログラムの読み出し操作

1) PROGメニューからLOADを選択して、[→ :] または [SET] を押します。

2) [← /] [→ :] で読み出し番号を選んで、[↓] または [SET] を押すと

「PROGRAM LOAD SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。

3) [← /] [→ :] でYESを選んで [SET] を押します

（NOを選択すると読み出し番号選択に戻ります。）

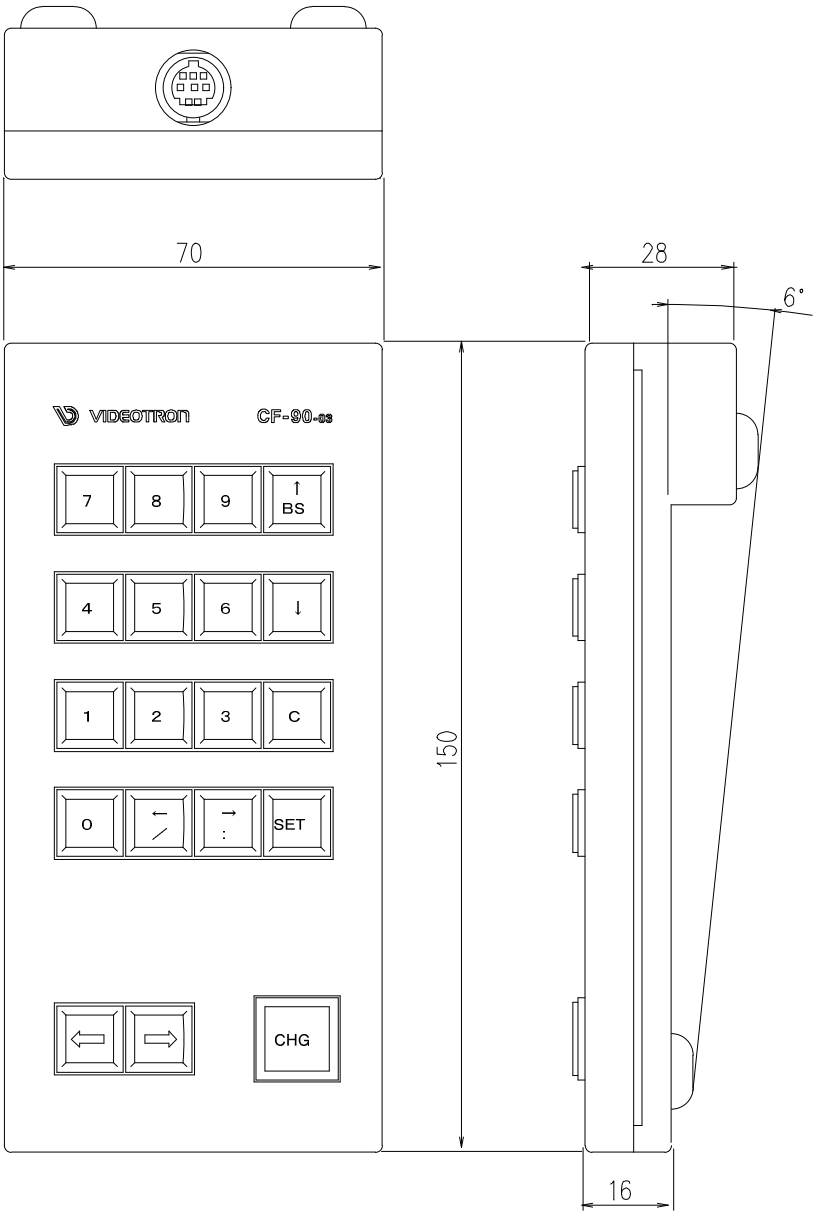
4) 読み出しが完了すると「PROGRAM LOAD END」のメッセージが表示されます。

5) [↑ BS] を押すとメニューモードに戻ります。

9. 仕様

コントロール	Mini-DIN-8(f) 1系統
電源	本体供給 5V 1VA
外形寸法	70×150×28
質量	約270g
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（ただし結露なき事）

10 外形寸法



18. CF-50 FILE CONT

1. 概要

CF-92HD/SD、B 背面の RS-422 と接続する操作パネルです。離れたところから CF-92HD/SD、B を簡単に操作できます。

2. 接続

パネル背面の RS-422 と CF-92HD/SD、B 背面の RS-422 を RS-422 クロスケーブルで接続します。RS-422 通信モードを CF-50-02 テンキー、CF-90-03 テンキーリモコンに設定します。

※詳細について「 3.各部の名称と働き → 2.CF-92HD/SD、B 中面 」の CONFIG を参照してください。

3. 各部の名称と働き

3-1. 基本操作

3-1-1. 送出操作

オーディオファイルのリピート再生及びテストパターンの読み込みは、送出操作では実行できません。

(1) 送出操作

送出として使用する場合は以下の手順で行います。

1) 編集ボタンが橙色点灯している時は、編集ボタンを押して、編集ボタンを緑色点灯させ「送出モード」にします。 電源起動時には送出モードです。
2) 送出モードのPRESETかDIRECTのどちらかのボタン橙色点灯を確認します。
(「送出モード」を参照してください)
3) 読み出し先ドライブをHDDボタンかMO1ボタンのどちらかを選択します。
※ HDDボタンを押すとSSDが選択されます。
※ MO1ボタンを押すとCFカードが選択されます。
4) 番組ボタン列が緑色点灯します。
ファイルが有るとき、ボタンが点灯します。
ファイルが無いときは点灯しません。
5) 番組ボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択ボタンが橙色点灯になります。
6) ページボタン列が緑色点灯し、プログラムの内容を表示します。
ファイルが登録(記録)されているボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
7) ページボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択したボタンが橙色点灯になります。
8) ファイル番号列が緑色点灯し、ページの内容を表示します。
選択しているドライブに登録されているファイル番号ボタンが点灯します。
登録されていないファイル番号は点灯しません。
9) ファイル番号ボタン列の点灯ボタンから1つを選択します。
選択したボタンが赤色点灯または赤色点滅になります。

10) 赤色点灯のファイル番号がON AIR出力に、赤色点滅のファイル番号がNEXT出力に読み出されます。

11) CHG/実行ボタンを押します。
NEXT出力がON AIR出力に切り替わり、次の登録済みファイル番号がNEXT出力に読み出されます。
※番組、ページ、ファイル番号は階層選択になっています。
番組、ページ、ファイル番号の階層順に選択します。

(2) 送出モード選択

DIRECT、PRESETボタンがあります。
直接ファイル番号ボタンを押したときのファイルの読み出し方法を選択します。ページ内にあるファイル番号を直接 NEXT や ON AIR に読み出すことができます。

DIRECT　ON AIR出力に押されたファイル番号を読み出し(NEXTに読み出しON AIR出力へ切り替える)、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出します。

PRESET　NEXT 出力に押されたファイル番号を読み出します。
CHG/実行ボタンが押されますと NEXT 出力に読み出されているファイルが ON AIR 出力 にチェンジされ出力されます。

DIRECT 選択の場合

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンが赤色点灯し、ファイルを NEXT に読み出し ON AIR 出力に切り替え、NEXT 出力に次の登録済みファイル番号を読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。
3) 緑色点灯している最終ファイル番号ボタンを選択します。
4) 押された最終ファイル番号ボタンが点灯し、ファイルを NEXT に読み出し ON AIR 出力に切り替え、次のページの先頭のファイル番号を NEXT 出力に読み出します。次のページが無い場合は黒画面を出力します。
5) 送出の途中で DIRECT モードから PRESET モードに切り替えができ、切り替え後の次の操作から PRESET 操作になります。

PRESET 選択の場合

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。
3) 赤色点灯していて、既にON AIR出力されているファイル番号ボタンを選択してもNEXT出力に読み出しはできます。ボタンの点灯は赤色点灯のままです。
4) CHG/実行ボタンが押されますと NEXT 出力に読み出されているファイルが ON AIR にチェンジされ出力されます。
5) 送出の途中で PRESET モードから DIRECT モードに切り替えができ、切り替え後の次の操作から DIRECT 操作になります。

(3) NEXT読み出し操作

BACK ボタンと SKIP ボタンがあります。

NEXT 出力へのファイル読み出し順を選択するボタンです。

送出時に送出モードが PRESET のときのみ選択できます。

BACK　NEXT 出力されている前の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

SKIP　NEXT 出力されている後の登録済みファイル番号を NEXT に読み出します。

※ON AIR 出力されているファイル番号もスキップしないでファイル番号を NEXT に読み出します。

BACK 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) BACK ボタンを押します。
   前のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅が前に移動します。
4) メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PROG SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の先頭にあるとき
   BACK ボタンの入力で、前のページの最終ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

   メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PAGE SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の先頭にあるとき 5) の動作をします。
5) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み先頭ファイル番号にあるとき
   BACK ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。
   再度、BACK ボタンを入力するとエラー表示します。

SKIP 操作

1) 緑色点灯している FILE 番号ボタンを 1 つ選択します。
2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、FILE 番号ボタンが赤色点滅になります。
3) SKIP ボタンを押します。
4) 次のファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ボタンの赤色点滅も次に移動します。
5) [CONF]→[PANEL SEND]→[PROG SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の最終にあるとき
   SKIP ボタンの入力で、次のページの最初ファイル番号を NEXT 出力に読み出し、表示ページのファイル番号から赤色点滅はなくなります。

   メニューで[CONF]→[PANEL SEND]→[PAGE SEND]を設定している場合は、
   ボタンの赤色点滅がページの登録済みファイル番号の最終にあるとき 6) の動作をします。
6) 表示ページで NEXT ファイルが登録済み最終ファイル番号にあるとき
   SKIP ボタンの入力で、NEXT 出力に黒画面を準備し、メニューのファイル番号は 0000 を表示します。
   再度、SKIP ボタンを入力するとエラー表示します。

(4) TAKE 操作

スーパーインポーズモードのときにのみ行える操作です。

スーパーインポーズモードにはメニューから設定できます。

1) 緑色点灯しているファイル番号ボタンを 1 つ選択します。

2) 押されたボタンのファイル番号を NEXT 出力に読み出し、ファイル番号ボタンが赤色点滅になります。

3) CHG/実行ボタンを押すと NEXT 出力に読み出されているファイルがライン信号にスーパー
されます。
このとき SUPER ON ボタンは赤色点灯になっています。

4) SUPER ON ボタンを押すとスーパーがオフになり SUPER ON ボタンが緑色点灯になります。

5) 再び SUPER ON ボタンを押すとスーパーがオンになり SUPER ON ボタンが赤色点灯になります。

3-1-2. 編集操作

1) 編集ボタンを押して、編集ボタンを橙色点灯にします。
編集ボタンが橙色点灯時に登録・編集操作が行えます。
電源起動時には EDIT ボタンは緑色点灯しています。

2) コピー、削除、削除禁止、登録ボタンが緑色点灯になりメニューON/OFF ボタンが橙色点灯しメニュー表示されます。
ページ、ファイル番号は送出時のまま表示されています。
オーディオファイルのリピート再生及びテストパターンの読み込みは、送出操作では実行できません。
3-1-3. メニュー操作で実行して下さい。

(1) 登録操作

ファイルの登録は編集モードで行います。
編集ボタンが点灯時に操作できます。
※ 本体正面の LCD にスルー、フリーズの映像はサムネイル表示されません。

1) 登録ボタンを押してください。送出時表示されていた赤点灯点滅表示が緑点灯に変わります。
登録、KEY 付ボタンが緑色から橙色に変わります。
NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されます。
2) 記録する素材がキー付きで無い場合は KEY 付ボタンが緑色に点灯、キー付きの場合は橙色に点灯します。キーの有り無しは KEY 付ボタンを押すことで切り替えられます。
3) ページボタン列が緑色または橙色に点灯し、プログラムの内容を表示します。
選択されているドライブに登録ファイルが有る場合はボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
4) ページボタン列から登録したいページを1つ選択します。
選択したボタンが赤色点灯になります。
5) ファイル番号列が緑色または橙色点灯し、ページの内容を表示します。
選択されているドライブに登録ファイルが有る場合はボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。
6) ファイル番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。
複数のファイル番号の選択が可能です。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
7) ファイル番号を確認し、確認フリーズボタンを一度押します。
選択ボタンが点滅になり確認フリーズボタンが赤色点灯します。
入力画像がNEXT出力にフリーズされます。

8) CHG/実行ボタンを押します。
CHG/実行ボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
CHG/実行ボタンを押さず確認フリーズボタンを押した場合は点滅が点灯に変わり再度、ページ、ファイル番号の入力になります。

9) 終了(ファイルの記録終了)でパネルのブザーがピッと鳴ります。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

(2) 挿入登録操作

ファイルの挿入登録は編集モードで行います。
編集ボタンが点灯時に操作できます。
挿入登録は、登録を完了している連続ファイルの途中に1枚追加する場合の編集操作です。
選んだファイル番号以降の連続ファイルを後ろへ順番にずらし、空いた番号に新しいファイルを追加登録するモードで、追加前にファイル移動の操作をする必要が無く、誤って必要なファイルに上書きする恐れも無くファイルを追加挿入できます。

※ 挿入登録はページ内でのファイル追加で、ページをまたがっての挿入やファイルの複数指定はできません。

※ 本体正面の LCD にスルー、フリーズの映像はサムネイル表示されません。

1) 前項の登録モードが選ばれているときに、再度登録ボタンを押します。
登録ボタンが橙点灯からから点滅に変わります。
KEY 付ボタンが緑色から橙色に変わります。
NEXT 出力に入力画像がスルー状態で出力されます。

2) 記録する素材がキー付きで無い場合は KEY 付ボタンが緑色に点灯、キー付きの場合は橙色に点灯します。キーの有り無しは KEY 付ボタンを押すことで切り替えられます。

3) プログラムボタン列が緑色または橙色に点灯し、プログラムの内容を表示します。
選択しているドライブにファイルが登録(記録)されているボタンが点灯します。
登録ファイルが無い場合は点灯しません。

4) ページボタン列から登録したいページを1つ選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。

5) ファイル番号列が緑色または橙色点灯し、ページの内容を表示します。
選択しているドライブに登録されているファイル番号ボタンが点灯します。
登録ファイル番号が無い場合は点灯しません。

6) ファイル番号ボタン列から登録したいファイル番号を選択します。
選択ボタンが赤色点灯になります。
複数のファイル番号の選択は挿入登録ではできません。
消灯、緑色点灯ボタンから選びます。橙色点灯の削除禁止ファイルは選べません。

7) ファイル番号を確認し、確認フリーズボタンを一度押します。
選択ボタンが点滅になり確認フリーズボタンが赤色点灯します。
入力画像がNEXT出力にフリーズされます。

8) CHG/実行ボタンを押します。
CHG/実行ボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「WRITING」を表示します。
CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを押した場合は点滅が点灯に変わり再度、ページ、ファイル番号の入力になります。

9) 登録終了（ファイルの記録終了）でパネルのブザーがピッと鳴ります。
NEXT出力のメニューに「WRITE END」を表示します。
NEXT出力のフリーズも解除され、入力がスルーになります。

(3) コピー操作

ファイルのコピーは編集モードで行います。
編集ボタンが点灯時に操作できます。

1) コピーボタンを押します。
コピーボタンが橙色に点灯します。

2) コピー元のDRIVE、プログラム番号、ページ番号、ファイル番号の順にファイルを指定します。
ページのみの場合は一括コピー元となります。
DRIVEのみ、プログラムのみの一括コピーはできません。
緑色点灯しているボタンのみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
ファイル番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
コピー元の指定順にコピー先にコピーします。
消灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

3) 確認フリーズボタンを押すとコピー元ボタンが赤色点滅になります。

4) コピー先のDRIVE、プログラム、ページ、ファイル番号を指定します。
ページのみの場合は一括コピー先になります。
既に削除禁止されているファイル番号は橙色点灯しています。
既に登録されているファイル番号は緑色点灯しています。
消灯または緑色点灯しているボタンのみが選択可能で選択すると赤色点灯になります。
一括コピーの複数選択は不可です。また一括の場合にコピー先の中に削除禁止ファイルが1枚でもある場合はエラー表示します。
ファイル番号だけ入力された場合は削除禁止ファイルを避けてコピーします。
橙色点灯ボタンが押された場合はエラー表示します。

5) 確認フリーズボタンを押すとコピー先ボタンも赤色点滅になります。

6) CHG/実行ボタンを押すとコピーされます。
コピー中はCHG/実行ボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴ります。ファイル番号が緑色または橙色に点灯します。

7) CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを押した場合は、コピー先の選択に戻ります。

(4) 削除操作

不要ファイルの削除は編集モードで行います。

編集ボタンが点灯時に操作できます。

1) 削除ボタンを押します。
   削除ボタンが橙色に点灯します。
2) 削除ファイルを番組、ページ、ファイル番号の順に指定します。
   番組のみ、ページのみの場合は一括削除になります。
   一括削除の複数選択は不可、ファイル番号ボタンでの複数選択は可能です。
   緑色のみが選択可能で、選択すると赤色点灯します。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。 消灯、橙色ボタンが押された場合はエラー表示します。
3) 確認フリーズボタンを押します。
   削除する番組、ページ、ファイル番号が赤色点滅になります。
4) CHG/実行ボタンを押します。
   削除中はCHG/実行ボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、ファイル番号の緑色が消灯となり、削除ファイルが削除されます。
5) CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを再度押した場合は、削除ファイルの選択に戻ります。

(5) 詰め削除操作

ファイルの詰め削除は編集モードで行います。

編集ボタンが点灯時に操作できます。

詰め削除は、登録を完了している連続ファイルの途中を1枚削除する場合の編集操作です。

選んだファイルを削除し、それより後ろの連続ファイルを順番に前に詰めるモードです。

誤って挿入登録した場合のやり直しなど、削除後にファイル移動のコピー操作をする必要が無く、ファイルの削除と空きの詰めを同時にできます。

※詰め削除はページ内でのファイル削除で、ページをまたがっての削除やファイルの複数指定はできません。

1) 前項の削除モードが選ばれているときに、もう一度削除ボタンを押してください。
   削除ボタンが連続点灯から橙色点滅になり、詰め削除モードになります。
2) 番組、ページ、ファイル番号ボタン順に削除ファイルを選びます。
   既に選ばれている場合は途中からの指定選択も可能です。
   選択したボタンが赤色点灯します。
   ファイル番号ボタンの緑色点灯から選べます。
   複数ファイルの選択と削除禁止ファイル、未登録ファイルの選択はできません。
3) 削除先ファイル番号を確認し、確認フリーズボタンを一度押します。
   削除する番組、ページ、ファイル番号が赤色点滅になります。
4) CHG/実行ボタンを押します。
   削除中はCHG/実行ボタンが点滅し、終了でブザーがピッと鳴り、選択ファイルが削除され、ボタン表示が削除ファイル番号以降の連続ファイルを前へ順番にずらした登録表示になります。
5) CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを再度押した場合は、削除解除になります。

赤色点滅が赤色点灯に戻り、再度の詰め削除ファイル入力になります。

6) 詰め削除モード時(削除ボタンが点滅している場合)に削除ボタンを押すと編集モードへ戻ります。

(6) 削除禁止操作

登録ファイルの削除禁止の登録、解除は編集モードで行います。

編集ボタンが点灯時に操作できます。

1) 削除禁止ボタンを押します。
   削除禁止ボタンが橙色点灯になります。
2) 削除禁止または解除ファイルを番組、ページ、ファイル番号の順に指定します。
   ページのみの場合はページ内の一括削除禁止の登録又は解除の登録になり、全ファイルが同じで無いときはエラー処理します。
   プログラムの一括削除禁止の登録又は解除の登録はできません。
   緑色、橙色のみが選択可能で、選択で赤色点灯します。
   ファイル番号ボタンでの複数選択は可能です。同じボタンを再度押すことで選択の解除ができます。
3) 確認フリーズボタンを押します。
   削除禁止を登録又は解除を登録するプログラム、ページ、ファイル番号が赤色点滅になります。
4) CHG/実行ボタンを押すと削除禁止の登録又は解除の登録を実行します。
   実行処理中はCHG/実行ボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「ENA/DIS CHANGING」を表示します。
   終了でブザーがピッと鳴り、NEXT出力のメニューに「CHANGE LED」を表示します。
   削除禁止されたボタンが橙色点灯になります。
   削除禁止解除されたボタンが緑色点灯になります。
5) CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを再度押した場合は、ファイルの選択に戻ります。

(7) フォーマット操作

フォーマットは編集モードの削除で行います。

編集ボタンが点灯時に操作できます。

※FORMAT を実行すると選択したドライブの内容は全て失われます。

1) 削除ボタンを押します。
   削除ボタンが橙色点灯になります。
2) 登録ボタンを押しながら削除ボタンを長押しします。
   削除ボタンが赤色点灯になります。
3) HDDボタン(またはMO1ボタン)を押してフォーマットするドライブを選びます。
   ※ HDDボタンを押すとSSDが選択されます。
   ※ MO1ボタンを押すとCFカードが選択されます。

4) 確認フリーズボタンを押します。
削除ボタンが赤色点滅になります。

5) CHG/実行ボタンを押します。
実行処理中はCHG/実行ボタンが点滅を開始し、NEXT出力のメニューに「FORMATING」を表示します。
終了でブザーがピッと鳴り、NEXT出力のメニューに「FORMAT END」を表示します。

6) CHG/実行ボタンを押さずに確認フリーズボタンを再度押した場合は、削除ボタンが点滅から点灯に変わりドライブの選択に戻ります。

3-1-3. メニュー操作

(1) メニューON/OFF操作

MENU ON/OFFボタンを押しボタンを橙色点灯させNEXT出力のメニューを表示します。
再度 MENU ON/OFF ボタンを押しボタンを消灯しメニュー表示を消します。

(2) 基本操作

システムメニューは、CF-92HD/SD,Bの全ての操作ができるようになっています。

1) ←、↑、↓、→ボタンのいずれかを押すとメニューモードになります。
2) ↑、↓ボタンを押してメニュー項目を選択します。メインメニューで←ボタンを押すと送出モードに戻ります。
3) →ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して選択した項目を決定します。
選択した項目によっては更に下の階層メニューに移ります。下の階層メニューにいるときに←ボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。
4) 2)、3)の操作を繰り返して設定選択の階層まで移動します。
設定選択の階層で項目を選択したらCHG/実行ボタンを押して設定を変更します。

(3) WRメニュー操作

1) メインメニューからWRメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ↑ボタンを押して一つ上の階層に移ります。
(この階層で←ボタンを押すとメインメニューに戻ります。)
3) ↑、↓ボタンでWRITEメニューに選択して→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
書き込むモードを↑、↓ボタンで選択してCHG/実行ボタンで決定します。
4) DRVメニューでの書き込み先ドライブの設定とINPUTメニューでの入力信号の設定も 3) と同様の操作で行います。
5) ↑、↓ボタンでFILEメニューを選択して→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して書き込むファイル番号選択中にします。
←、→ボタンで書き込むファイル番号を選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押すと
「WRITE SURE? YES　NO」のメッセージが表示されます。
(既にファイルが存在するときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。)
6) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「WRITTING」のメッセージが表示されます。
(NOを選択すると書き込みは実行されずファイル番号選択に戻ります。)
7) 書き込みが終了すると「WRITE END」と表示されます。

(4) COPYメニュー操作

1) CMDメニューからCOPYメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押してコピーするファイルの選択メニューに入ります。
   (DRV、SEL、ALL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンでコピーするファイル番号を選択しCHG/実行ボタンを押すと白色強調表示になります。
   白色強調表示のファイル番号を再度選択してCHG/実行ボタンを押すと白色強調が解除されます。
   ファイルの複数選択ができます。
4) コピーするファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して↑ボタンを押すと一つ上の階層に戻ります。
   このときコピーするファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。
5) EXEを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
6) ←、→ボタンでコピー先のドライブを選択してCHG/実行ボタンを押します。
   次に←、→ボタンでコピー先のファイル番号を選択してCHG/実行ボタンを押すと「COPY SURE?」のメッセージが表示されます。
   (既にコピー先にファイルが存在しているときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。)
7) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「COPYING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択するとコピーは実行されずDRV、SEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)
8) コピーが完了すると「COPY END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(5) MOVEメニュー操作

1) CMDメニューからMOVEメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して移動するファイルの選択メニューに入ります。
   (DRV、SEL、ALL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンで移動するファイル番号を選択しCHG/実行ボタンを押すと白色強調表示になります。
   白色強調表示のファイル番号を再度選択してCHG/実行ボタンを押すと白色強調が解除されます。
   ファイルの複数選択ができます。
4) 移動するファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して↑ボタンを押すと一つ上の階層に戻ります。
   このとき移動するファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。
5) EXEを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
6) ←、→ボタンで移動先のドライブを選択してCHG/実行ボタンを押します。
   次に←、→ボタンで移動先のファイル番号を選択してCHG/実行ボタンを押すと「MOVE SURE?」のメッセージが表示されます。
   (既に移動先にファイルが存在しているときは「OVERWRITE SURE? YES NO」と表示されます。)
7) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「MOVING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択すると移動は実行されずDRV、SEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)
8) 移動が完了すると「MOVE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(6) SWAPメニュー操作

1) CMDメニューからSWAPメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して入れ替えるファイル選択メニューに入ります。
   (SEL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンで入れ替えるファイル番号を選択しCHG/実行ボタンを押すと白色強調表示になり自動的にEXEを選択します。。
   ファイルの複数選択はできません。
4) EXEを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して決定します。
5) ←、→ボタンで入れ替えるファイル番号を選択してCHG/実行ボタンを押すと「SWAP SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
6) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「SWAPING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択すると入れ替えは実行されずSEL、EXEの選択中に戻ります。)
7) 入れ替えが完了する「SWAP END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(7) DELETEメニュー操作

1) CMDメニューからDELETEメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して削除するファイル選択メニューに入ります。
   (SEL、ALL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンで削除するファイル番号を選択しCHG/実行ボタンを押すと白色強調表示になります。
   白色強調表示のファイル番号を再度選択してCHG/実行ボタンを押すと白色強調が解除されます。
   ファイルの複数選択ができます。
4) 削除するファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して↑ボタンを押すと一つ上の階層に戻ります。
   このとき削除するファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。
5) EXEを選択して↓ボタンを押すと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
6) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「DELETING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択すると削除は実行されずSEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)
7) 削除が完了すると「DELETE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(8) CLOSERメニュー操作

1) CMDメニューからCLOSERメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して削除するファイル選択メニューに入ります。
   (SEL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンで削除するファイル番号を選択しCHG/実行ボタンを押すと白色強調表示になり自動的にEXEを選択します。
   ファイルの複数選択はできません。
4) EXEを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押しと「DELETE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
5) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「DELETING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択すると詰め削除は実行されずSEL、EXEの選択中に戻ります。)
6) 詰め削除が完了すると「DELETE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(9) DEL INHIメニュー操作

1) CMDメニューからDEL INHIメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでSELを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押して削除禁止/許可の設定メニューに入ります。
   (SEL、ALL、EXE選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、↑、↓、→ボタンでファイルを選択してCHG/実行ボタンを押して削除禁止/許可の設定をします。
   削除禁止になっているファイル番号は白色強調表示になります。
   選択されたファイルは、モニター画面ではファイル名の右に×マークがつきます。
   本体正面の表示器ではファイル名の右に＊マークがつきます。
   ファイルの複数選択ができます。
4) 削除禁止/許可の設定をするファイル番号の選択が終わったら、左上のファイル番号までカーソルを移動して↑ボタンを押すと一つ上の階層に戻ります。
   このとき削除禁止/許可の変更をするファイル番号が選択されていると自動的にEXEを選択します。
5) EXEを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押すと「INHIBIT CHANGE?」のメッセージが表示されます。
6) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「INHIBIT CHANGING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択すると削除禁止/許可の設定変更は実行されずSEL、ALL、EXEの選択中に戻ります。)
7) 削除禁止/許可の変更が完了すると「CHANGE END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(10) FORMATメニュー操作

1) CMDメニューからFORMATメニューを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンでフォーマットするドライブを選択して↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押すと「FORMAT SURE?」のメッセージが表示されます。
   (フォーマットするドライブを選択中に↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。)
3) ←、→ボタンでYESを選択してCHG/実行ボタンを押すと「FORMATTING」のメッセージが表示されます。
   (NOを選択するとフォーマットは実行されずフォーマットするドライブの選択に戻ります。)
4) フォーマットが完了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されメニューモードに戻ります。

(11) プログラムの作成操作

1) PROGメニューからADDを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) SKIP、BACKボタンを押してファイルを選びます。
3) ←、↑、↓、→ボタンで挿入場所を選びます。
4) CHG/実行ボタンを押して選択したファイルをプログラムに登録します。
5) 2)～4)を繰り返してプログラムを作成します。
6) プログラムの作成が出来たら、プログラムの先頭を選択して↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。

(12) プログラムの削除操作

1) PROGメニューからDELETEを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、↑、↓、→ボタンで削除するファイル番号を選びます。
3) CHG/実行ボタンを押してプログラムを削除します。
4) 複数削除する場合は2)と3)を繰り返します。
5) プログラムの削除が終わったら、プログラムの先頭を選択して↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。

(13) プログラムの実行操作

1) PROGメニューからEXECを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) プログラム先頭のファイル番号が自動的に読み出されます。
   CHG/実行ボタンを押すとNEXT出力がON AIR出力に切り替わり、NEXT出力には次のファイル番号が読み出されます。
3) SKIPボタンを押すと次のファイル番号をNEXT出力に読み出します。
4) BACKボタンを押すと一つ前のファイル番号をNEXT出力に読み出します。
5) 最後の送出ファイル番号でCHG/実行ボタンを押すとプログラムの先頭に戻ります。
6) プログラムの先頭を選択して↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。

(14) プログラムの保存操作

1) PROGメニューからSAVEを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンで保存する番号を選んで、↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押すと「PROGRAM SAVE SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
3) ←、→ボタンでYESを選んでCHG/実行ボタンを押します
   (NOを選択すると保存番号選択に戻ります。)
4) 保存が完了すると「PROGRAM SAVE END」のメッセージが表示されます。
5) ↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。

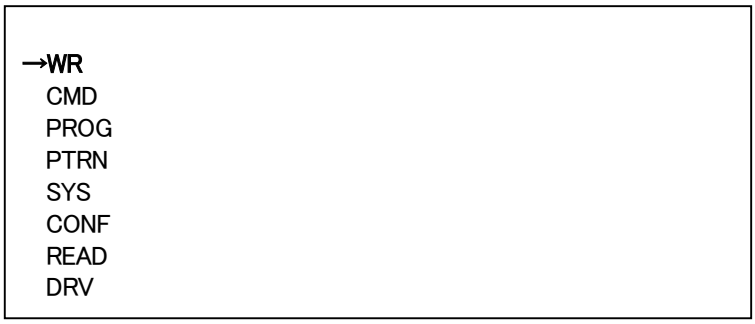
(15) プログラムの読み出し操作

1) PROGメニューからLOADを選択して、→ボタンまたはCHG/実行ボタンを押します。
2) ←、→ボタンで読み出し番号を選んで、↓ボタンまたはCHG/実行ボタンを押すと「PROGRAM LOAD SURE? YES NO」のメッセージが表示されます。
3) ←、→ボタンでYESを選んでCHG/実行ボタンを押します
   (NOを選択すると読み出し番号選択に戻ります。)
4) 読み出しが完了すると「PROGRAM LOAD END」のメッセージが表示されます。
5) ↑ボタンを押すとメニューモードに戻ります。

操作例

525i(SDTV)設定を 1080i/59.94(HDTV)設定に変更します。

1) ↓ボタンを押してシステム設定モードに入ります。NEXT 出力にシステムメニューが表示されます。

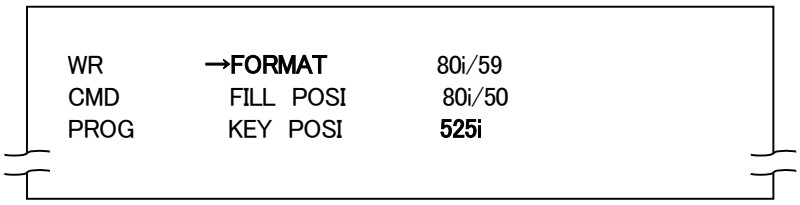


図中の太い文字はNEXT画面上で白文字表示され現在選択されていることを意味します。選択されていない項目はグレーの文字で表示されます。

↑ボタンと↓ボタンを押すと項目が替わり、→ボタンを押すと下の階層メニューへ移ります。

キャンセル、または上の階層メニューへ移る場合は←ボタンを押します。

2) ↑ボタンと↓ボタンを押して「SYS」を選択し→ボタンを押します。メニューが切り替わり「→」が一つ下の階層へ移動します。



3) ↑ボタンと↓ボタンを押して「FORMAT」を選択し→ボタンを押します。メニューが切り替わり「→」が以前設定されていたパラメーター部へ移動します。

4) ↑ボタンと↓ボタンを押して「1080i/59.94」を選択します。

5) CHG/実行ボタンを押してパラメーターを決定します。設定が変更され一つ上の階層に戻ります。

6) ←ボタンを押しシステム設定モードから抜け送出モードへ戻ります。

3-2. ファイル番号の管理

CF-50 FILE CONTではファイル番号を4桁の数値で管理します。千の桁は番組番号、百の桁はページ番号、十と一の桁はファイル番号を表します。

※　以下の数値以外のFILE番号は、CF-92HD/SD、Bのソリッドステートドライブ, CFカードに記録保存されていてもCF-50 FILE CONTパネル面の操作で読み出して利用することができませんのでご注意ください。

管理ファイルFILE番号	番組、ページとファイル番号の関係
1101～1130	番組1、ページ1のファイル番号
1201～1230	番組1、ページ2のファイル番号
1301～1330	番組1、ページ3のファイル番号
｜	｜
1501～1530	番組1、ページ5のファイル番号
1601～1630	番組1、ページ6のファイル番号
2101～2130	番組2、ページ1のファイル番号
｜	｜
2601～2630	番組2、ページ6のファイル番号
3101～3130	番組3、ページ1のファイル番号
｜	｜
3601～3630	番組3、ページ6のファイル番号
｜	｜
｜	｜
7101～7130	番組7、ページ1のファイル番号
｜	｜
7601～7630	番組7、ページ6のファイル番号
8101～8130	番組8、ページ1のファイル番号
｜	｜
8601～8630	番組8、ページ6のファイル番号

19. エラーメッセージ一覧

NEXT 出力や本体正面表示器に表示されるエラーメッセージの一覧です。

エラー項目	説明
INPUT ERROR	テンキーから入力形式以上の文字数を入力した。
FILE NOT FOUND	指定したファイルが存在しません。
DRIVE NOT READY	CF カードが挿入されていません。
FILE FORMAT ERR	本体の映像フォーマットと選択した素材の映像フォーマットが違うため素材の読み込みができません。
FileFmtERR	
INVALID OPERATION	ファイルコントがエディットモードなので本体正面から操作できません。
FILE NUMBER OVER 8000	静止画素材を上限の 8000 枚を超えて登録できません。
DISK FULL ERROR!!	選択中のドライブの容量がいっぱいで素材を登録できません。
UNFORMAT!!	CF カードがフォーマットされていません。
AUDIO FILE OVER 20	音声素材を上限の 20 ファイルを超えて登録できません。
READ ERROR!!	静止画素材が壊れているため読み出し処理を完了できません。
INPUT SIGNAL ERROR	取り込もうとした FILL IN または KEY IN に信号がないため処理を実行できません。
FILE USING ERR!!	ON AIR または NEXT に上がっている素材のため処理を実行できません。
LOCKED FILE ERR!!	削除禁止指定の素材のため処理を完了できませんでした。

ご使用者各位

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　製造技術部
〒193-0835　東京都八王子市千人町2－17－16
TEL　042-666-6329
FAX　042-666-6330
受付時間　8:30～17:00
E-mail:　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話　042-666-6311
緊急時　090-3230-3507
受付時間　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。